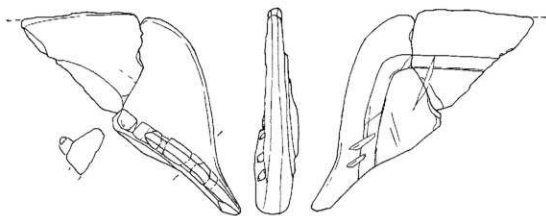


石川県 金沢市

畝田[※]寺中遺跡Ⅸ

－木曳野遺跡群Ⅶ－



平成 26 年 3 月
(2014年)

金 沢 市
(金沢市埋蔵文化財センター)

石川県 金沢市

畝田・寺中遺跡Ⅸ

－木曳野遺跡群Ⅶ－

平成26年3月
(2014年)

金 沢 市
(金沢市埋蔵文化財センター)

例 言

1. 本書「畝田・寺中遺跡Ⅱ」は、石川県金沢市寺中町、畝田西4丁目、桂町地内に所在する事業名：木曳野遺跡群(寺中B遺跡、桂町南遺跡、畝田・寺中遺跡)の発掘調査報告のうち、平成15年度に実施した畝田・寺中遺跡の調査の一部について報告するものである。
2. 本調査は金沢市木曳野土地区画整理組合による土地区画整理事業に伴い、平成15年度に金沢市埋蔵文化財センターが発掘調査を実施したものである。
3. 本報告にかかる現地調査は金沢市埋蔵文化財調査委員会(当時：会長橋本澄夫氏、谷内尾晋司氏、垣田修児氏、横山方子氏)の指導の下で、出越茂和(文化財保護課担当所長補佐：当時)、向井裕知(文化財保護課主事：当時)が担当した。
4. 本書の執筆・編集は景山和也(文化財保護課主査)が担当した。写真撮影は遺構を発掘調査担当者が行い、遺物を景山が行った。
5. 本書の各国及び写真図版の指示は以下のとおりである。
 - (1) 方位は全て座標北である。座標は世界測地系(第Ⅶ系)に基づき設定している。
 - (2) 各国の縮尺は、遺物は1/3・1/6、遺構は1/60が主であるが、各国に指示しているとおりである。
 - (3) 遺物実測図の番号は通し番号とし、本文中、観察表、写真図版のそれと一致する。
 - (4) 遺構名の略号は、SB＝掘立柱建物、SE＝井戸跡、SK＝土坑跡、SD＝溝・川跡、SX＝落ち込み・土器だまり跡、P＝ピットなどであるが、略号を用いず大河跡とした遺構がある。
 - (5) 土器については「壺」・「甕」・「高杯」・「器台」などと表記するが、用途を示すのではなく、形態による分類で、「壺形土器」などの略称である。
 - (6) 土器実測図の断面が黒色のものは須恵器を、その他のものは白抜きで示している。また、実測図内外面の目の粗いドットは黒色処理を、細かいものは赤彩処理を、細かな砂目状のものは灯明痕・焼痕を、50%アミ処理のものは漆塗膜を示している。
6. 本調査での出土遺物、記録資料は金沢市埋蔵文化財センターで保管している。

畝田・寺中遺跡区 目次

第1章 調査箇所と報告の内容	1
第1節 調査箇所と既往の報告内容	
第2節 本書の報告について	
第2章 遺跡の位置と環境	5
第1節 地理的環境	
第2節 歴史的環境	
第3章 検出遺構	7
第1節 概要	
第2節 土坑・ピット	
第3節 溝・川	
第4章 遺物	11
第1節 概要	
第2節 土坑・ピット	
第3節 溝・川	
第4節 遺構外	
第5節 補遺	
第5章 樹種同定記録	(株東都文化財保存研究所) 65
第6章 総括	67

第1章 調査箇所と報告の内容

第1節 調査箇所と既往の報告内容

今回報告する畝田・寺中遺跡の発掘調査は、金沢市木曳野土地地区画整理事業に伴い実施されたもので、事業全体では平成14年度から平成16年度にかけて、約13,760㎡の発掘調査が行われている。遺跡の発見から発掘調査へ至るまでの詳細な経緯は、既刊「木曳野遺跡群Ⅰ」を参照願いたい(金沢市2006)。

本事業による調査箇所は第1図のとおりである。調査時には、補助事業主体の名称として県費分A～C区、道路名称によって主幹線1～5区、支線部などと呼称して調査を実施している。既刊報告書の報告内容との対応については第1表および第2図のとおりである。

木曳野遺跡群Ⅰ(以下Ⅰ、Ⅱ等とする)では、調査に至る経緯や縮尺1/300、1/100遺構平面図版と共に植生や環境復元、木材・石材利用把握のための自然科学分析結果を掲載している。

Ⅱでは、寺中B遺跡と畝田・寺中遺跡内の桂・寺中遺跡として調査を実施した箇所の調査成果を掲載している。

Ⅲでは、桂町南遺跡と畝田・寺中遺跡の県費分A～C区の調査成果を掲載している。また、畝田・寺中遺跡の桂・寺中遺跡部分を除いた、縮尺1/500の畝田・寺中遺跡図版が別紙で用意されている。

Ⅳでは、畝田・寺中遺跡の主幹線1区と2区のSD222、SD303(大河跡)の調査成果を掲載している。

Ⅴでは、畝田・寺中遺跡の主幹線3区の調査成果と1区SD222、包含層、2区P20、SD222、SD240、SD244、SD303、4区大河跡出土の墨書土器を掲載している。

Ⅵでは、畝田・寺中遺跡の主幹線2区における遺構および土器・陶磁器、石製品について報告している。

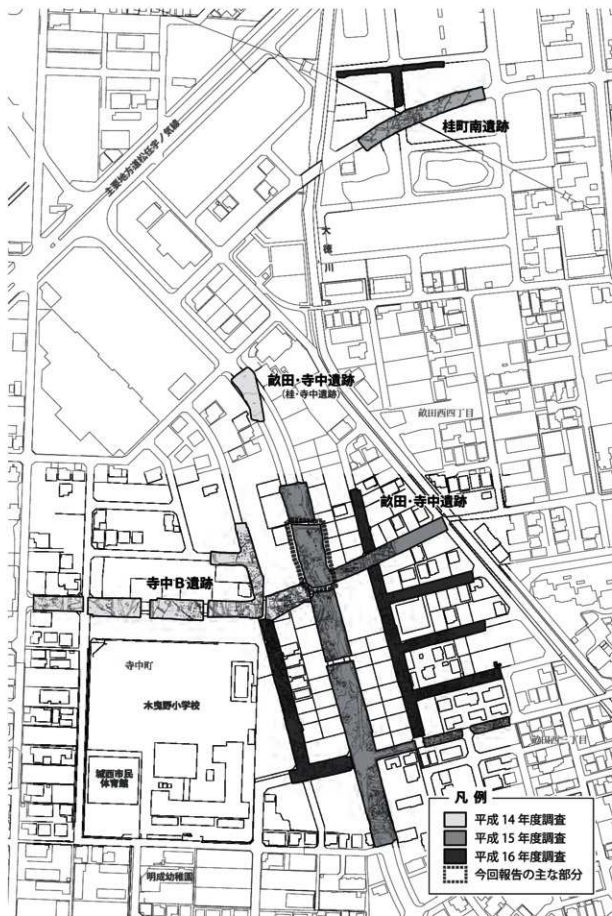
第1表 報告書の内容

紀要No	書名	内 容	発行年
231	木曳野遺跡群Ⅰ 寺中B遺跡Ⅵ 桂町南遺跡Ⅰ 畝田・寺中遺跡Ⅲ	調査に至る経緯・経過、航空測量図版、自然科学分析	2006
239	木曳野遺跡群Ⅱ 寺中B遺跡Ⅶ 畝田・寺中遺跡Ⅳ	寺中B遺跡(報告完) 桂・寺中(畝田・寺中)遺跡	2007
249	木曳野遺跡群Ⅲ 桂町南遺跡Ⅱ 畝田・寺中遺跡Ⅴ	桂町南遺跡(報告完) 畝田・寺中遺跡(県費A・B・C区)	2008
259	木曳野遺跡群Ⅳ 畝田・寺中遺跡Ⅵ	畝田・寺中遺跡(主幹線1区・2区SD222、SD303)	2010
279	木曳野遺跡群Ⅴ 畝田・寺中遺跡Ⅶ	畝田・寺中遺跡(主幹線3区・2区墨書土器(1区・4区含))	2012
288	木曳野遺跡群Ⅵ 畝田・寺中遺跡Ⅷ	畝田・寺中遺跡(主幹線2区土器・陶磁器・石製品)	2013
293	木曳野遺跡群Ⅶ 畝田・寺中遺跡Ⅷ	畝田・寺中遺跡(主幹線4区、主幹線2区木製品・金属製品)	2014

第2節 本書の報告について

第1表および第2図のとおり、寺中B遺跡と桂町南遺跡の報告は終了しているが、調査面積が広く、遺物も大量に出土している畝田・寺中遺跡については、その多くが未報告となっている。これまでに県費分A～C区、主幹線1区、同2区、同3区が報告済みとなっている。本書は主幹線4区の遺構および遺物について報告するものであるが、既刊報告書にて掲載漏れのあった遺物、および木曳野遺跡群Ⅵで掲載できなかった主幹線2区出土の木製品と金属製品についても補遺という形で掲載している。

なお、本書刊行後の未報告範囲は主幹線5区、支線部、西工区、東工区、鉾津の自然科学分析、樹種同定分析となり、順次刊行していく予定である。



第1図 調査区位置図 (S=1/3,000)

第2章 遺跡の位置と環境

第1節 地理的環境

畝田・寺中遺跡は石川県金沢市畝田町、寺中町地内に所在する。

石川県は日本海に突き出た能登地方とその南の加賀地方に分けられ、金沢市は加賀地方の北部に位置しているが、その西部は日本海に接し、南東部には海拔1,500mを越える山地をかかえる。この山地からは市域を西流する浅野川と犀川が流れ、両河川に挟まれた地域に市街地が形成されている。また、犀川を境として、北部平野と南部平野に分かれ、前者は犀川・浅野川やその北部を流れる金崎川・森下川によって形成された沖積平野であり、後者は手取川が形成する扇状地の北辺である。

本遺跡は市内の北西部、現在の海岸線からは約2km内陸側に位置しており、周辺は海岸線に沿って南北に延びる内灘砂丘の後背湿地を形成している。また、南側を西流する犀川からの分流が本地域を北流し、北側を西流する大野川へと流れ込むことから、ますます湿潤な環境を形成している。



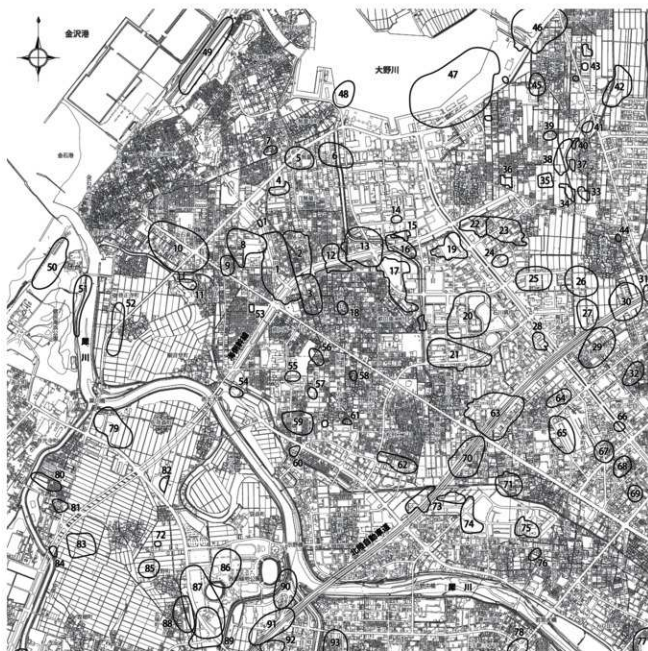
第3図 石川県と金沢市の位置

第2節 歴史的環境

畝田・寺中遺跡の周辺に分布する遺跡を時代毎に概観すると、縄文時代には後期中葉と晩期後葉の松村A遺跡(59)や晩期の土器・石器が出土する本遺跡があり、近岡遺跡(46)では昭和45年の調査で花粉分析から縄文晩期の農耕について話題になった。弥生時代は戸水B遺跡(20)、戸水C遺跡(47)、藤江C遺跡(21)などで前期からの遺物が確認されており、畝田C遺跡(13)などで遠賀川式土器が出土しているが、中期以降増加する傾向にあり、西念・南新保遺跡(29)のような後期へ繋がる拠点の集落も出現する。本遺跡においては中期から遺物が確認されている。古墳時代は弥生終末期の遺跡が継続されることが多いが、中・後期になると激減し、本遺跡の他、周辺では藤江B遺跡(63)で確認できる。当該期の須恵器を多く確認している本遺跡や藤江C遺跡などが中・後期の拠点の集落になる可能性があり、本遺跡に関しては弥生時代終末から7世紀代まで継続して確認できる稀有な事例である。

奈良・平安時代は再び遺跡が広く分布し、犀川や大野川河口周辺に津湊関連遺跡や官衙・荘園関連遺跡が出現する。本遺跡においても8世紀前半から中頃の大規模集落が確認され、遺構の規模や「津司」墨書土器から金石本町遺跡と一連の港湾関連遺跡と考えられている。また、石川県調査区から遺渤海使が帰国した「天平二年(730)」の記年銘墨書土器が出土しており、その際の饗応に使用された可能性が指摘されている。また、近隣の畝田ナベタ遺跡(17)からは大陸産とされる青銅金箔張の帯金具(巡方)が出土しており、具体的な大陸との交流を物語る遺跡群といえる。鎌倉・室町時代は、本遺跡も含めて当該期の遺跡が広く分布している。本遺跡では、堀で囲繞された方2町×1町半程度の空間が検出されている。南新保北遺跡(44)では銭の出納に関わる付札木簡が出土している。戸水C遺跡は古代以来の津湊関連遺跡と評価されている。

本遺跡は、大野荘湊を含む大野荘内(一時期は富永御厨内か)に所在する。畝田地名の初見は日本霊異記「大野郷畝田村」であり(金沢市1998)、平安時代にはその名が認められる。中世には「宇福田村」、「宇根田村」、「宇祢田村」、「うね田村」などとみえる。



- | | | |
|------------------------|------------------------|------------------------|
| 1 総田・寺中遺跡 (弥生~中世) | 32 西倉東遺跡 (弥生) | 63 藤江日遺跡 (弥生~平安) |
| 2 総田遺跡 (縄文~平安) | 33 藤江サンショウ口遺跡 (縄文~室町) | 64 二口六丁日遺跡 (弥生~古墳) |
| 3 総田大堀川遺跡 (弥生~中世) | 34 大友F遺跡 (弥生~平安) | 65 西倉ネシタ遺跡 (弥生~古墳) |
| 4 総田南遺跡 (弥生~中世) | 35 大友A遺跡 (古墳・奈良・平安) | 66 西倉ネシタ遺跡 (弥生~古墳) |
| 5 無量寺日遺跡 (古墳) | 36 大友D遺跡 (弥生~平安) | 67 西倉クボ遺跡 (縄文・古墳) |
| 6 無量寺遺跡 (古墳・中世) | 37 藤江ニシヤ遺跡 (古墳~室町) | 68 二口ノミズ遺跡 (弥生~古墳) |
| 7 結遺跡 (弥生・古墳・中世) | 38 大友E遺跡 (弥生~奈良) | 69 二口町遺跡 (奈良・平安) |
| 8 寺中日遺跡 (縄文~平安) | 39 近岡カシタノ遺跡 (弥生~古墳) | 70 藤江日遺跡 (弥生~平安) |
| 9 寺中遺跡 (弥生) | 40 藤江西遺跡 (縄文~室町) | 71 二口町遺跡 (縄文) |
| 10 金谷本町遺跡 (弥生~平安) | 41 藤江北遺跡 (縄文~室町) | 72 聖観前遺跡 (不詳) |
| 11 寺中野台場遺跡 (江戸) | 42 藤江北遺跡 (縄文~室町) | 73 松田・示野中遺跡 (弥生・平安) |
| 12 総田日遺跡 (弥生~平安) | 43 近岡カシタノ遺跡 (弥生・平安~室町) | 74 出雲いさまた遺跡 (弥生~平安) |
| 13 総田中遺跡 (弥生~中世) | 44 南新保北遺跡 (古墳~中世) | 75 聖明寺遺跡 (弥生~平安) |
| 14 無量寺日遺跡 (弥生~平安) | 45 近岡カシタノ遺跡 (弥生・奈良・平安) | 76 若宮遺跡 (室町) |
| 15 無量寺日遺跡 (弥生・平安) | 46 近岡遺跡 (縄文~室町) | 77 聖観前遺跡 (縄文・古墳) |
| 16 総田・無量寺遺跡 (弥生・奈良・平安) | 47 戸水C遺跡 (古墳・中世) | 78 三輪日遺跡 (奈良・平安) |
| 17 総田ナベタ遺跡 (奈良・平安) | 48 無量寺金沢遺跡 (縄文・古墳) | 79 佐奇森遺跡 (弥生・平安~江戸) |
| 18 総田前遺跡 (不詳) | 49 金谷北遺跡 (縄文・奈良・平安) | 80 聖光寺彩色田遺跡 (古墳) |
| 19 戸水大日遺跡 (奈良・平安) | 50 善正寺善妙丘遺跡 (弥生~平安) | 81 聖光寺彩色田遺跡 (弥生~平安) |
| 20 戸水日遺跡 (弥生・平安) | 51 善正寺遺跡 (弥生・室町) | 82 赤土遺跡 (弥生) |
| 21 戸水C遺跡 (弥生~平安) | 52 善正寺高島遺跡 (古墳・鎌倉) | 83 吉原寺光寺遺跡 (室町) |
| 22 大友西遺跡 (弥生・古墳・平安) | 53 寺中町南遺跡 (古墳) | 84 聖観前遺跡 (弥生~平安) |
| 23 戸水・大友遺跡 (弥生・平安) | 54 観音堂遺跡 (弥生~室町) | 85 春日野遺跡 (縄文・古墳) |
| 24 南新保日遺跡 (弥生~鎌倉) | 55 観音堂遺跡 (弥生) | 86 保良・北堀C遺跡 (古墳~平安) |
| 25 南新保日遺跡 (古墳) | 56 松村西の城遺跡 (古墳・平安) | 87 北堀日遺跡 (平安) |
| 26 南新保日遺跡 (古墳) | 57 松村中街遺跡 (弥生~中世) | 88 北堀A遺跡 (縄文・弥生~平安~室町) |
| 27 南新保日校田遺跡 (弥生~平安) | 58 松村寺の前遺跡 (室町) | 89 北堀B遺跡 (古墳) |
| 28 二丁目町遺跡 (弥生・平安) | 59 松村A遺跡 (縄文・古墳・鎌倉・室町) | 90 古府カタガリ遺跡 (弥生~平安) |
| 29 西倉・南新保遺跡 (弥生~平安) | 60 松村Bの夜叉遺跡 (縄文・弥生・江戸) | 91 古府カタガリ遺跡 (弥生~平安) |
| 30 南新保日遺跡 (弥生~平安) | 61 松村日遺跡 (弥生~平安) | 92 古府日遺跡 (不詳) |
| 31 南新保日遺跡 (弥生) | 62 松村高見遺跡 (弥生~中世) | 93 高島遺跡 (弥生・古墳) |

第4図 遺跡の位置と周辺の遺跡分布図 (S = 1/30,000)

第3章 検出遺構

第1節 概要

本遺跡では、掘立柱建物、堅穴系建物、布柱建物、櫓列、井戸、土坑、区画溝、川跡などを検出しているが、本書で対象としている主幹線4区(以下、調査区)では土坑、ピット、溝、川を検出しており、主に古墳時代、奈良時代、平安時代、鎌倉時代のものがみつまっている。

遺構平面図については、『木曳野遺跡群Ⅰ』で各図を掲載したために本書では未掲載だが、第5図に今回報告対象となる調査区の遺構全体図と各遺構名を示した。併せてグリッド配置図を示したので参考にしていただきたい。また、第2図に木曳野遺跡群の全体図と建物や井戸、溝など主な遺構名を示したものを掲載した。『木曳野遺跡群Ⅵ』に掲載したものの誤記等を訂正したものである。『木曳野遺跡群Ⅱ』～『木曳野遺跡群Ⅴ』については、報告対象とする個別遺構が遺跡の中でどこに位置するかを図示されていないので、本図を参照いただきたい。

第2節 土坑・ピット

SK200 (第6図) 調査区中央西側に位置する土坑である。掘方は隅丸方形を呈し、SD203に切られる。長軸約1.6m、短軸約1.4m、深さ約0.4mで、古墳時代前期の土器(12)が出土している。

SK201 (第6図) 調査区中央東側、大河跡と重複する形で検出した円形土坑である。直径約1.0m、深さ約0.2mを測る。遺物は出土していない。

P200 (第6図) 調査区中央西側に位置する小穴である。掘方は南北に軸をとる楕円形状を呈し、長径約0.7m、短径約0.4m、検出面からの深さ約0.3mで、古墳時代前期に属するく字瓦(3)が出土している。

第3節 溝・川

SD200 (第6図) 調査区中央西側に位置する、幅約1.5m、検出面からの深さ約0.2～0.3mを測る、北東-南西に軸をとる溝である。検出延長約8.0m、東側は大河跡と重複し、西側は調査区外へと延伸する。**SD201 (第6図)** SD200の南側に位置する溝状の落ち込みで、軸を南北方向にとる。幅約1.2m、深さは0.1mに満たない。SD200との切り合いは不明、検出延長約3.3m、南側で2条に分かれる。

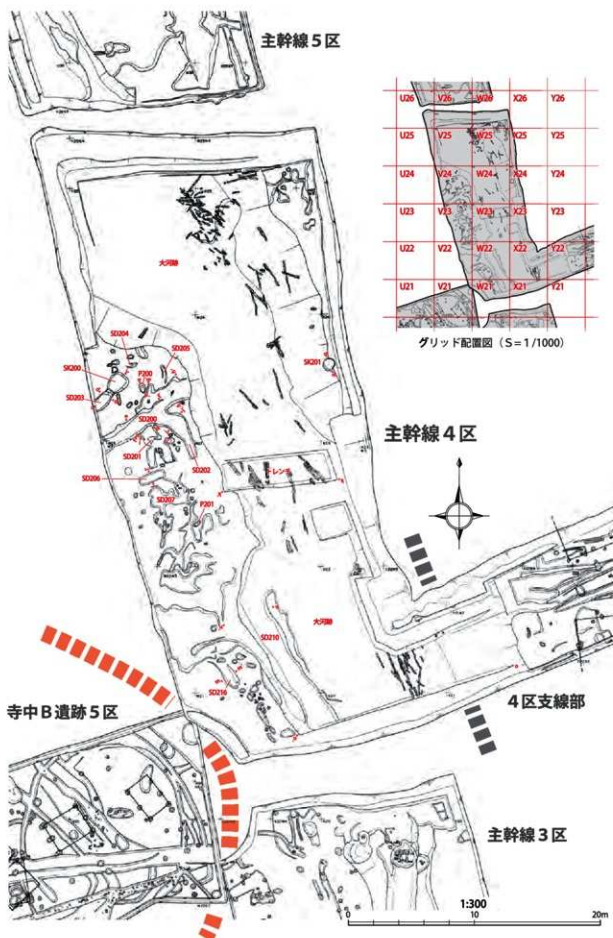
SD202 (第6図) 軸を南北にとり、SD202近辺で合流するかのようには屈曲する溝である。幅は約1.5m～0.6mとばらつきがあり、深さは約0.1mに満たない。検出延長は約4.3mである。

SD206 (第7図) SD200の南側に位置する浅い落ち込みである。軸を東西にとり、検出延長約2.2m、幅約0.8m、深さ約0.1m前後を測る。

SD210 (第7図) 調査区南西側、大河跡西岸と重複する形で検出した軸を南北方向にとる溝で、主幹線3区のSD222と同一の溝である可能性が高い。検出延長約15.0m、幅約3.0m、検出面からの深さ約0.6m～0.9mを測る。11世紀～13世紀頃の遺物が出土している。詳細は既刊書(畝田・寺中遺跡Ⅴ)に詳しい。

SD216 (第7図) 調査区南西側で検出した溝状の落ち込みで、検出延長は約2.0m、幅約1.0m、深さは約0.1m前後である。軸は北北西-南南東、北側は浅くなり消失する。

大河跡 (第6・7図) 調査区東半を占める大規模河川である。主幹線1区SD303、同2区SD240・SD244、同3区SD201と同じ川と考えられる。詳細は既刊書(畝田・寺中遺跡Ⅴ・Ⅵ)に詳しい。土層確認用にトレンチを設定し、併せて調査区南壁でも土層断面図を作成したが、作図途中の崩落によって土色の一部に不備があることをお詫び申し上げたい。



第5図 遺構全体図（主幹線4区）〔S=1/300〕

第4章 遺物

第1節 概要

本書で報告する出土遺物の大半は古墳時代前期～中期前葉のものであり、主に大河跡から出土している。第2節から遺構毎に報告する。大河跡出土遺物の図版は基本的にグリッド別・器種別となっており、説明については番号順に行うのでご了承願いたい。なお、グリッド配置については第5図を、遺物が属するグリッド、個々の遺物の法量や調整等は第3表～第5表を参照願いたい。同表遺構欄の「●区」は「主幹線●区」を示している。遺物取上時に錯誤のあったものは訂正して掲載しているのでご了承願いたい(Y25N4→W25)。また、文中の分類や年代観については、巻末の参考文献に記した各論考を参照願いたい。

第2節 土坑・ピット

SK200(第8図1・2) 1は土師器の甕で、有段口縁の内面に指頭圧痕、外面に擬凹線7条が確認できる。2は高杯で、杯部が屈曲して広がり、脚裾部が強く屈曲外反する。田嶋分類(田嶋1986)のH類に相当する。P200(第8図3) 3は口縁端部が肥厚するいわゆる布留甕であり、古墳時代前期の範疇である。

第3節 溝・川

4区 SD210(第8図4～31、第29図400、第30図438～440、第32図451～464) 4・5は土師器の蓋で、双方ミガキ調整が施される。6は土師器の小壺、7・8は甕である。いずれも古墳時代前期後葉のものであるが、この遺構は大河跡と重複して検出されており、これら遺物は混入品と考えられる。

9・10は須恵器の無台坏、11は灰釉陶器の碗、12は珠洲焼の鉢底部である。13は土師器の壺か。底部に糸切り痕が確認できる。14～24は土師器皿である。14・16・18・19・21・23・24がロクロ土師器皿、その他は非ロクロである。24は25とあわせて碗である可能性がある。26・27は内面黒色処理の施された台付碗で、26は高台外面に、27は底部に工具痕が顕著である。28・29は白磁碗で、それぞれ太宰府分類(太宰府市教育委員会2000)の白磁碗Ⅱ-4a類、白磁碗Ⅱ-1類であろうか。11世紀後半～12世紀代のものと考えられる。30・31は珠洲焼の鉢で、口縁部の形態から珠洲焼編年(吉岡1994)Ⅰ期の製品と考えられる。12世紀後半のものと考えられる。

石製品には400の握形打製石斧があるが、混入品とみられる。金属製品では438・439の鉄製刀子、双方茎に目釘穴が確認できる。440は不明鉄製品で、飾り金具の可能性もある。451～464は木製品である。457・458は他の材との結束装置が認められ、雑具部材と考えられる。461・462は円形板で、桶か曲物の底板であろう。463は篋状に薄く加工されている。464は火鍛白で6箇所の炭化した使用痕が認められる。

4区 大河跡(第9図～第28図、第29図401～419、第30図420～437・441～444、第31図、第32図465～490、第33図～第35図) 32～42は土師器甕である。32は頸部で緩やかに外傾し、先端に向かって内湾する口縁部を持つ。33の口縁部は直線的に立ち上がり端部に面取りがみられる。34・35・37の口縁は緩やかに外湾する。36・38の口縁は直線的に外傾する。39は山陰系の大形甕で口縁下端に突帯ともいえる明瞭な稜が確認できる。40～42は小形の甕である。43～46は壺で、43は長めの頸部をもち、口縁部に6条の擬凹線が施される。44は有段の口縁を有する。45は外反する口縁部先端に内屈する口縁帯が付されている特徴的なもので、弥生時代中期前半のものと考えられる。条痕が施され、口縁外面に浮文・刺突文、口縁内面には波状文が確認できる。46は外反して延びる口縁部先端に断面三角形の口縁帯を作り出し、そこに棒状浮文が2条確認され、全面に赤彩処理が施されている。田嶋分類のF類に相当する。47は壺の体部である。48・49はミニチュアの土器で、48は甕形、49は壺形である。50・

51は手捏土器である。52～54は小型壺で、田嶋分類F類に該当する。55は装飾器台で、内面に一部赤彩が残る。56は外面に赤彩の施された小型器台の脚部か。57～61は高杯で、57の杯部は緩く内湾する。58～61は田嶋分類のH類に相当しようか。62は有孔鉢の底部で、内外面ハケ調整が施されている。63～66は土師器鉢で、いずれも内面は丁寧にミガキ調整が施される。67～77は土鍾である。78は桶羽口で、滓が付着している。

79～92は土師器甕で、79～86は口縁部が外反する甕、87～88は口縁端部が肥厚するいわゆる布留甕で、古墳時代前期の範疇である。91は有段口縁で擬凹線が施されている。92は小型の甕で、口縁外面に弱い段をもつ。93～100は土師器壺である。93～95は頸部から外反する長めの口縁を有する。96は口縁部を欠損する壺の体部だが、頸径が小さく、長頸壺と考えられる。97は田嶋分類のF類に相当する壺の口縁部で、棒状浮文が2条確認できる。98・99は壺の頸部で1条の突帯を巡らせ、突帯上にキザミを施している。100は大形壺で、口縁部は段を持ち直線的に立ち上がり、口縁外面に棒状浮文が2条確認できる。田嶋分類H類に相当する。101は肩部にキザミ突帯を巡らせる小型の壺であろうか。102は外面に黒漆を施す。101・102ともに精緻な作りではないが、装飾的要素が強く、特筆される。103は杯状の土師器であるが、小型の高杯であろう。104は小型高杯の杯部、105は小型の高杯ないし器台の脚で、ミガキ調整が施されている。106～124は土師器高杯の杯部で、106～112・114・115は杯部が屈曲して広がる。113は碗形の杯底部と外反する口縁部をもつ。田嶋分類のB1類に分類される。116は大きな杯底部から屈曲外反する口縁部をもち、弥生時代後期のものと考えられる。117～123は土師器高杯の脚部である。117は緩やかに広がる裾部をもち、透穴が3箇所確認できる。118～123はいずれも脚部が強く屈曲外反しており、田嶋分類のH類に相当する。古墳時代前期中葉～後葉のものである。124は碗形の杯部と透穴を有する八の字状の脚が付く。田嶋分類のG類である。125は台付鉢か。鋭く開く裾部の先端は面をとる。126～135は器台である。126・127は小型器台で、碗状の受部と八の字状に開く脚に透穴が確認できる。128・129は脚部で、裾部に段を有し透穴と装飾を加え、丁寧なミガキ調整が施される。130は縦位に2孔1対の透穴を設ける脚部である。131は赤彩が施される有段の脚部である。132は外反的に開く深めの受部を持ち、脚は透穴をもち緩やかに開く。古墳時代前期中葉か。133は装飾器台の受部下端、134は鼓形器台である。135は大形の器台で、裾部に透穴と4条の沈線による加飾が確認できる。136は壺か鉢の底部であろう。137は小振りで碗状の体部に直線的に開く口縁部をもつ鉢である。138・139は鉢で、くの字状に屈曲し内湾する口縁部をもつ。139は平底である。140～143は蓋である。143は赤彩・加飾の状態から蓋としたが、鉢であるかもしれない。144・145はミニチュアの土器で、144は菱形、145は鉢形で、双方精緻な作りである。146は小型の丸底壺、147・148は手捏土器である。149・150は有孔鉢の底部で、151は小型の鉢か高杯の杯部であろう。152～157は碗で、154は内湾する体部と外反する口縁部をもつが、他のものは内湾する口縁部を端部で丸くおさめる。いずれもミガキ調整が施される。158・159はクロロ土師器の皿である。160は内面黒色処理の施される有台碗、161は柱状高台をもつ碗であろう。162・163はクロロ土師器の碗である。164は台付壺の脚部か。脚内部に指頭圧痕が認められる。165は柱状の高台をもつが、鉢であろうか。143に似る。168～172は土鍾である。172は有孔土玉とするべきか。出土したクロロ土師器は大河跡と重複するSD210からの混入であろう。

173～175は縄文土器である。173・175には対向玉抱き三叉文がみられ、晩期初頭御経塚式期であろうか。176～219は土師器甕とした。176～181は有段口縁をもつ。176は口縁に波状文を巡らせ、177～181は擬凹線である。182は近江・東海系、183は山陰系の口縁をもつ。184は受口状の短い口縁部をもつ。185～193は口縁端部が肥厚する布留甕である。189は口唇に沈線状の調整がみられるほか、肩部にキザミを巡らせている。漆11群、古墳時代前期後葉に該当すると考えられる。194～208は土師器甕で、口縁部が屈曲し外反するタイプのものである。202・203は小振りで、203は特に粗い作りである。

209は大型の山陰系甕で、肩部に櫛描波状文が施される。210は同じく山陰系甕か、口縁の段は明瞭でない。211～216は甕類の底部である。217～219は土師器甕だが一様に粗雑で、口縁に歪みがみられる。218は波状の口縁が微妙である。220～230は土師器の壺である。220は田嶋分類F類、棒状浮文は3条1対である。221は同じく2条1対の棒状浮文をもつが口縁端部の肥厚は認められない。223は円形スタンブ状の文様を口縁外面に巡らす。223は口縁外面に赤彩が施されている。224は直立する頸部からわずかな段を経て口縁部を形成している。225は直立した頸部に強く外反する口縁部をもち、頸部はキザミをもつ突帯で加飾される。226は大型の壺で、大きな有段口縁の外面に円形浮文が付く。227・228は櫛描文が施されており、弥生時代まで遡る可能性があるが不明である。227は山形文、228は山形文と直線文が確認できる。229・230は外面ハケ調整後に粗雑な櫛描文で加飾している。231～237は球状の体部から屈曲し直線的な口縁部を持つ土師器壺である。238は小型の壺で、外面に赤彩が施されている。239は外面と口縁部内面に赤彩処理がなされる。240は無頸壺で、蓋装着用と思われる孔が確認できる。241は外面赤彩された台付壺の体部、242は壺類の底部である。243は台付壺の脚であろう。244～246はミニチュア土器で、244は壺形、245は台付鉢形で赤彩が施される。246は有孔鉢形であろうか、底部に穿孔される。247～252は手握土器である。253は内外面にミガキ処理の施された鉢である。254は碗で、同様の調整が施される。255は蓋である。256～262は土鉢で、257・261・262は有孔土玉か。263～275は球状の体部と直線的な口縁部を持つ土師器小壺である。274は田嶋分類のE1類、275はC類に相当する。漆12群・古墳時代中期前葉のものであろう。276～279は土師器高杯の杯部、280～285は脚部である。276は口縁部まで内湾気味の粗雑な作りのものである。283は脚部に工具で横溝の加飾を施している。286～300は土師器高杯である。287は直線的に開き端部を面取りする口縁部をもち、内外面に赤彩が施される。289は碗状の受部から外反する口縁部をもち、丁寧なミガキが施される。田嶋分類のB2類に相当する。293は杯部内面のミガキ調整を中央から放射状に行うことで加飾的な要素をもたせる。294は丁寧なミガキの後、内外面に赤彩を施している。295は脚部であるが、頸部から直線的に開き、裾部で短く屈曲する。298の杯部内面はハケ状工具で単位を区切って調整されており、加飾的要素と認識される。300は小型のもので、縦径2孔1対の透孔が認められる。301・302は台付鉢とした。301内面のミガキ処理は特徴的で、中心から弧を描く放射状に施されており、加飾的な要素が強い。302の内面も放射状のミガキが施されている。303～308は器台である。303はいわゆる小型器台で、透孔は3箇所確認できる。304は脚部に櫛描直線文を2条巡らせている。307は脚部と裾部の変化点に突帯をもつ。透孔は2孔1対で3箇所確認できる。308も同様に突帯をもち、突帯上にキザミを施す。透孔は2孔1対2箇所に確認できる。309は受部に透孔をもつ装飾器台である。310は鼓形器台である。311は須恵器甕で、細かな櫛描波状文が施されている。

312～319は土師器碗である。314は高台をもち、内面は黒色処理が施される。315～317はクロロ土師器碗で、317は柱状の高台をもつ。318・319は内面黒色土師器碗で、318は外面に赤彩処理がなされ、高台をもつ。320は内面黒色の鉢であろう。321はクロロ土師器皿である。322・323は白磁碗で、322は小片のためもう少し傾き太宰府分類Ⅱ-1類、323はⅣ-1a類に相当するか。ここで報告した土師器碗・皿・白磁類は重複するSD210からの混入と考えられる。324～326は土師器甕としたが、325は口縁形態とキザミ、櫛描波状文による加飾から壺とすべきか。324は口縁外面に擬凹線を巡らせ、内面には指頭圧痕が認められる。326は甕で、体部は中央部で大きく張り出す。327・328は山陰系の壺か。口縁下端に弱い突出が認められる。

329はミニチュアの土師器蓋である。330は大型の有段甕で、12条の擬凹線が施されている。331～333は土師器甕で、331は直線的な頸部と受口状の口縁部を持つ。334は甕か。浅い体部と短い口縁をもち、調整は粗い。335は土鉢である。336は高杯の脚部を蓋として転用したもので、欠損断面が研磨されている。337は壺としたが、形状から甕形土器の可能性もある。338は高杯の杯部か。内面に丁寧なミガ

キ調整が施され、須恵器杯身の形状に似る。339は小型の器台で、透孔を4箇所確認できる。340は高杯で、裾部端に1条の沈線を巡らす。341～343は碗で、内外面ともにミガキ調整が施されている。

344は装飾壺で、口縁部のみ出土だが、内外面に櫛状工具を使用した華やかな装飾が施される。345は壺の口縁部で、口縁下端を断面三角形に拡張し、擬凹線を巡らせたのち円形浮文を貼り付けている。346は土師器甕である。347・348は高杯で、347は厚手の器壁を有し、内外面をミガキ調整とする。348は脚部で、透孔が3箇所確認できる。349は装飾器台で、受部下端拡張部に擬凹線を施し、赤彩が施される。359は器台の脚で、透孔は2孔1対3箇所に確認される。351は鉢か。体部中央に1条の凹みを設け上部と下部を区分けし、上部に篋状の工具を用いた綾杉状刺突で加飾するが全容は不明である。352は土師器の壺で、丁寧なミガキ調整が施されている。353～356はグリッドから3区出土の可能性がある。353は壺の肩部で、粗雑な櫛描波状文と直線文で加飾される。354・355はミニチュア土器で、354は壺形、355は台付鉢で外面に線刻がある。356は有孔鉢の底部であるが、高杯杯部の転用か。357は須恵器蓋、358は須恵器杯身で、いずれも和泉陶器窯編年(田辺1981)のTK47～MT15形式が想定される。359は多孔の瓶である。外面には粗いハケ調整、内面にはケズリが見受けられ、孔13個が残存する。グリッドから3区出土のものか。360は土師器の甕である。厚手で、くの字状に外傾する口縁をもつ。361は須恵器の甕で、タタキ目の分類については外面が内堀分類(内堀1989)平行線文a類、内面は同心円文b類である。

362は器台とした。田嶋分類の壺F類と同様の口縁形態を持つが、口縁部が緩やかに内湾する。棒状浮文2条1対が確認できる。363は同様の口縁形態をもつ壺である。364は頸部にキザミ突帯を巡らす壺と判断した。弥生時代中期か。365は壺の体部破片か。外面に線刻が確認でき、絵画土器の可能性もある。366は土師器壺の口縁部で、端部を面取りし、綾杉状のキザミを巡らせる。367は突帯上キザミをもつ壺の頸部である。368は強く開く壺の口縁部で、キザミのある棒状浮文が2条確認できる。369は土師器壺形土器、370は土師器小壺、371は鉢である。371は無頸壺で、蓋装着用と考えられる孔が2孔1対2箇所に確認できる。373・374は土師器蓋で、丁寧なミガキ調整が施される。375は壺類の支脚である。376は高杯で、杯部と比して太い脚部である。377は直線状に開く器台の脚部で、透孔は3箇所確認できる。杯部を結合、充填した後に再穿孔している。

378は布留甕で、379は口唇部肥厚がわずかに認められる土師器甕である。380・381は縄文土器で、御経塚式期に属する。381は前出174と同一個体と思われる、突帯と刺突文が確認できる。382は土師器甕で、粗い作りで口縁部は外反する。383は土師器の丸底壺、384は口縁に段をもつ小壺、385・386は小壺である。387は鉢で、底部内面は厚く、指頭圧痕が認められる。388は大型の壺である。389は土師器有孔鉢の底部、390～392は土師器高杯である。390は杯部内面のミガキ調整が中心から弧を描く放射状に施されており、加飾性が強い。391・392は田嶋分類のH類に相当する。

393は直立気味の口縁に2条の沈線を巡らせる。弥生時代のものか。394は青磁染付皿か、高台内に染付で「洪武年造」の記載がある。395は龍泉窯系青磁碗で、太宰府分類のⅢ-1Bに相当する。13世紀代のものか。396・397は土師器小壺で古墳時代前期～中期、398は須恵器無台杯、399は瓦塔の屋蓋部である。方形の縁長押部、半截竹管状工具で作り出した丸瓦部が2面に残存し、中央部に設けられた穴の一部が確認できる。孔径は不明だが、7cm前後と想定すれば、縁長押内法で約13cm前後となる。4区大河跡からは当該期出土の遺物はほとんどなく、時期は不詳と言わざるを得ないが、既刊報告書(木曳野遺跡群Ⅳ～Ⅵ)で報告されている同一河川(主幹線1区SD303・同2区SD240・SD244・同3区SD201)からは田嶋編年(田嶋1988)Ⅲ期～Ⅳ期の遺物が多く報告されている。

401は粘板岩製の石庭丁か。402は蛇紋岩製の磨製石斧で、基部を欠損する。403は蛇紋岩製の磨製石斧で、基部から刃部にかけて幅広となる。404は全周に敲打痕の認められる敲石である。405は全面に使用痕のある流紋岩製の砥石である。406・407は施溝分割痕の残る変質流紋岩製の剥片である。408～410は凝灰岩製の打製石斧である。411は刃部を欠く磨製石斧、412は石英の剥片・413は変質流紋岩の

剥片である。414は変質流紋岩の石核、415は粘板岩の石核とした。416は擦痕から砥石としての用途が想定されるが、周囲全面に敲打痕が認められる。417は縄文時代の磨石形石器で、粗い調整が施されており、未成品と考えられる。418は安山岩製の砥石、419は安山岩製の打製石斧で、撥形を呈する。420は玄武岩製の打製石斧で基部を欠く。421は石錘で、括部に使用痕が明瞭である。422は被熱した安山岩で煤が付着しており、灰石と考えている。423は変質流紋岩製の剥片としたが、礫形石製品未成品の可能性もある。424は石錘で、括部に使用痕がある。425～427は砥石で、426・427は凝灰岩製で中央部に線状の擦痕が残る。428は石錘で、使用痕が顕著である。429は砥石か。431・432は変質凝灰岩製の管玉で、いずれも両面穿孔である。433は変質蛇紋岩製の勾玉、434は碧玉製の丁字頭定形勾玉で、頭部を欠くが、孔部周囲に5条の施溝が確認できる。435・436は滑石製の勾玉である。437は蛇紋岩製の勾玉で、両面穿孔である。

441は銅鏃で、有茎式である。442は鉾鏃、443は鉄製であるが用途不明で鉄製品残欠とした。台付の円錐形を呈する。鏃か。444は鉄製の角釘である。445はシカの右肩甲骨で、焼灼痕は認められない。計測箇所は青谷上寺地遺跡Ⅲの計測法(井上2001)による。446はシカの右上腕骨で、445と同一個体と考えられる。447はシカか。448はイヌの頭骨である。中世犬、雌犬か。448の同定結果は既刊『木曳野遺跡群Ⅱ』に掲載しているのでそちらを参照願いたい。

木製品は449・450・465～579が出土している。時期的には漠然とはあるが大河跡出土土器が参考になる。449は弓で、弦を突状に加工する。450は堅柱である。465は結菌式堅櫛で、黒漆で固められる。466～479は加工痕の残る板状・棒状の木製品である。467は木皿か。477は糸巻部材、479は履物の可能性がある。480～482は弓で、480・482には加工された弦が確認できる。494・495は同一個体と思われ、鋏であろうか。496は杓子状の木製品、500は薄い作りで筥状とした。508は棒状で、一端が薄く加工されており、杓子状か。511は工具等の柄である可能性がある。514は箸、522は櫛状を呈する。524は鋏ないし楔であろう。525は桶の側板であると考えられ、上下を黒漆で装飾する。526は漆器の椀で、全面に黒漆が塗られている。527は建築部材と考えられる。屋根材か。528は折敷底板である。530は平面楕円形を呈し、槽とした。531は組合式の刀柄である。532は木錘である。533は弓で弦に造出が認められる。541～543はナスビ形の平鍔である。544は舟形で、軸先に細かな加工がみられる。545は湾曲した一材の両端を粗く削り、中央左右に挟りを加えてあるが、用途は不明である。546はタタリの基礎部材か。547～563は加工が認められる棒状・板状の木製品である。564は堅柱で中央部で欠損している。569は表面に挟り加工が認められ、容器の未成品と考えられる。565は篋状木製品の残欠か。570・571は鞆である。双方ともに馬挟に沿って突帯を設け居木結束のための装置である方孔を穿っている。570は断片のため詳細は不明だが、571は後輪と考えている。573は平鍔であろうか。579は円形板で、桶か曲物の底板であろう。

第4節 遺構外

遺構外(第30図430) 430は4区包含層出土遺物で、粘板岩製の石剣断片である。研磨により両面に鎧部分を作り出す。刃部・基部の両端を欠損する。

第5節 補遺

過年度に刊行した報告書に掲載できなかった遺物について併せて報告する。主に木曳野遺跡群Ⅵで掲載できなかった木製品・金属製品であるが、その他のものもここで取り上げて報告する。出土した調査区・遺構等は第3表～第5表を参照願いたい。

寺中B遺跡、畝田・寺中遺跡1区・3区・県費分C区(第36図580～587・589～593、第37図) 580は土師器の甕で、くの字に屈曲する口縁部をもつ。581は無頸壺である。球胴で小さな底部をもつ。582は

柁目取りの木製盤。583は土師器高杯で、八の字状に延びる薄作りの脚部に透穴が認められる。584は高台をもつ須恵器壺の底部である。585は丸木に突帯を作り出した木製品で、栓か。586は高杯の受部を再加工した円盤状の土製品である。587は弓であろう。弓は突起を削り出し穿孔する。589は土器の注口部を再加工したものと考えられ、再研磨されている。590はガラス玉である。591は鉄製の柄付刀子である。刃部の蛍光X線分析結果によると、成分はFe（鉄）、Ca（カルシウム）、Rb（ルビジウム）から成り、濃度（wt%）-標準偏差-強度（cps/ μ A）はそれぞれFe: 99.40-0.06-188046、Ca: 0.49-0.06-0.081、Rb: 0.11-0.01-0.410である。柄材はスギである。592は挟りと穿孔がある木製品、593は鉄箸である。594は滑石製の勾玉、595・596は変質流紋岩製の管玉、597は翡翠の剥片だが大きさ等から勾玉の材と考えた。598は土師器甕、599は須恵器の広口壺か。602・603はそれぞれ木鍾・櫛であろうか。604は石鍾、605・606は不明で、自然滓の可能性ある。607は鉄製の刀子で、刃部先端を欠損する。

2区出土土製品・金属製品(第38図) 608～626は土鍾で、625・626は有孔土玉か。627～632は輪羽口。633は鉾滓、634は有茎の鉄鏃、635は鉄製刀子の刃部。636は元豊通宝、637は皇宗通宝である。

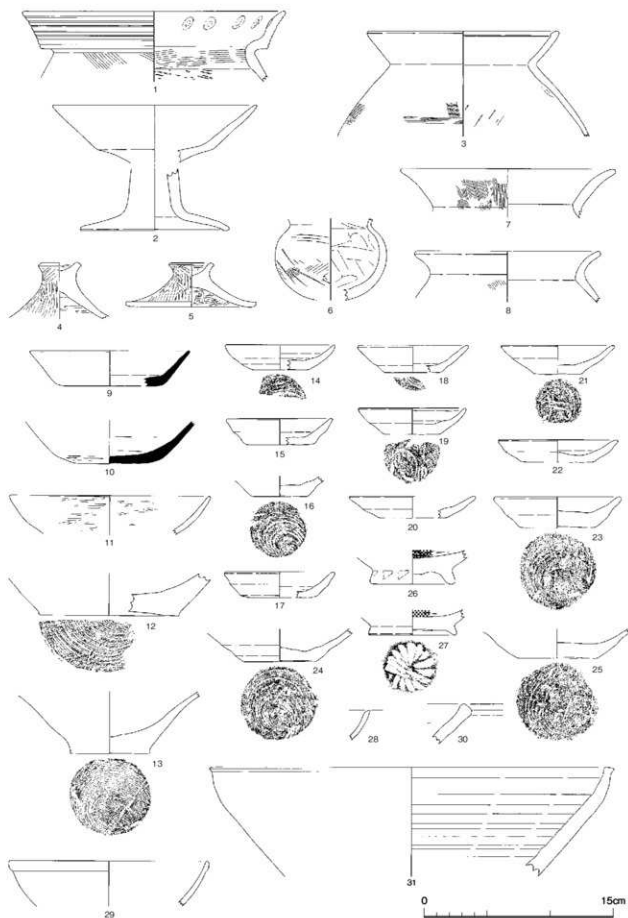
2区出土木製品(第36図588、第39図～41図) 588は角材か。639は先端を円柱状に削り出し下端に2つの孔を設ける棒状の木製品で、柄であろうか。646は飾板か。647は下駄の歯である。648は折敷で、4枚が残存している。650～653は箸状で、SE251から出土した。658・661・662・665も箸状木製品である。671は飾板であろうか。672は折敷または円形板、637は横槌である。678は木杵と考えられる。680は漆器蓋か。断面は半楕円形を呈し、中央部に孔を設け、裏面と思しき面に黒漆が残存する。682は鏃であろうか。683・691・699は弓の可能性ある。700は弓で、弓を削り出して突帯状に作る。703は木杵であろうか。704は円形板で、外縁を削って段を設ける。桶の底板か。706は容器または椅子の用途が考えられる木製品である。707は杵または槌、708は何かの柄と考えられる。709はクスギ材の多叉鏃で、柄には2つの方孔が確認できる。泥除具装着装置か。710は火鑽白で、使用痕は3箇所である。711～719は加工痕が確認できる棒状・板状の木製品である。720・721は雑具の部材であろう。722は漆器碗で、内外面黒漆である。732は農具の柄であろうか。733は紡織具部材、739は斎串である。741～743・745は円形板、744は曲物の側で、結束具としてサクラ類の樹皮が残る。742と同一か。749は井戸の銅板と考えられる。

再掲：鑑定対照表

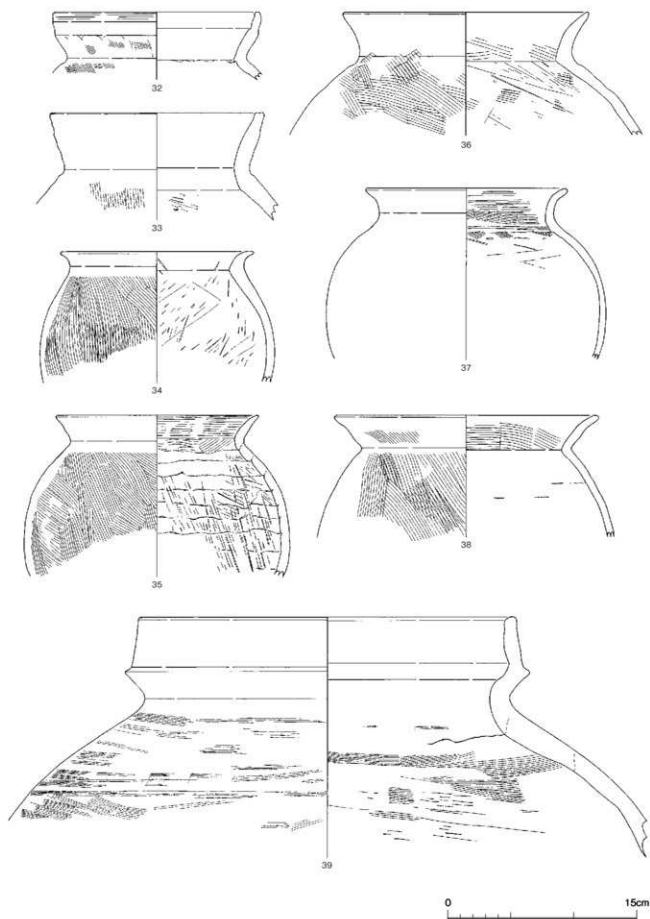
平成14年度～16年度にかけて行った木更野遺跡群発掘調査において出土した貝類・骨類、石製品の一部について、バリノ・サーヴェイ株式会社に委託し肉眼観察による種・材の鑑定を行っており、今回報告した遺構からの遺物も含まれている(第1分冊P18～29)。今回報告文についてここに再掲し、第1分冊との対照を図ることとした。なお、詳細については第1分冊を参照願いたい。

第2表 鑑定対照表

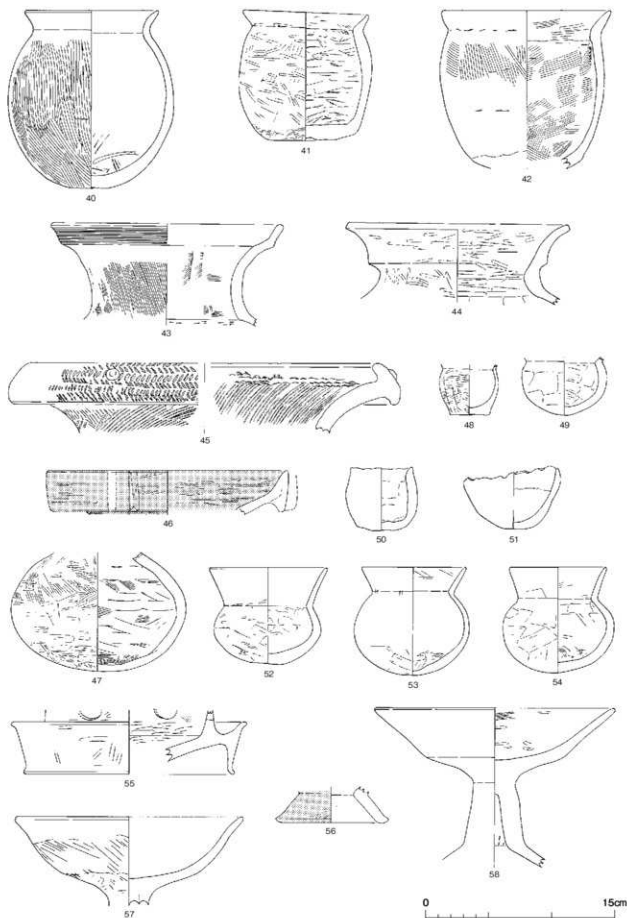
番号	器種	図版番号	対照表番号	鑑定	備考	実測番号	番号	器種	図版番号	対照表番号	鑑定	備考	実測番号
1	管玉	第30図-431	表18-10	変質凝灰岩	4区 W23 大河跡	Y25	7	勾玉	第30図-437	表19-2	蛇紋岩	4区 X21 大河跡	A48
2	管玉	第30図-432	表18-12	変質凝灰岩	4区 W25 大河跡	G20	8	猪首	第31図-448	表13-表15	イヌ	4区 W25 大河跡	H36
3	勾玉	第30図-433	表18-13	変質蛇紋岩	4区 W-X22 大河跡	G21	9	勾玉	第37図-594	表17-上段	滑石	寺中遺跡 4-2区 跡土	G15
4	丁字頭 変形勾玉	第30図-434	表18-6	碧玉	4区 W24 大河跡	A53	10	管玉	第37図-595	表17-中段	変質流紋岩	寺中遺跡 4-2区 SO28	G22
5	勾玉	第30図-435	表18-7	滑石	4区 W24 大河跡	Y24	11	管玉	第37図-596	表17-中段	変質流紋岩	寺中遺跡 4-2区 SO25	G23
6	勾玉	第30図-436	表18-11	滑石	4区 W23 大河跡	N17	12	勾玉 未成品	第37図-597	表17-下段	翡翠	寺中遺跡 4-2区 SO28	N18



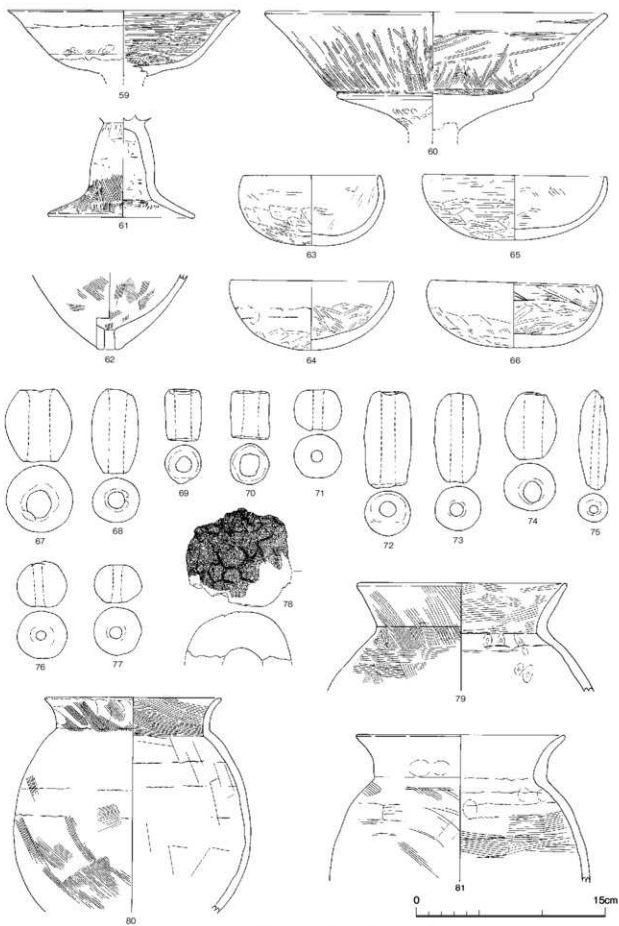
第8図 SK200・P200・SD210 出土遺物〔S=1/3〕



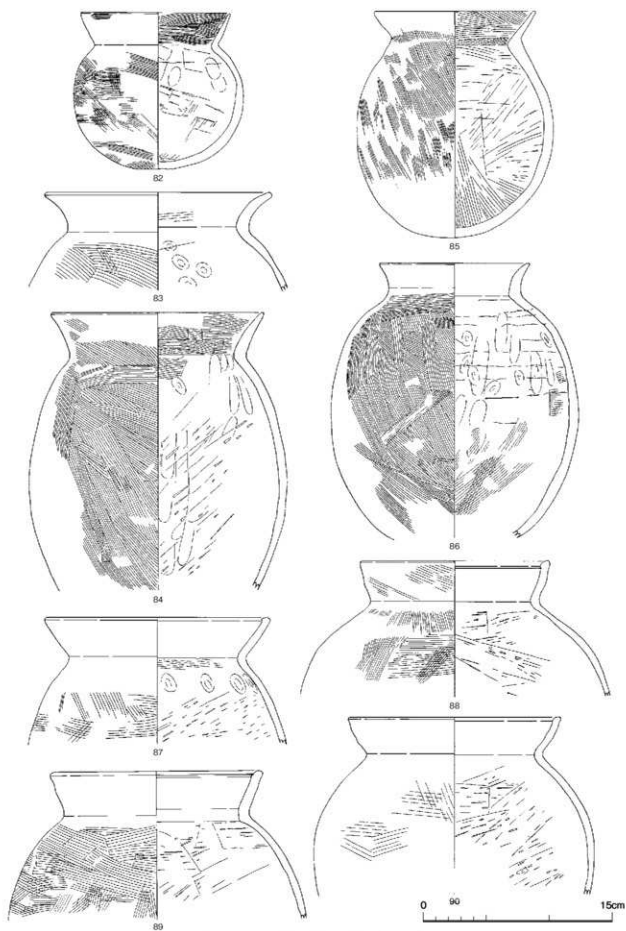
第9図 大河跡 (W25) 出土遺物 (S = 1/3)



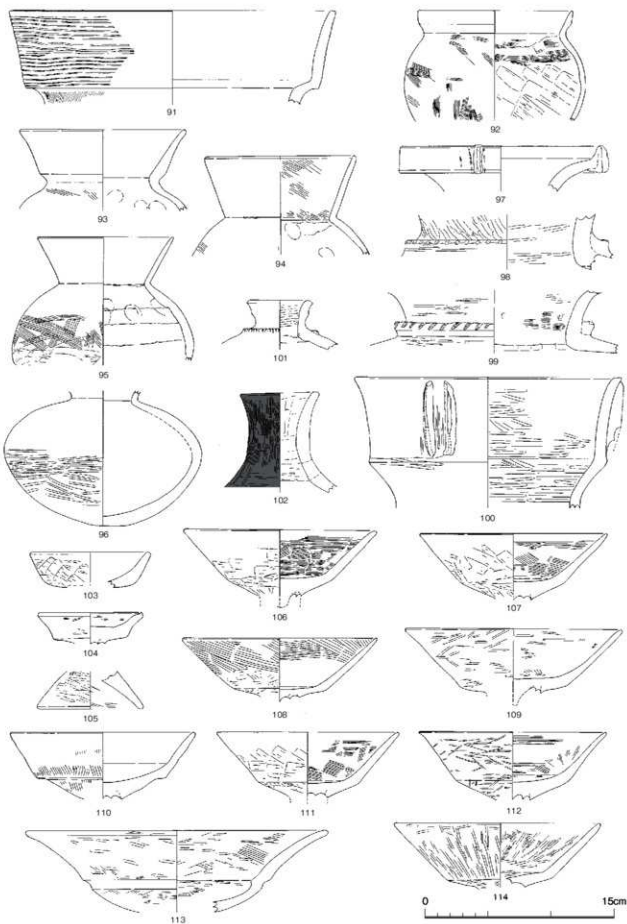
第10図 大河跡 (W25) 出土遺物 (S = 1/3)



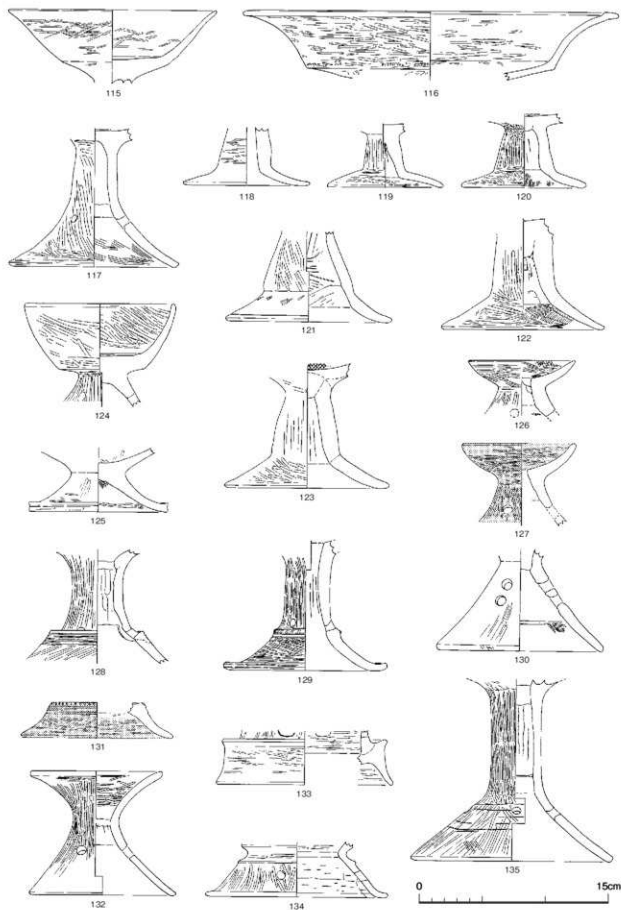
第11図 大河跡 (W25・W24) 出土遺物 [S = 1/3]



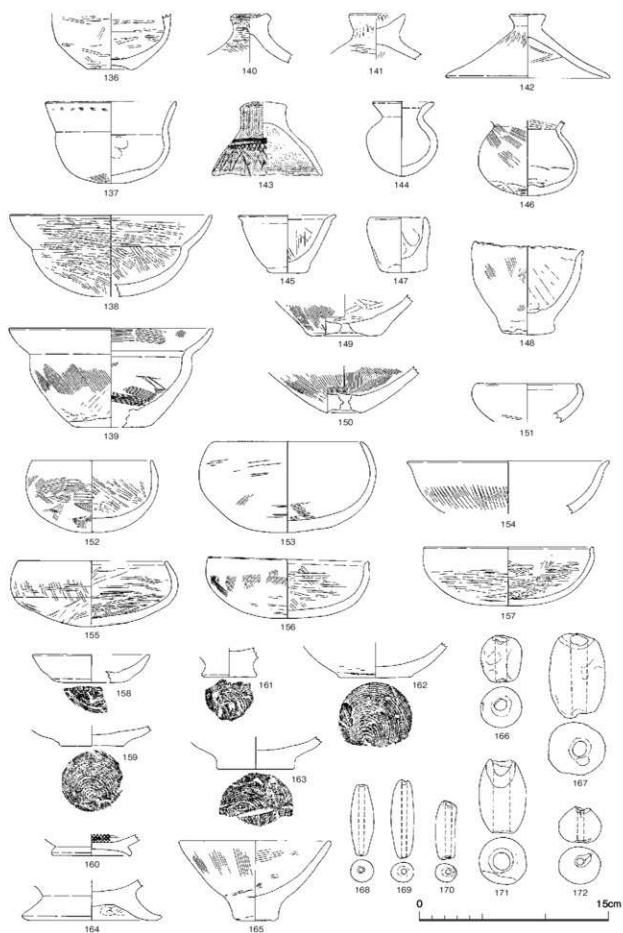
第 12 図 大河跡 (W24) 出土遺物 (S = 1/3)



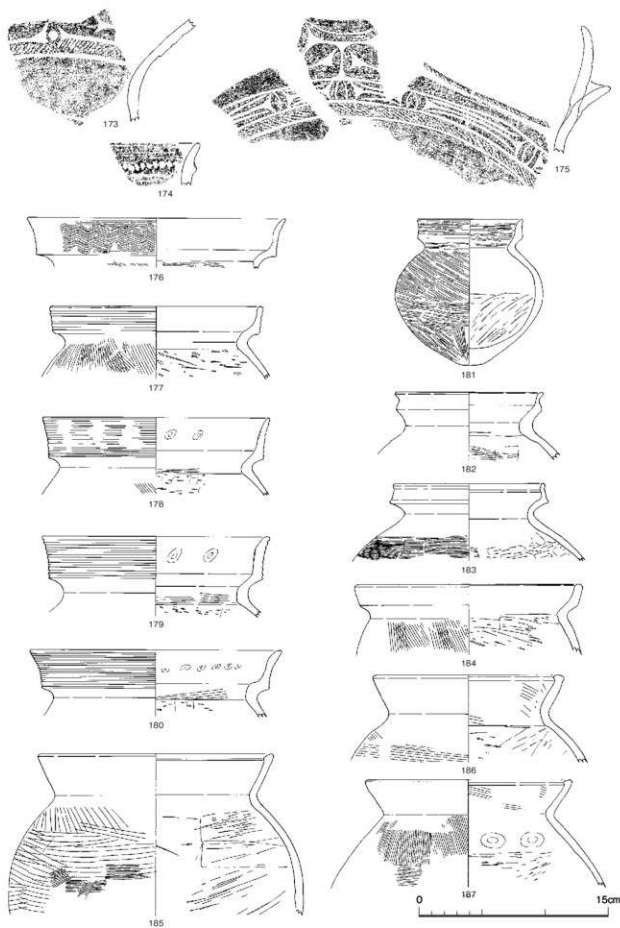
第13図 大河跡 (W24) 出土遺物 (S = 1/3)



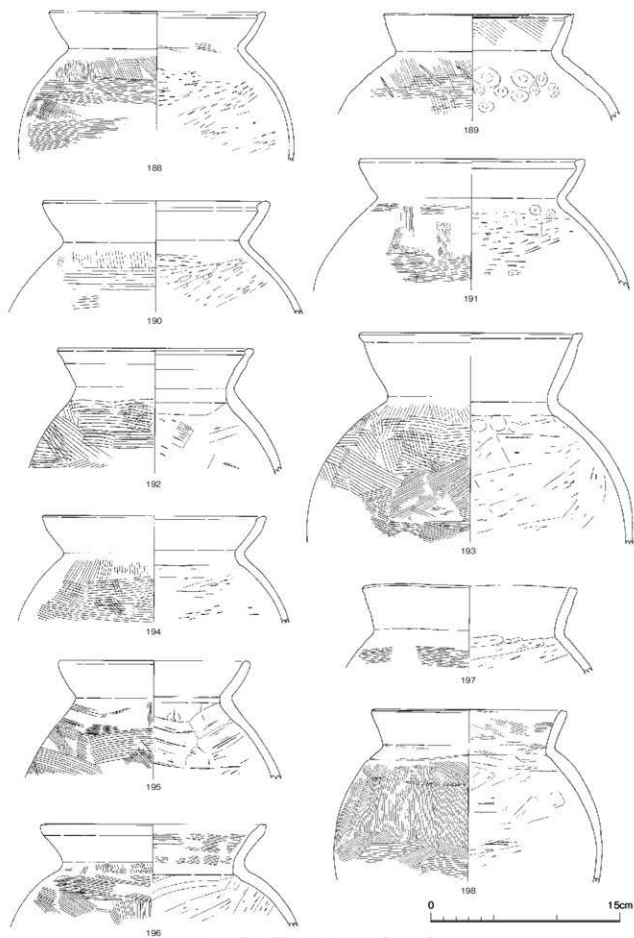
第 14 図 大河跡 (W24) 出土遺物 (S = 1/3)



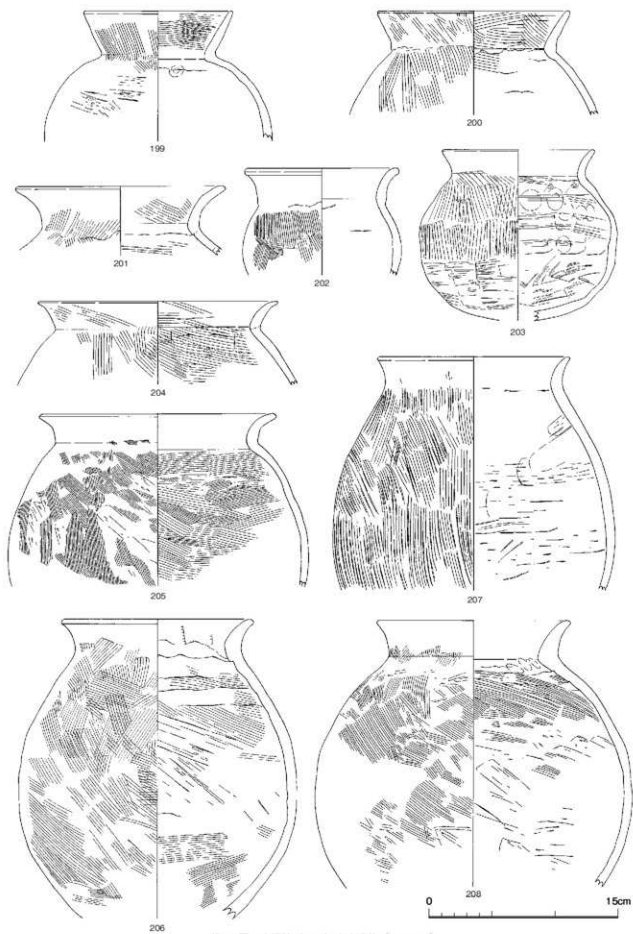
第15図 大河跡 (W24) 出土遺物 (S = 1/3)



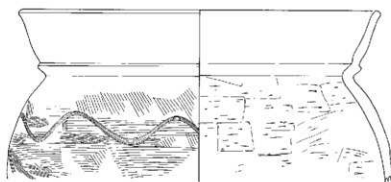
第16図 大河跡 (W23) 出土遺物 (S = 1/3)



第 17 図 大河跡 (W23) 出土遺物 (S = 1/3)



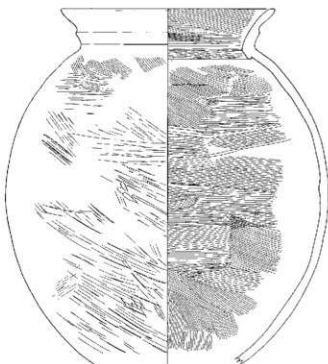
第18図 大河跡 (W23) 出土遺物 (S = 1/3)



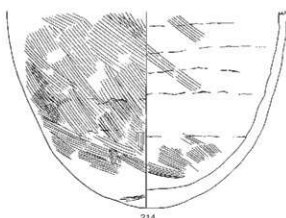
209



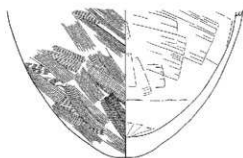
211



210



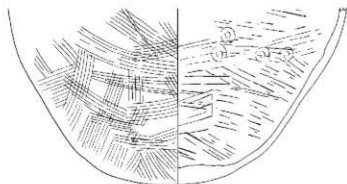
214



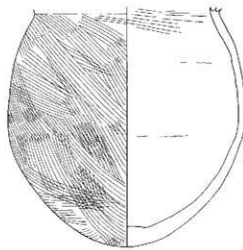
215



212



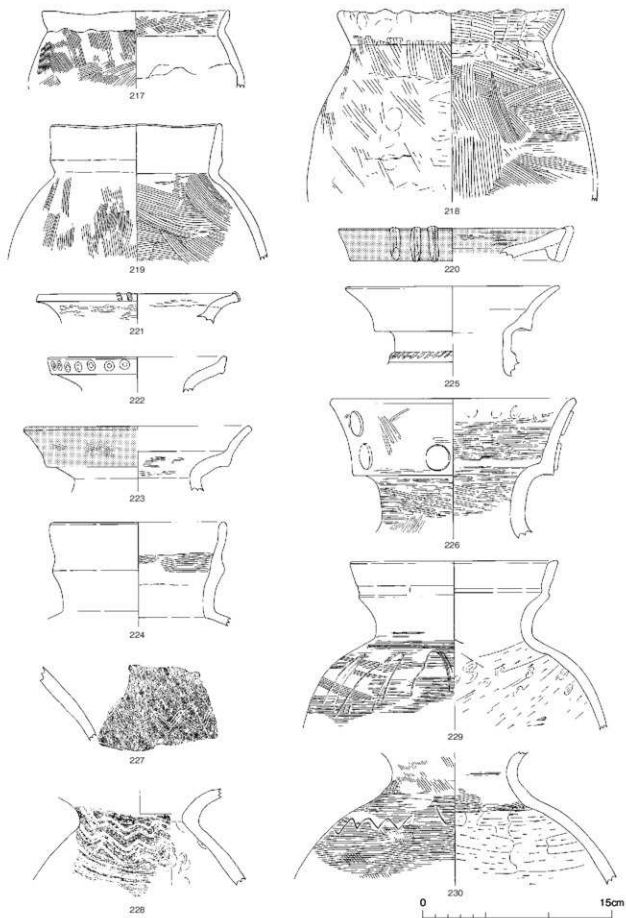
213



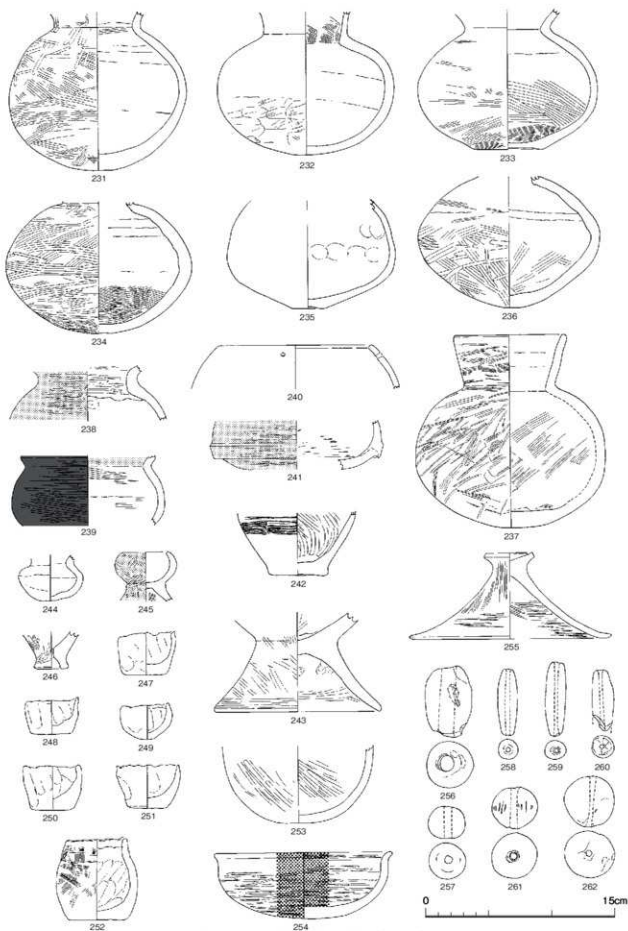
216



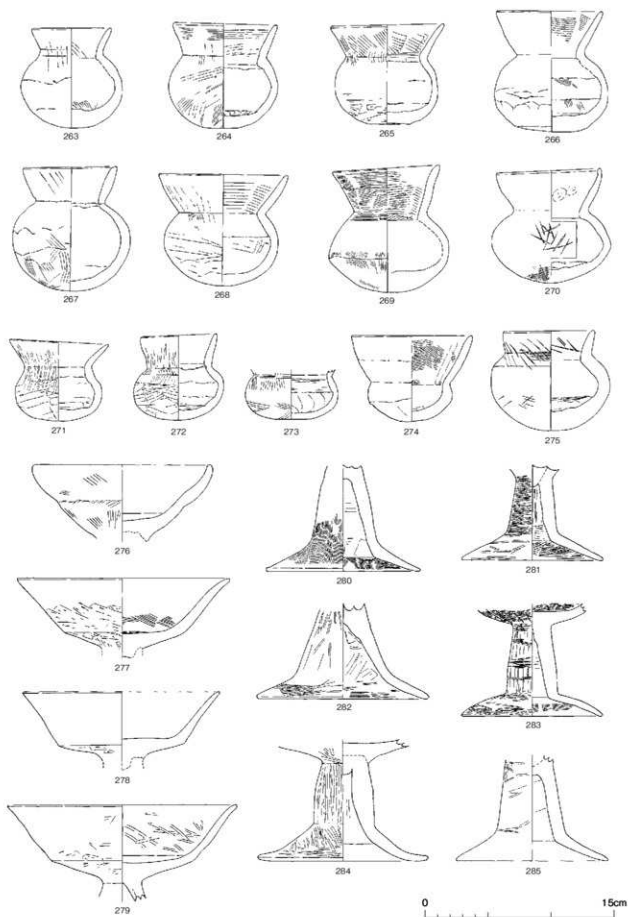
第19図 大河跡 (W23) 出土遺物 (S = 1/3)



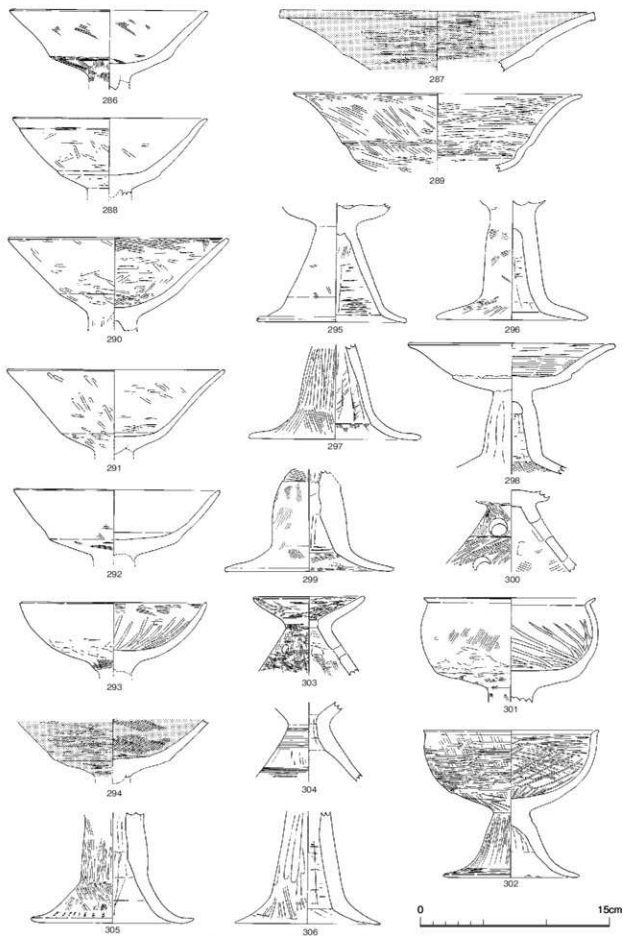
第20図 大河跡 (W23) 出土遺物 (S = 1/3)



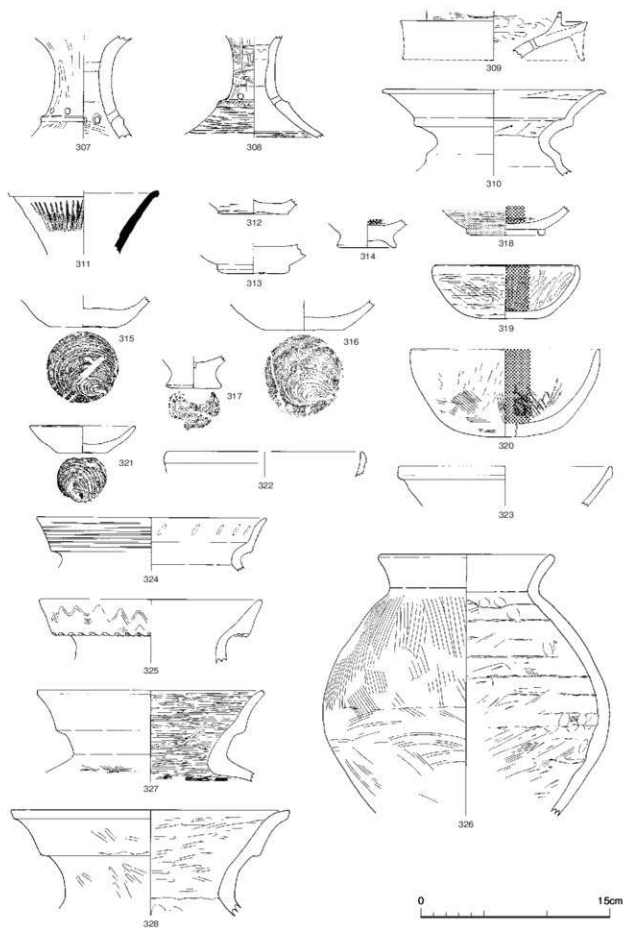
第 21 図 大河跡 (W23) 出土遺物 (S = 1/3)



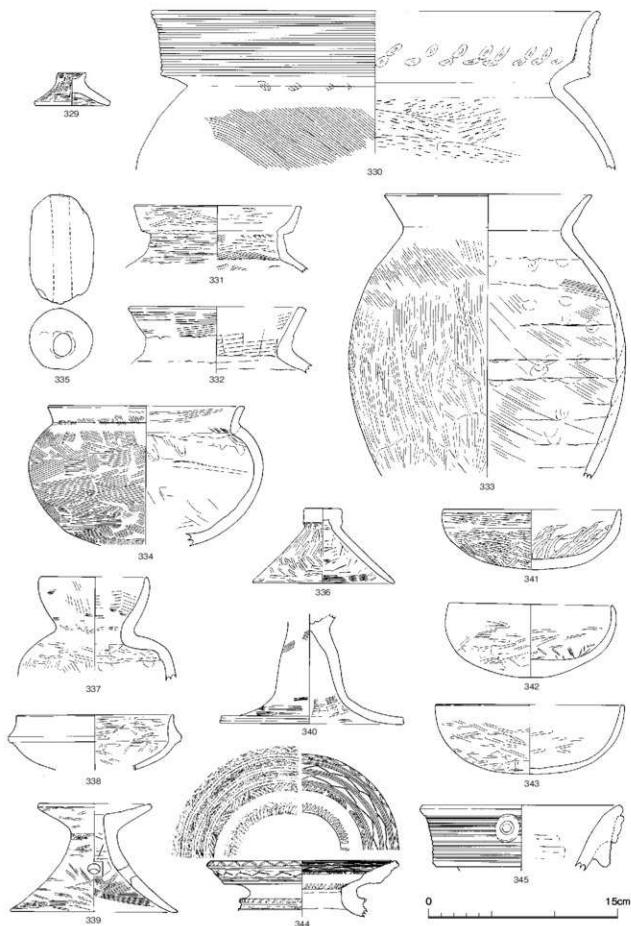
第 22 図 大河跡 (W23) 出土遺物 (S = 1/3)



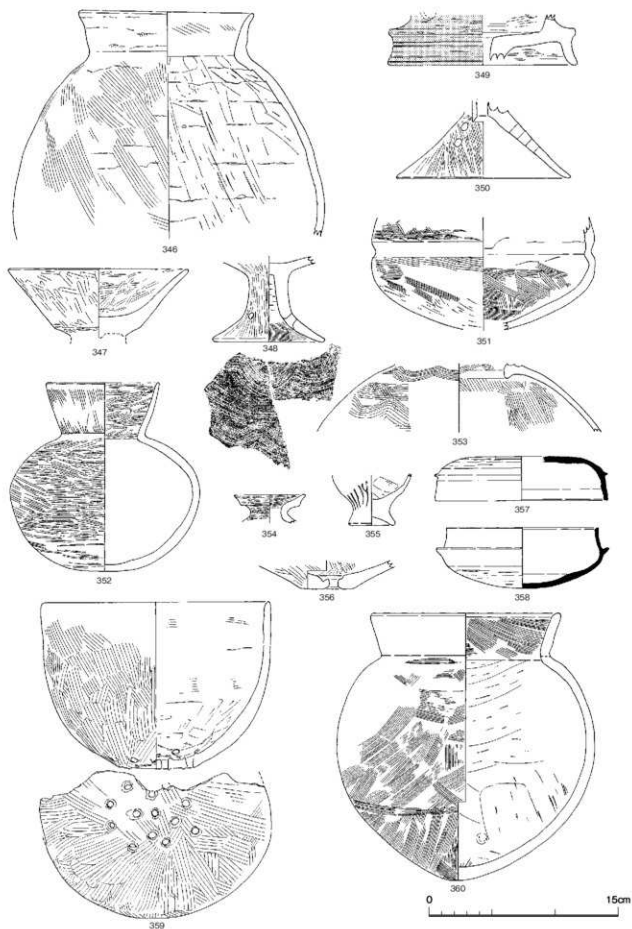
第 23 図 大河跡 (W23) 出土遺物 (S = 1/3)



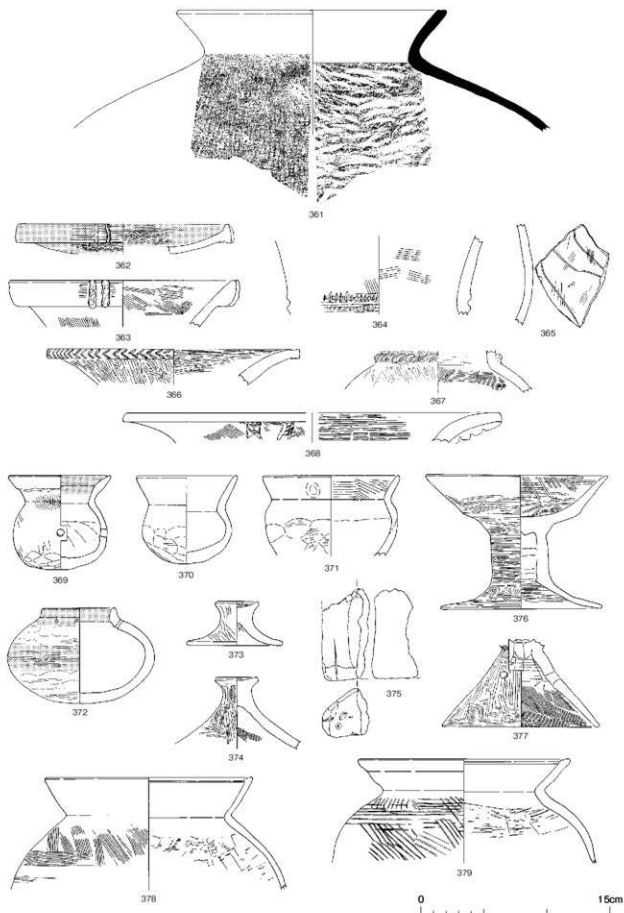
第24図 大河跡 (W23・W22・W) 出土遺物 (S = 1/3)



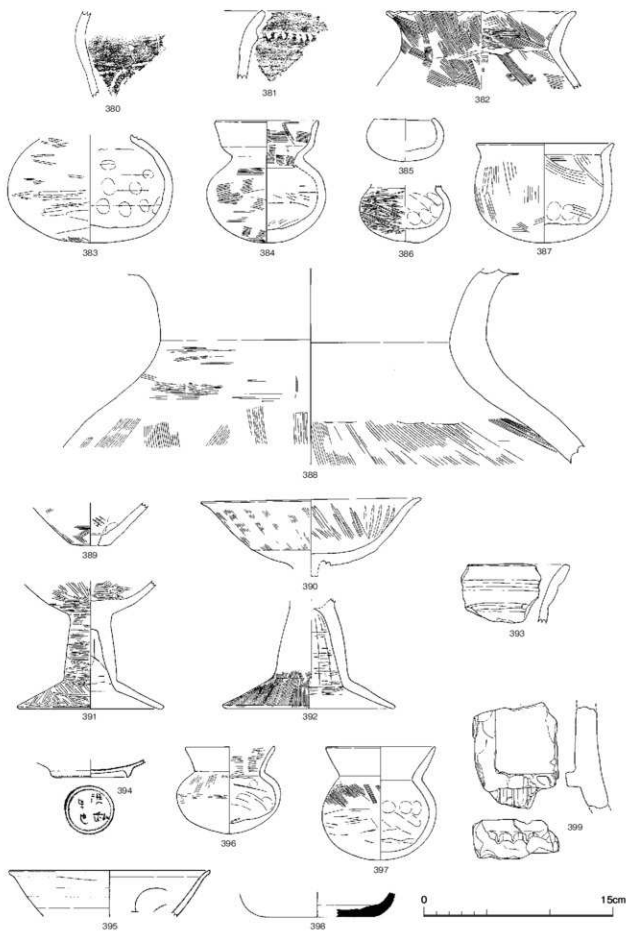
第25図 大河跡 (X24・X22・WX22) 出土遺物 (S = 1/3)



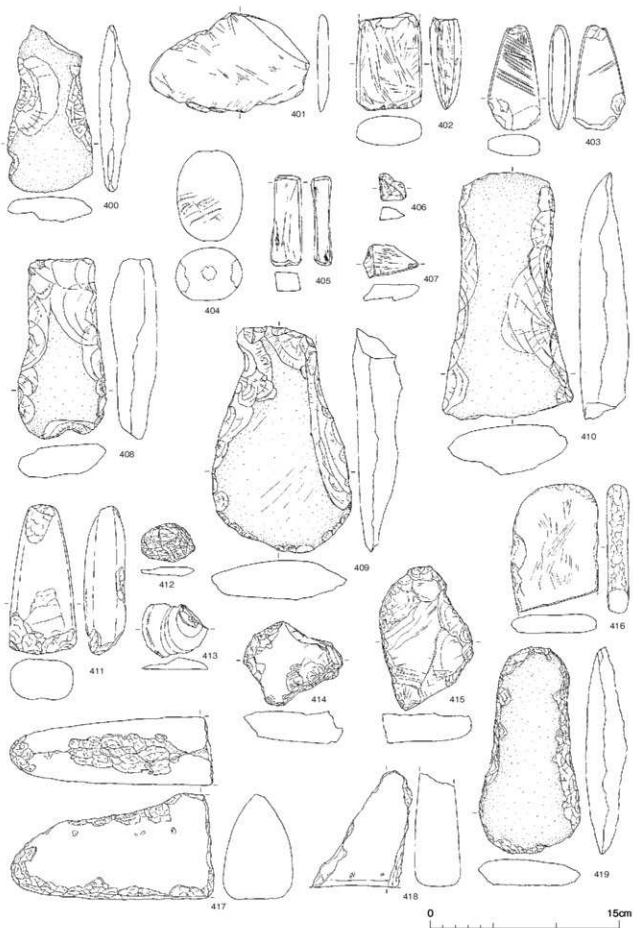
第26図 大河跡 (W・X22・X21・X20・Y22) 出土遺物 (S = 1/3)



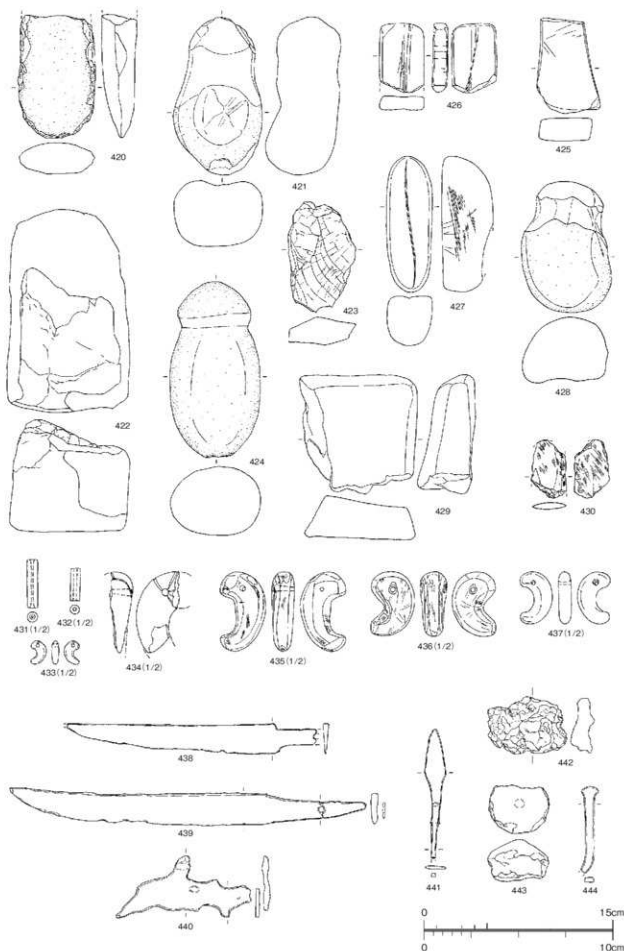
第 27 図 大河跡 (Y22・北半・中央畦) 出土遺物 (S = 1/3)



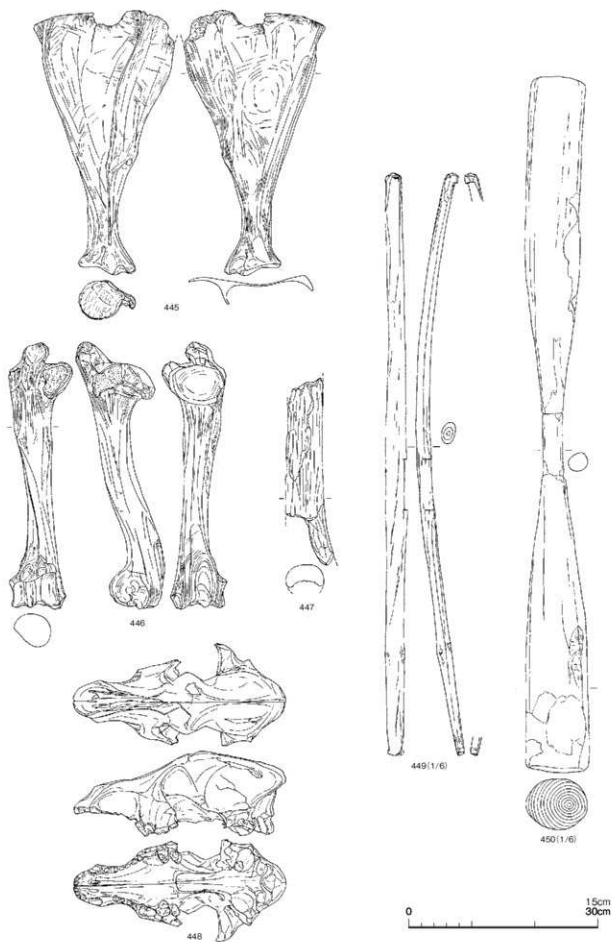
第 28 図 大河跡 (中央畦・南平・不明) 出土遺物 (S = 1/3)



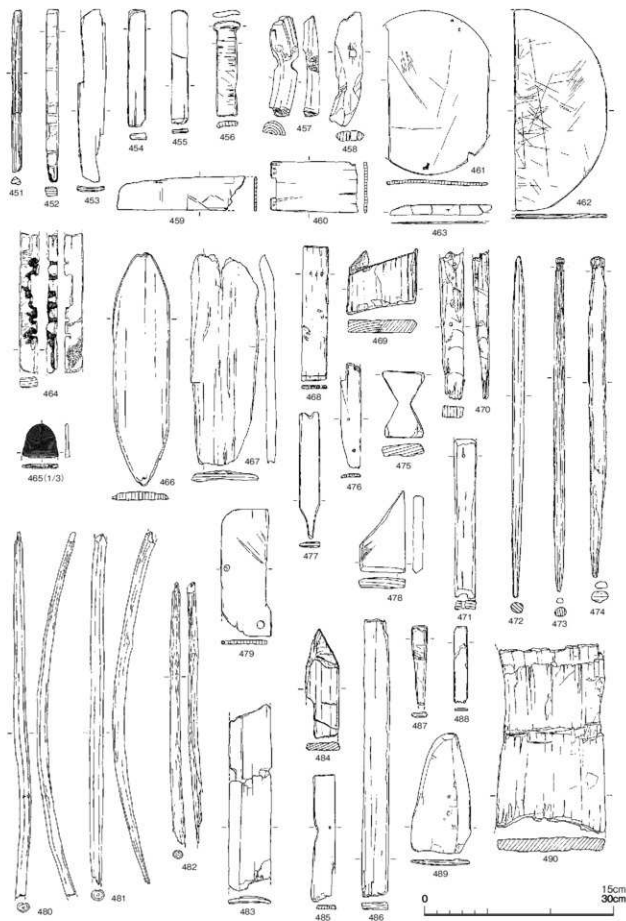
第29図 SD210・大河跡 (W25・W24・W23) 出土石製品 (S = 1/3)



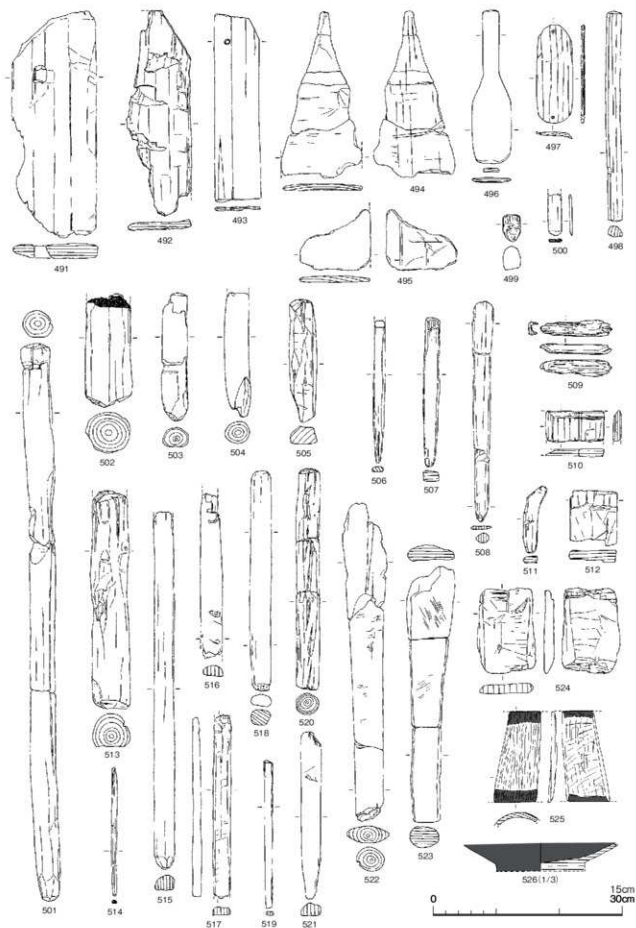
第30図 大河跡(W25・W24・W・X22・X21・北半・中央畦・南半)・SD210・包含層出土石製品・金属製品(S=1/3・1/2)



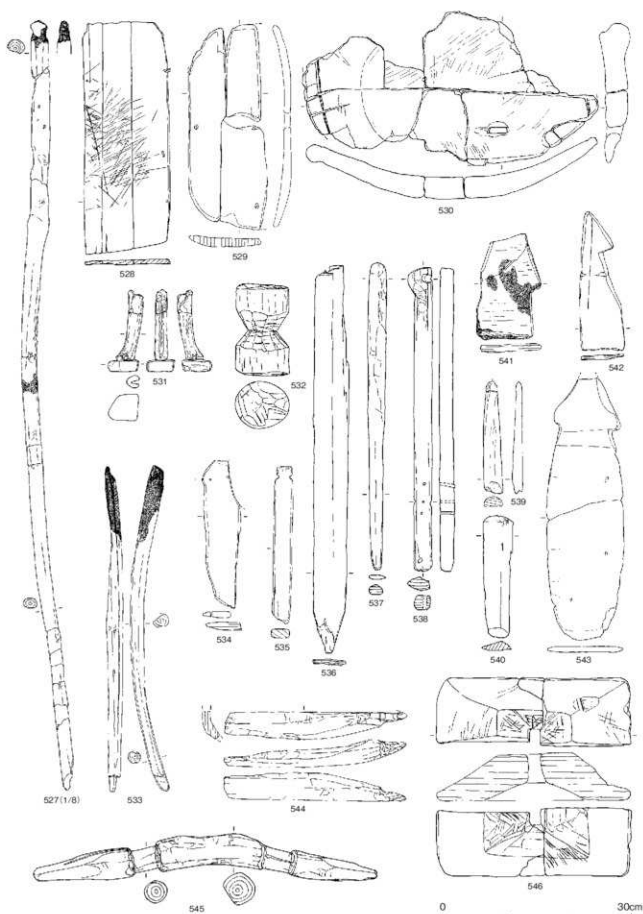
第31図 大河跡 (W25・W23) 出土骨・木製品 (S = 1/3・1/6)



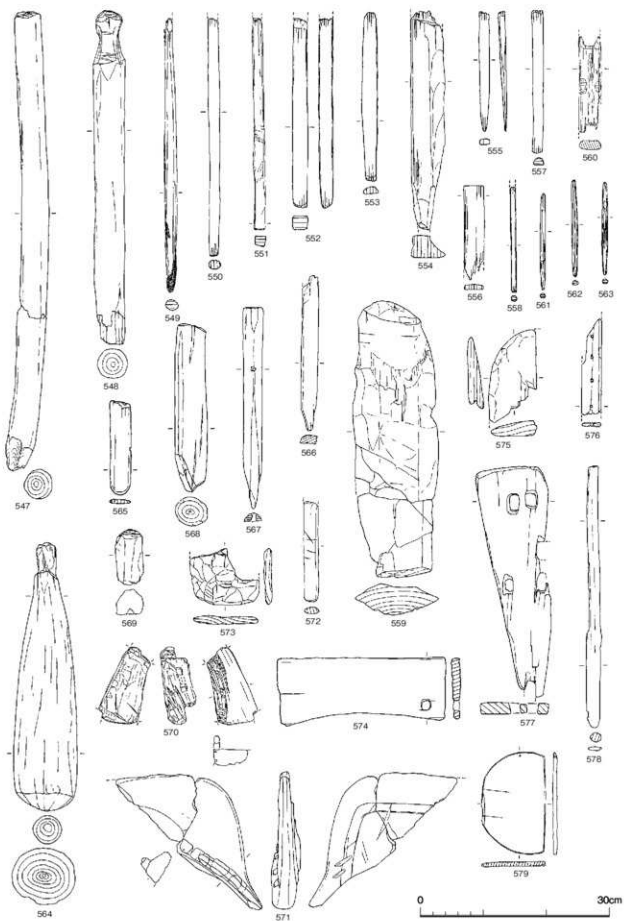
第 32 図 SD210・大河跡 (W25・W24) 出土木製品 [S = 1/6・1/3]



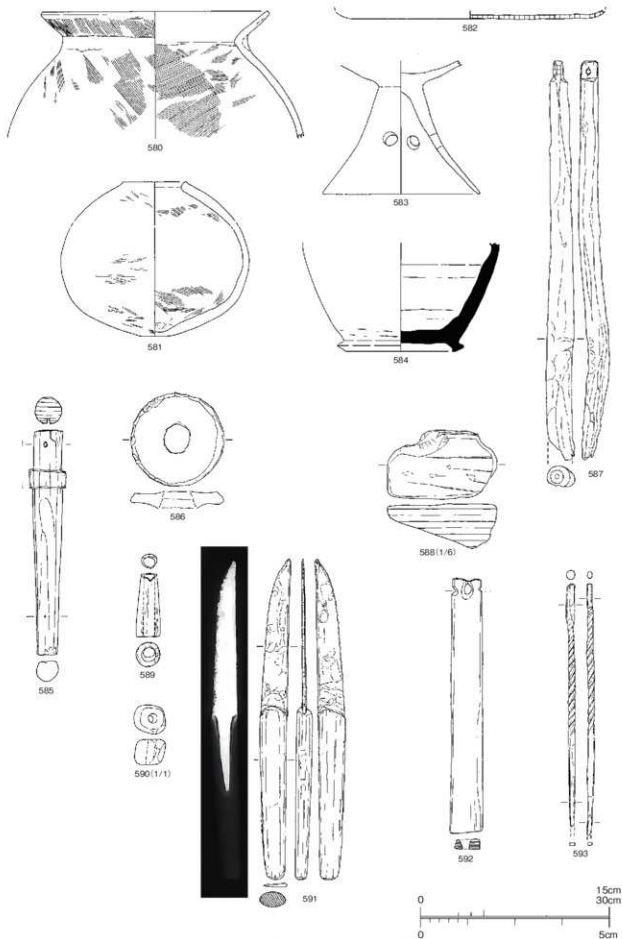
第33图 大河跡 (W24・W23) 出土木製品 [S = 1/6・1/3]



第34図 大河跡 (W24・W23・W22・WX22・X22・X21・Y21) 出土木製品 (S = 1/6・1/8)



第35圖 大河跡 (W25 ~ W21・W-X22・X22・X20・Y22・北半・中央畦・南半) 出土木製品 (S = 1/6)



第36図 補遺 [S = 1/3 · 1/1 · 1/6]



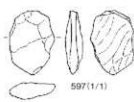
594 (1/2)



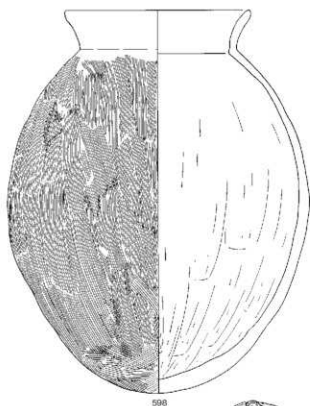
595 (1/1)



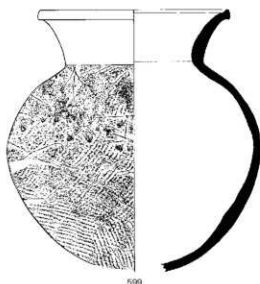
596 (1/1)



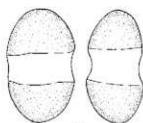
597 (1/1)



598



599



604



600



601



602



603 (1/6)



605



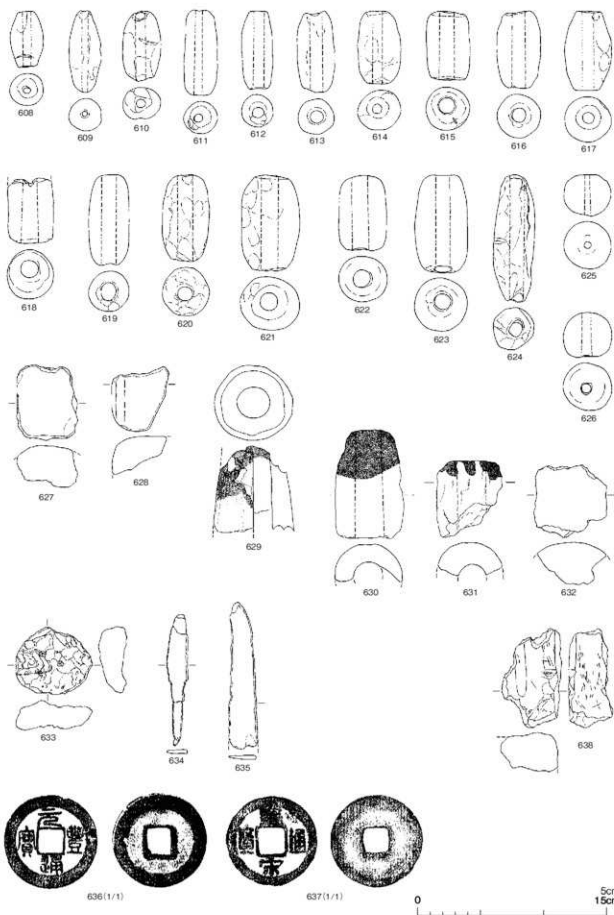
606



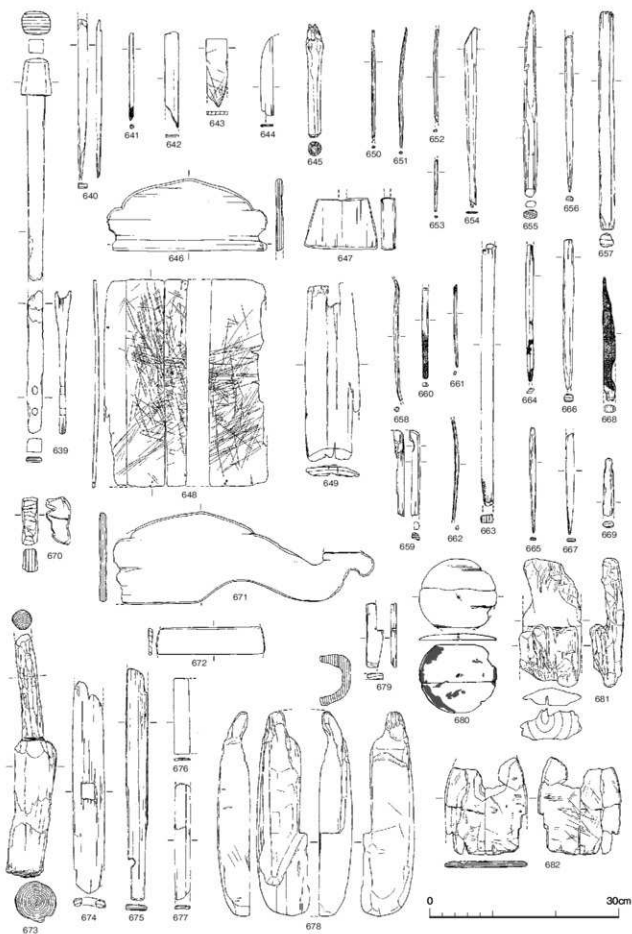
607



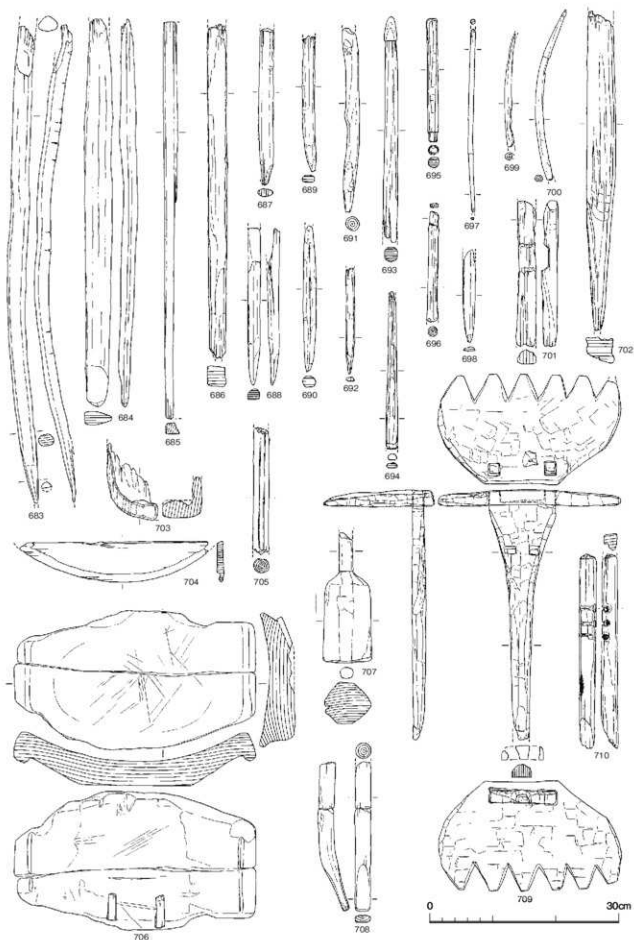
第37図 桶造 [S = 1/3 · 1/1 · 1/2 · 1/6]



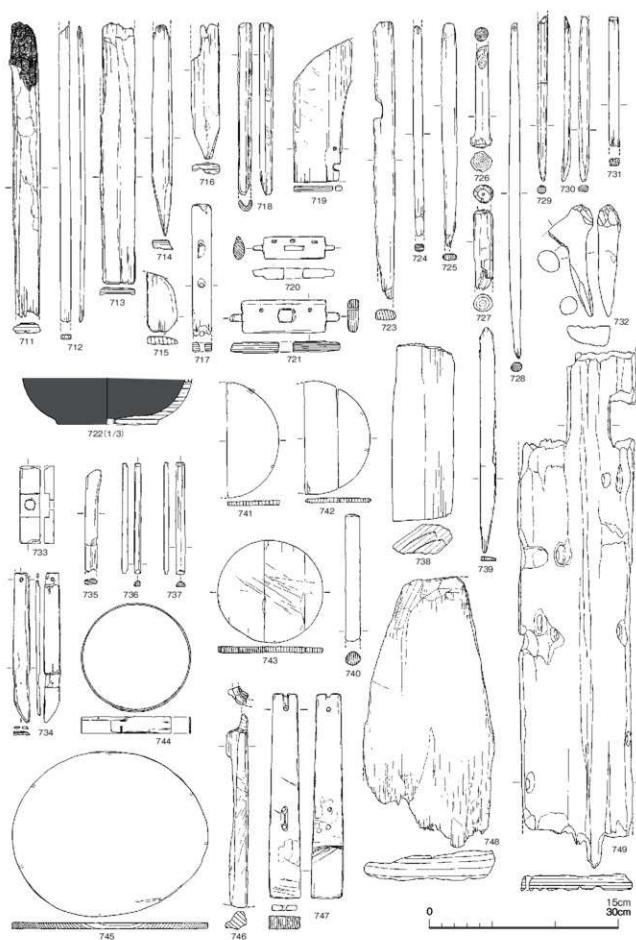
第38図 補遺 (S = 1/3・1/1)



第39图 補遺 (2区: SD303・SD222・SE251・SD240出土木製品) (S = 1/6)



第40図 桶遺（2区：SD244出土木製品）〔S = 1/6〕



第41圖 桶遺(2区:SD244・SD303出土木製品)〔S=1/6・1/3〕

第3表 土器・土製品観察表

図録 番号	通称	材料	寸法(mm)					底面形状	胎土		胎型					色相		備考	図録 番号		
			口径	高さ	胴径	底径	口縁高さ		砂	礫	口縁外面	口縁内面	胴部外面	胴部内面	底部外面	外面	内面				
8	426 V24 SK200	土器類 高杯	206	(56)			158	口12	○	○	線刻線	ハケ	ナデ	ハケ+ナデ		2.5Y8/3 淡黄色	2.5Y8/3 淡黄色	外面線刻線 内面口縁7条	T406		
	2 426 V24 SK200	土器類 高杯	160	(100)	118		口5-12 底9-12	○ △ △	○	○	摩滅	摩滅	摩滅	摩滅	摩滅	2.5Y8/4 淡赤褐色	2.5Y8/4 淡赤褐色		T407		
	3 426 V24 SK200	土器類 高杯	150	(84)			116	口3-12	○	○	ナデ	ハケ	ナデ	ナデ	ナデ	1.0Y8/4 淡黄褐色	2.5Y8/4 淡赤褐色	外面線刻線	T408		
	4 426 W22 SD210	土器類 高杯	(45)		線34	26	底12/12	口	△	ミナキ	ミナキ	ミナキ	ミナキ			5Y8/7/3 にじみ褐色	5Y8/7/3 にじみ褐色		W20		
	5 426 W22 SD210	土器類 高杯	103	35	線36	28	底12/12 底1-12	口	△	ミナキ	ミナキ	ミナキ	ミナキ	ミナキ			2.5Y8/3 淡黄色	2.5Y8/3 淡黄色		W21	
	6 426 W21 SD210	土器類 小壺	(85)	88	64		底5-12	△	△				ハケ+ナデ			1.0Y8/3 淡黄褐色	2.5Y8/4 淡赤褐色		W22		
	7 426 W22 SD210	土器類 高杯	167	(39)			117	口1-12	○		ハケ		ナデ			2.5Y8/3 淡黄色	1.0Y8/3 淡黄褐色		W24		
	8 426 W22 SD210	土器類 高杯	144	(41)			122	口1-12	○	○	摩滅	ハケ	摩滅			2.5Y8/4 淡黄褐色	2.5Y8/7/1 暗褐色		W26		
	9 426 W22 SD210	土器類 高杯	124	28	82		口3-12 底1-12	△	△	口口ナデ	口口ナデ	口口ナデ	口口ナデ	口口ナデ			2.5Y8/1 黄褐色	2.5Y8/1 黄褐色	高松産	F145	
	10 426 W22 SD210	土器類 高杯	(35)		76		底12/12	△	△	口口ナデ+ ナデ	口口ナデ+ ナデ	口口ナデ+ ナデ	口口ナデ+ ナデ	口口ナデ+ ナデ			2.5Y8/1 黄褐色	2.5Y8/1 黄褐色	高松産	F144	
	11 426 W22 SD210	土器類 高杯	158	(32)			口1-12				ミナキ		ミナキ				5Y8/1 淡赤	5Y8/1 淡赤		F150	
	12 426 W22 SD210	土器類 高杯	(34)		112		底3-12	口	○		ナデ		ナデ		底面糸切	N5/1 淡赤	N5/1 淡赤		F146		
	13 426 W21 SD210	土器類 高杯	(56)		63		底12/12	口	△		ナデ		ナデ		底面糸切	1.0Y8/4 淡黄褐色	1.0Y8/4 淡黄褐色		F130		
	14 426 W21 SD210	土器類 高杯	86	20	48		口2-12 底1-12	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	底面糸切	2.5Y7/3 淡黄色	2.5Y7/3 淡黄色		F138		
	15 426 W21 SD210	土器類 高杯	82	21	50		口4-12 底5-12	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ハケ切	2.5Y7/3 淡黄色	2.5Y6/2 淡黄色		F141		
	16 426 W22 SD210	土器類 高杯	(13)		60		底12/12	口	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	底面糸切	1.0Y8/7/4 にじみ黄褐色	1.0Y8/4 淡黄褐色		F131		
17 426 W22 SD210	土器類 高杯	85	21	60		口5-12 底5-12	口	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ		1.0Y8/4 淡黄褐色	1.0Y8/4 淡黄褐色		F139		
18 426 W22 SD210	土器類 高杯	85	22	45		口2-12 底5-12	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	底面糸切	2.5Y7/3 淡黄色	2.5Y7/3 淡黄色	外面黄褐色	F136			
19 426 W22 SD210	土器類 高杯	84	21	44		口7-12 底7-12	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	底面糸切	1.0Y8/7/4 にじみ黄褐色	2.5Y7/4 淡黄色		F135			
20 426 W22 SD210	土器類 高杯	98	18	52		口2-12 底7-12	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ		1.0Y8/2 淡赤	1.0Y8/2 淡赤		F142		
21 426 W22 SD210	土器類 高杯	88	23	38		口1-12 底10-12	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	底面糸切	1.0Y8/7/2 にじみ黄褐色	1.0Y8/7/4 にじみ黄褐色		F134			
22 426 W22 SD210	土器類 高杯	92	18	59		口1-12 底1-12	△	○	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ハケ切	2.5Y8/4 淡黄褐色	2.5Y8/4 淡黄褐色		F140			
23 426 W22 SD210	土器類 高杯	98	25	60		口1-12 底12-12	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	底面糸切	1.0Y8/7/3 にじみ黄褐色	1.0Y8/2 淡赤		F133			
24 426 W22 SD210	土器類 高杯	(26)		59		底12/12	△	△		ナデ		ナデ		底面糸切	1.0Y8/7/2 にじみ黄褐色	1.0Y8/7/2 にじみ黄褐色	内面に磨痕	F132			
25 426 W22 SD210	土器類 高杯	(24)		62		底11/12	△	○		ナデ		ナデ		底面糸切	1.0Y8/6/4 にじみ黄褐色	1.0Y8/6/4 にじみ黄褐色		F129			
26 426 W22 SD210	土器類 高杯	(27)		67		底9-12	△	△		ナデ		ミナキ		ナデ	2.5Y7/2 淡黄色	2.5Y3/1 黄褐色	内面黄褐色	F143			
27 426 W22 SD210	土器類 高杯	(15)		70		底3-12	△	○		ナデ		ミナキ		底面糸切	1.0Y8/3 淡黄褐色	1.0Y8/3 淡黄褐色	内面黄褐色	F137			
28 426 W22 SD210	土器類 白磁	(140)	(29)			口1-12									1.0Y8/1 淡赤	1.0Y8/1 淡赤	透明釉	F11			
29 426 W22 SD210	土器類 白磁	156	(36)			口1-12									5Y8/2 淡赤	5Y8/2 淡赤	透明釉	F149			
30 426 W22 SD210	土器類 白磁	(31)				口1-12 底7-12	口	○	○						2.5Y7/1 淡赤	2.5Y7/1 淡赤	透明釉	F148			
31 426 W22 SD210	土器類 白磁	313	(87)			口2-12	口			ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ		N5/1 淡赤	N5/1 淡赤		F147		
9	426 W25 大元	土器類 高杯	158	(54)			142	口3-12	○	△	ハケナデ	ハケ	ナデ	ナデ	ナデ		1.0Y8/6/4 淡黄褐色	1.0Y8/6/4 淡黄褐色		T271	
	33 426 W25 大元	土器類 高杯	168	(85)	146		口3-12	○ △ △	△	ナデ	ハケ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ		2.5Y7/3 淡黄色	2.5Y7/3 淡黄色		T272	
	34 426 W25 大元	土器類 高杯	150	(104)	186		口9-12	○ △ △	○	ナデ	ハケ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ		2.5Y8/3 にじみ黄褐色	2.5Y4/1 黄褐色	外面黄褐色 内面口縁	T149	
	35 426 W25 大元	土器類 高杯	158	(128)	210		口3-12	口	△	△	ナデ	ハケ	ハケ	ナデ	ナデ		2.5Y7/3 淡黄色	1.0Y8/6 淡黄褐色	外面線刻線 内面口縁	T154	
	36 426 W25 大元	土器類 高杯	192	(98)			口1-12 底1-12	口	○	○	ナデ	ハケ	ハケ	ハケ+ナデ			1.0Y8/6 淡黄褐色	1.0Y8/6 淡黄褐色	外面黄褐色	T273	
	37 426 W25 大元	土器類 高杯	156	(136)	222		口3-12	口	○	○	ナデ	ナデ	ナデ	ハケ+ナデ			2.5Y8/7/1 暗褐色	2.5Y7/2 淡黄色	外面線刻線	T148	
	38 426 W25 大元	土器類 高杯	204	(96)			口1-12 底1-12	口	△	△	ハケ+ナデ	ハケ	ナデ+ハケ	ナデ			2.5Y3/1 黄褐色	1.0Y8/6 淡黄褐色	外面線刻線 内面口縁	T146	
	39 426 W25 大元	土器類 高杯	286	(191)			口2-12	口	△	△	ナデ	ハケ	ナデ	ナデ	ナデ		1.0Y8/7 淡黄褐色	1.0Y8/7 淡黄褐色	外面線刻線 内面口縁	T272	
	40 426 W25 大元	土器類 高杯	104	141	130	31	92	口2-12	口	△	△	ナデ	ハケ	ナデ	ナデ+ナデ			1.0Y8/7/3 にじみ黄褐色	2.5Y7/2 淡黄色	外面線刻線 内面口縁	T147
	41 426 W25 大元	土器類 小壺	98	102	104	78	88	口7-12 底12/12	△ △ △	△	ナデ	ハケ+ミナキ ナデ	ナデ	ナデ	ナデ			1.0Y8/6 淡黄褐色	1.0Y8/7/3 にじみ黄褐色	外面黄褐色	F150
42 426 W25 大元	土器類 小壺	132	(126)	130		121	口1-12	△	△	△	ナデ	ハケナデ	ハケナデ	ハケナデ			2.5Y8/7/3 にじみ黄褐色	2.5Y8/7/3 にじみ黄褐色	外面線刻線 内面口縁	T150	
43 426 W25 大元	土器類 小壺	180	(81)			118	口3-12	口	○	線刻線	ナデ+ハケ	ナデ	ハケ+ナデ			2.5Y8/6/4 淡黄褐色	2.5Y8/6/4 淡黄褐色	外面口縁付線	T260		

第3表 土器・土製品観察表 (1)

図説	番号	通称	器種	寸法 (mm)				透き通る	胎土	図柄						色調		備考	調査番号
				口径	高さ	胴径	底径			口縁外面	胴部外面	口縁内面	胴部内面	底部内面	外面	内面			
10	44	4B-W25 大列鉢	土製高 脚	172	(64)			121	□10/12	○	△	△	△	△	7.5YR5/6 灰白色	7.5YR5/6 灰白色	内外面部分付着 内面 灰状文	F156	
	45	4B-W25 大列鉢	土製高 脚		(56)				□1/12	○	○	△	△	△	10YR6/2 灰白色	10YR6/2 灰白色	内外面部分付着 内面 灰状文	F157	
	46	4B-W25 大列鉢	土製高 脚	190	(35)				□1/12	○	△	△	△	△	10YR6/3 灰白色	2.5YR7/8 黄白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F158	
	47	4B-W25 大列鉢	土製高 脚		(95)	139	19		裏12/12	○	△	△	△	△	7.5YR7/2 灰白色	7.5YR7/2 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F159	
	48	4B-W25 大列鉢	土製高 脚		(40)	46	31	42	裏12/12	○	△	△	△	△	5Y7/2 灰白色	5Y7/2 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F160	
	49	4B-W25 大列鉢	土製高 脚		(46)	67	8	60	裏12/12	○	△	△	△	△	10YR6/4 灰白色	2.5YR7/4 黄白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F161	
	50	4B-W25 大列鉢	土製高 脚	48	50	56	38		□1/12	○	△	△	△	△	2.5YR6/4 灰白色	2.5YR6/4 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F171	
	51	4B-W25 大列鉢	土製高 脚	74	45		12		□1/12	○	△	△	△	△	10YR6/3 灰白色	10YR6/3 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F170	
	52	4B-W25 大列鉢	土製高 脚	92	77	84	23	70	□6/12	○	△	△	△	△	10YR6/4 灰白色	7.5YR6/4 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F154	
	53	4B-W25 大列鉢	土製高 脚	81	86	91	10	64	□4/12	○	△	△	△	△	2.5YR6/3 灰白色	2.5YR6/3 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F151	
11	54	4B-W25 大列鉢	土製高 脚	76	84	88	4	63	□2/12	○	△	△	△	△	2.5YR6/2 灰白色	2.5YR6/2 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F152	
	55	4B-W25 大列鉢	土製高 脚		(51)			187	裏12/12	○	△	△	△	△	10YR6/3 灰白色	10YR6/3 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F190	
	56	4B-W25 大列鉢	土製高 脚		(29)			83	裏11/12	△	△	△	△	△	10YR6/3 灰白色	10YR6/3 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F167	
	57	4B-W25 大列鉢	土製高 脚	178	(69)			37	□8/12	△	△	△	△	△	7.5YR7/2 灰白色	10YR6/4 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F168	
	58	4B-W25 大列鉢	土製高 脚	188	(126)			33	□4/12	△	△	△	△	△	10YR7/3 灰白色	10YR7/3 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F191	
	59	4B-W25 大列鉢	土製高 脚	184	(53)				□10/12	△	△	△	△	△	10YR6/4 灰白色	10YR6/4 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F192	
	60	4B-W25 大列鉢	土製高 脚	268	(94)				□1/12	○	△	△	△	△	7.5YR6/4 灰白色	5YR6/6 黄白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F193	
	61	4B-W25 大列鉢	土製高 脚		(78)			156	裏12/12	○	△	△	△	△	10YR6/3 灰白色	10YR6/3 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F194	
	62	4B-W25 大列鉢	土製高 脚		(61)			14	裏12/12	○	△	△	△	△	7.5YR7/2 灰白色	7.5YR7/2 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F195	
	63	4B-W25 大列鉢	土製高 脚	108	56		18		□6/12	△	△	△	△	△	2.5YR6/4 灰白色	10YR6/4 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F163	
12	64	4B-W25 大列鉢	土製高 脚	128	55		12		□8/12	△	△	△	△	△	10YR6/4 灰白色	10YR6/4 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F161	
	65	4B-W25 大列鉢	土製高 脚	143	51		19		□5/12	○	△	△	△	△	2.5YR6/3 灰白色	5YR7/4 黄白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F165	
	66	4B-W25 大列鉢	土製高 脚	130	52		76		□1/12	○	△	△	△	△	2.5YR6/4 灰白色	10YR6/4 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F166	
	67	4B-W25 大列鉢	土製高 脚	57	52	53			裏12/12	○	△	△	△	△	2.5Y7/3 灰白色	裏120.0g 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F193	
	68	4B-W25 大列鉢	土製高 脚	57	37	36			裏12/12	○	△	△	△	△	10YR6/6 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	内外面部分付着 外面 灰状文	F194	
	69	4B-W25 大列鉢	土製高 脚	41	29	31			裏12/12	○	△	△	△	△	2.5YR6/4 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	内外面部分付着 外面 灰状文	F199	
	70	4B-W25 大列鉢	土製高 脚	38	30	33			裏12/12	○	△	△	△	△	2.5Y7/3 灰白色	裏37.0g 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F200	
	71	4B-W25 大列鉢	土製高 脚	32	38	34			裏12/12	○	△	△	△	△	2.5YR6/4 灰白色	裏46.0g 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F201	
	72	4B-W25 大列鉢	土製高 脚	76	27	35			裏12/12	○	△	△	△	△	2.5Y7/4 灰白色	裏101.0g 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F197	
	73	4B-W25 大列鉢	土製高 脚	71	36	35			裏12/12	○	△	△	△	△	10YR7/3 灰白色	裏80.0g 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F196	
13	74	4B-W25 大列鉢	土製高 脚	54	41	38			裏12/12	○	△	△	△	△	10YR7/3 灰白色	裏62.0g 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F195	
	75	4B-W25 大列鉢	土製高 脚	78	23	22			裏12/12	○	△	△	△	△	10YR6/6 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	内外面部分付着 外面 灰状文	F198	
	76	4B-W25 大列鉢	土製高 脚	36	39	38			裏12/12	○	△	△	△	△	5YR6/2 灰白色	裏45.0g 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F202	
	77	4B-W25 大列鉢	土製高 脚	30	37	9			裏12/12	○	△	△	△	△	5Y7/2 灰白色	裏38.0g 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F203	
	78	4B-W25 大列鉢	土製高 脚		(76)	(82)	(39)		裏12/12	○	△	△	△	△	2.5YR6/3 灰白色	2.5YR6/3 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F198	
	79	4B-W24 大列鉢	土製高 脚	164	(86)			135	□12/12	○	△	△	△	△	7.5YR6/3 灰白色	7.5YR6/3 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F191	
	80	4B-W24 大列鉢	土製高 脚	138	(171)	188		122	□5/12	○	△	△	△	△	10YR6/4 灰白色	10YR6/4 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F190	
	81	4B-W24 大列鉢	土製高 脚	164	(116)			137	□6/12	○	△	△	△	△	7.5YR6/4 灰白色	10YR6/6 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F191	
	82	4B-W24 大列鉢	土製高 脚	118	125	134	30	98	□5/12	○	△	△	△	△	5YR6/6 灰白色	5YR7/6 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F194	
	83	4B-W24 大列鉢	土製高 脚	176	(78)			142	□3/12	△	△	△	△	△	2.5YR6/4 灰白色	2.5YR6/4 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F195	
14	84	4B-W24 大列鉢	土製高 脚	166	(222)	204		139	□2/12	○	△	△	△	△	10YR6/4 灰白色	10YR6/4 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F196	
	85	4B-W24 大列鉢	土製高 脚	128	180	156	32	102	□10/12	○	△	△	△	△	2.5Y7/3 灰白色	2.5Y7/3 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F203	
	86	4B-W24 大列鉢	土製高 脚	118	(219)	196		104	□1/12	○	△	△	△	△	2.5Y7/3 灰白色	10YR7/3 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F204	
	87	4B-W24 大列鉢	土製高 脚	174	(102)			140	□2/12	○	△	△	△	△	10YR6/3 灰白色	10YR6/3 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F197	
	88	4B-W24 大列鉢	土製高 脚						□1/12	○	△	△	△	△	2.5YR6/4 灰白色	2.5YR6/4 灰白色	内外面部分付着 外面 灰状文	F198	

第3表 土器・土製品観察表 (2)

図説	番号	通称	西称	口径長	通算長			居住用途	居住定住	建造年	軸土		屋根					色鉛		備考	基準年次	
					基礎厚	壁厚	柱径				砂	砂土	基礎外面	断熱外面	断熱内面	断熱内面	屋根外面	外面	内面			
12	88	4区 W24 大井路	土製土庫	148	(107)					134	03/12	○	△	ム	ハケーナ	ナ	ナ	ケズリ	2.5YR3 淡黄褐色	2.5YR3 淡黄褐色	外周壁塗り 内面床板張り	T139
	89	4区 W24 大井路	土製土庫	168	(117)					147	06/12	○	△	○	ナ	ナ	ナ	ケズリ	10YR8/4 淡黄褐色	10YR8/3 淡黄褐色	外周壁塗り 内面床板張り	T139
	90	4区 W24 大井路	土製土庫	166	(141)	222				140	03/12	○	△	△	ナ	ハケーナ	ナ	ナ	ケズリ	7.5YR7/6 淡黄褐色	7.5YR7/6 淡黄褐色	外周壁塗り 内面床板張り
13	91	4区 W24 大井路	土製土庫	258	(78)						01/12	○	△	△	縦廻り	ハケーナ	ナ	ナ	5YR5/2 淡黄褐色	10YR8/2 淡黄褐色		04/72
	92	4区 W24 大井路	土製土庫	122	(87)					112	04/12	○	△	△	ナ	ハケ	ナ	ハケーナ	10YR7/4 淡黄褐色	2.5YR7 淡黄褐色	外周壁塗り	T139
	93	4区 W24 大井路	土製土庫	130	(64)					88	03/12	○	△	△	ナ	ハケーナ	ナ	ナ	10YR6/3 淡黄褐色	10YR6/3 淡黄褐色	外周壁塗り	T139
	94	4区 W24 大井路	土製土庫	118	(78)					89	04/12	○	△	△	ナ	ハケーナ	ハケーナ	ナ	10YR8/3 淡黄褐色	10YR8/4 淡黄褐色	外周壁塗り 内面床板張り	T139
	95	4区 W24 大井路	土製土庫	108	(96)	144				72	04/12	△	△	△	ナ	ナ	ナ	ナ	2.5YR4 淡黄褐色	2.5YR7 淡黄褐色	内周壁塗り 内面床板張り	T147
	96	4区 W24 大井路	土製土庫		(107)	150	20	52		81	12/12	○	△	△	ナ	ナ	ナ	ナ	5YR7/3 淡黄褐色	7.5YR6/4 淡黄褐色	外周壁塗り 内面床板張り	T148
	97	4区 W24 大井路	土製土庫	158	(37)						01/12	○	△	△	ナ	ナ	ナ	ナ	2.5Y7/3 淡黄褐色	2.5Y7/3 淡黄褐色	外周壁塗り	T147
	98	4区 W24 大井路	土製土庫		(45)					156	04/12	○	△	△	ナ	ナ	ナ	ナ	7.5YR7/4 淡黄褐色	10YR8/2 淡黄褐色	外周壁塗り	04/72
	99	4区 W24 大井路	土製土庫		(50)					140	01/12	○	△	△	ナ	ナ	ナ	ナ	5YR7/2 淡黄褐色	5YR7/2 淡黄褐色	外周壁塗り	04/72
	100	4区 W24 大井路	土製土庫	210	(104)					146	01/12	△	△	△	△	△	△	△	7.5YR6/8 淡黄褐色	7.5YR6/8 淡黄褐色	外周壁塗り 内面床板張り	04/72
	101	4区 W24 大井路	土製土庫	46	(37)						01/12	△	△	△	ナ	ナ	ナ	ナ	2.5Y7/4 淡黄褐色	10YR8/1 淡黄褐色	外周壁塗り	T168
	102	4区 W24 大井路	土製土庫	62	(79)					49	06/12	△	△	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR7/1 淡黄褐色	10YR8/1 淡黄褐色	外周壁塗り 内面床板張り	04/72
	103	4区 W24 大井路	土製土庫	90	28					40	05/12	△	△	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR8/6 淡黄褐色	10YR8/6 淡黄褐色	外周壁塗り	T184
	104	4区 W24 大井路	土製土庫	80	(25)						07/12	△	△	△	△	△	△	△	10YR8/3 淡黄褐色	10YR8/4 淡黄褐色	外周壁塗り	T190
	105	4区 W24 大井路	土製土庫		(30)					81	39	06/12	○	△	△	△	△	△	7.5YR7/4 淡黄褐色	7.5YR7/4 淡黄褐色	外周壁塗り	T264
	106	4区 W24 大井路	土製土庫	150	(62)						01/12	○	△	△	△	△	△	△	10YR8/2 淡黄褐色	2.5YR7/2 淡黄褐色	外周壁塗り	T182
	107	4区 W24 大井路	土製土庫	147	(53)						01/12	△	△	△	△	△	△	△	2.5YR4 淡黄褐色	2.5Y7/3 淡黄褐色		T185
	108	4区 W24 大井路	土製土庫	152	150						01/12	△	△	△	△	△	△	△	2.5YR3 淡黄褐色	10YR8/2 淡黄褐色	外周壁塗り	T185
	109	4区 W24 大井路	土製土庫	170	(60)						05/12	○	△	△	△	△	△	△	2.5YR4 淡黄褐色	7.5YR4/2 淡黄褐色	外周壁塗り	T193
110	4区 W24 大井路	土製土庫	144	(53)						01/10	○	△	△	△	△	△	△	10YR7/6 明黄褐色	5YR7/6 明黄褐色		T183	
111	4区 W24 大井路	土製土庫	147	(52)						05/12	△	△	△	△	△	△	△	2.5YR4 淡黄褐色	2.5Y7/4 淡黄褐色	外周壁塗り	T177	
112	4区 W24 大井路	土製土庫	146	(54)						01/11/2	○	△	△	△	△	△	△	7.5YR7/4 淡黄褐色	10YR8/3 淡黄褐色	外周壁塗り 内面床板張り	T186	
113	4区 W24 大井路	土製土庫	205	(65)						03/12	○	△	△	△	△	△	△	10YR7/4 淡黄褐色	10YR7/3 淡黄褐色		T175	
114	4区 W24 大井路	土製土庫	161	(51)						09/12	○	△	△	△	△	△	△	10YR6/6 淡黄褐色	10YR5/8 淡黄褐色	内外周壁塗り	T178	
14	115	4区 W24 大井路	土製土庫	163	(59)						05/12	○	△	△	△	△	△	△	2.5Y7/3 淡黄褐色	2.5Y7/4 淡黄褐色	外周壁塗り	T184
	116	4区 W24 大井路	土製土庫	276	(54)						08/12	○	△	△	△	△	△	△	7.5YR8/3 淡黄褐色	7.5YR8/3 淡黄褐色	外周壁塗り	T176
	117	4区 W24 大井路	土製土庫		(110)					128	33	06/12	○	△	△	△	△	△	2.5YR4 淡黄褐色	10YR8/4 淡黄褐色	外周壁塗り	T274
	118	4区 W24 大井路	土製土庫		(45)					96	32	01/12	△	△	△	△	△	△	10YR6/6 明黄褐色	10YR7/4 淡黄褐色	内外周壁塗り	T260
	119	4区 W24 大井路	土製土庫		(50)					90	25	01/12	○	△	△	△	△	△	10YR8/3 淡黄褐色	10YR8/3 淡黄褐色	外周壁塗り	T281
	120	4区 W24 大井路	土製土庫		(56)					32	09/12	○	△	△	△	△	△	△	10YR7/3 淡黄褐色	10YR7/3 淡黄褐色	外周壁塗り	T282
	121	4区 W24 大井路	土製土庫		(72)					130	41	06/12	○	△	△	△	△	△	5YR5/6 明黄褐色	5YR5/6 明黄褐色	内外周壁塗り	T278
	122	4区 W24 大井路	土製土庫		(88)					124	44	01/12	○	△	△	△	△	△	10YR7/4 淡黄褐色	10YR8/8 淡黄褐色	内外周壁塗り	T277
	123	4区 W24 大井路	土製土庫		(99)					126	36	03/12	△	△	△	△	△	△	7.5YR6/4 淡黄褐色	7.5YR6/4 淡黄褐色	外周壁塗り 内面床板張り	T275
	124	4区 W24 大井路	土製土庫	116	(82)					38	02/12	○	△	△	△	△	△	△	5YR7/6 淡黄褐色	5YR7/7 淡黄褐色	外周壁塗り 内面床板張り	T276
	125	4区 W24 大井路	土製土庫		(51)					108	42	06/12	○	△	△	△	△	△	5YR4/2 淡黄褐色	5YR4/2 淡黄褐色	内外周壁塗り	T279
	126	4区 W24 大井路	土製土庫	82	(44)					36	03/12	○	△	△	△	△	△	△	10YR7/6 明黄褐色	5YR4/2 明黄褐色	外周壁塗り	04/72
	127	4区 W24 大井路	土製土庫	88	(65)					37	02/12	○	△	△	△	△	△	△	5YR6/6 淡黄褐色	5YR6/6 淡黄褐色	外周壁塗り	04/72
	128	4区 W24 大井路	土製土庫		(85)					40	01/12	△	△	△	△	△	△	△	7.5YR8/8 淡黄褐色	7.5YR8/8 淡黄褐色	外周壁塗り	04/72
	129	4区 W24 大井路	土製土庫		(100)					120	36	08/12	△	△	△	△	△	△	7.5YR8/8 淡黄褐色	7.5YR8/8 淡黄褐色	外周壁塗り	04/72
130	4区 W24 大井路	土製土庫		(75)					130	32	01/12	○	△	△	△	△	△	7.5YR7/6 淡黄褐色	7.5YR7/6 淡黄褐色	外周壁塗り	04/72	
131	4区 W24 大井路	土製土庫		(28)					118	01/12	△	△	△	△	△	△	△	2.5YR6/6 淡黄褐色	10YR6/6 淡黄褐色	内外周壁塗り	04/72	

第3表 土器・土製品觀察表 (3)

[illegible]

第3表 土器・土製品觀察表 (4)

図録	番号	通称	政務	測量(1)				居住用途	居住状況	建造年	軸土		屋根					色鉛		備考	写真番号		
				口径長	口径幅	高さ	厚さ				材種	形状	材種	形状	材種	形状	材種	形状	外面			内面	
20	220	45W23 大井跡	土製銃	180	(28)							口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	2.5YR7/4 淡黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	側面鉄付番 金ネジ1本 外面鉄線あり	9419	
	221	45W23 大井跡	土製銃	154	(24)							口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR7/6 黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	外面鉄付番 金ネジ1本 外面鉄線あり	F173	
	222	45W23 大井跡	土製銃	138	(28)							口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	10YR8/4 黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	F204	
	223	45W23 大井跡	土製銃	175	(51)						100	口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	2.5Y7/4 淡黄褐色	2.5YR2/2 淡黄褐色	外面鉄付番 金ネジ1本	1192	
	224	45W23 大井跡	土製銃	136	(77)							口徑11/12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR7/6 黄褐色	10YR7/6 黄褐色	外面鉄付番 内外両面鉄付番 金ネジ4本	9418	
	225	45W23 大井跡	土製銃	168	(62)							92	口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	外面鉄付番 金ネジ1本	9416
	226	45W23 大井跡	土製銃	194	(106)							114	口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR7/6 黄褐色	2.5YR2/2 淡黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9417
	227	45W23 大井跡	赤土製銃									縦割	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5Y7/4 淡黄褐色	側面鉄線あり	9421	
	228	45W23 大井跡	赤土製銃									94	縦割	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	10YR9/8 黄褐色	側面鉄線あり	9422
	229	45W23 大井跡	土製銃	162	(133)							123	口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	10YR9/8 黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9412
	230	45W23 大井跡	土製銃									100	口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	10YR9/8 黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9413
	231	45W23 大井跡	土製銃									100	口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	10YR9/8 黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9414
	232	45W23 大井跡	土製銃									100	口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	10YR9/8 黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9415
	233	45W23 大井跡	土製銃									100	口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	10YR9/8 黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9416
	234	45W23 大井跡	土製銃									100	口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	10YR9/8 黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9417
	235	45W23 大井跡	土製銃									100	口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	10YR9/8 黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9418
	236	45W23 大井跡	土製銃									100	口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	10YR9/8 黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9419
	237	45W23 大井跡	土製銃	86	153	150	10	72	変形	△	○	ハナナナ	ハナナナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5YR9/8 黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9420	
	238	45W23 大井跡	土製銃									78	口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	10YR9/8 黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9421
239	45W23 大井跡	土製銃									100	口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	10YR9/8 黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9422	
21	240	45W23 大井跡	土製銃	120	(35)							口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9423	
	241	45W23 大井跡	土製銃									口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9424	
	242	45W23 大井跡	土製銃									口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9425	
	243	45W23 大井跡	土製銃									口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9426	
	244	45W23 大井跡	土製銃									口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9427	
	245	45W23 大井跡	土製銃									口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9428	
	246	45W23 大井跡	土製銃									口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9429	
	247	45W23 大井跡	土製銃									口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9430	
	248	45W23 大井跡	土製銃									口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9431	
	249	45W23 大井跡	土製銃									口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9432	
	250	45W23 大井跡	土製銃									口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9433	
	251	45W23 大井跡	土製銃									口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9434	
	252	45W23 大井跡	土製銃									口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9435	
	253	45W23 大井跡	土製銃									口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9436	
	254	45W23 大井跡	土製銃									口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9437	
	255	45W23 大井跡	土製銃									口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9438	
	256	45W23 大井跡	土製銃									口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9439	
	257	45W23 大井跡	土製銃									口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9440	
	258	45W23 大井跡	土製銃									口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9441	
259	45W23 大井跡	土製銃									口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9442		
260	45W23 大井跡	土製銃									口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9443		
261	45W23 大井跡	土製銃									口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9444		
262	45W23 大井跡	土製銃									口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9445		
263	45W23 大井跡	土製銃									口徑12	○	△	ナ	ナ	ナ	ナ	10YR9/8 黄褐色	2.5YR7/4 淡黄褐色	外面鉄付番 スラッグ2本	9446		

第3表 土器・土製品觀察表 (6)

図説	番号	透視	西観	寸法 (mm)				断面	断面				色調		備考	基準			
				口径	高さ	底径	底径		口径外面	口径内面	断面外面	断面内面	外面	内面					
22	264	4R2 W23 大径	土製器 小器	80	84	87	23	66	□11/12 底12/12	○	○	ハケナナ	ハケナナ	ナナ	ハケナナ	2.5Y7/3 淡黄褐色	10YR7/3 淡黄褐色	W23土器タテ 底面分付書 内外面図表あり	T265
	265	4R2 W23 大径	土製器 小器	87	80	81	30	65	□11/12 底12/12	○	○	ハケナナ	ナナナナ	ハケナナ	ナナ	2.5Y7/6 淡黄褐色	2.5Y6/6 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	T261
	266	4R2 W23 大径	土製器 小器	82	97	90	11	53	底形	△	△	ナナ	ナナ	ハケナナ	ハケナナ	2.5Y7/4 淡黄褐色	2.5Y7/2 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 W23土器タテ 底面分付書 内外面図表あり	T248
	267	4R2 W23 大径	土製器 小器	72	91	93	12	54	□7/12 底12/12	○	○	ハケナナ	ハケナナ	ナナ	ナナ	2.5Y8/4 淡黄褐色	2.5Y7/2 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	T262
	268	4R2 W23 大径	土製器 小器	100	89	90	10	69	□6/12 底12/12	○	○	ナナナナ	ハケナナナナ	ハケ	ケズリナナ	2.5Y8/3 淡黄褐色	10YR8/3 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	T245
	269	4R2 W23 大径	土製器 小器	83	101	94	16	57	□6/12 底12/12	△	△	ハケナナ	ハケナナ	ハケナナ	ナナ	10YR5/1 淡黄褐色	10YR6/2 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	T246
	270	4R2 W23 大径	土製器 小器	81	91	94	11	59	底形	○	△	ナナ	ナナ	ナナ	ハケナナ	2.5Y8/3 淡黄褐色	2.5Y8/3 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	T249
	271	4R2 W23 大径	土製器 小器	77	65	69	20	54	底形	○	○	ズナ	ハケナナナ	ナナ	ナナ	7.5YR8/4 淡黄褐色	10YR7/2 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	T253
	272	4R2 W23 大径	土製器 小器	58	69	71	10	51	□10/12 底12/12	○	△	ズナ	ズナナナ	ナナ	ナナ	10YR7/8 淡黄褐色	5Y7/2 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	T257
	273	4R2 W23 大径	土製器 小器	(40)	74	30	62	底12/12	△	△		ナナハナ	ハケナナ	ハケ	10YR6/5 淡黄褐色	10YR5/1 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	T236	
	274	4R2 W23 大径	土製器 小器	94	68	67	18	62	□6/12 底12/12	○	○	ナナ	ナナ	ハケナナ	ナナ	10YR8/4 淡黄褐色	10YR8/4 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	T247
	275	4R2 W23 大径	土製器 小器	70	79	94	19	68	□7/12 底12/12	○	○	ハケナナ	ハケナナ	ナナ	ナナ	10YR8/3 淡黄褐色	10YR5/1 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	T250
	276	4R2 W23 大径	土製器 高小	138	(60)				□10/12	○	○	ハケナナ	ナナ			10YR7/4 淡黄褐色	10YR8/4 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F101
	277	4R2 W23 大径	土製器 高小	166	(63)				□8/12	△	△	ナナナナ	ハケナナナ			10YR4/1 淡黄褐色	10YR6/3 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F99
	278	4R2 W23 大径	土製器 高小	154	(62)				□11/12	△	△	ナナナナ	ナナ			10YR6/5 淡黄褐色	10YR7/3 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F91
	279	4R2 W23 大径	土製器 高小	179	(76)				□12/12	△	△	ケズリナナ	ズナ			2.5Y7/4 淡黄褐色	2.5Y7/4 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F95
	280	4R2 W23 大径	土製器 高小	(84)					底12/12	△	△		ナナハナ	ケズリハナ	ナナ	10YR6/8 淡黄褐色	10YR6/8 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F229
	281	4R2 W23 大径	土製器 高小	(75)					底12/12	△	△	ズナ	ナナ	ケズリハナ		7.5YR7/8 淡黄褐色	7.5YR7/8 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F248
	282	4R2 W23 大径	土製器 高小	(75)					底10/12	○	△	ズナ ハケナナ	ハケナナ	ナナ		10YR7/4 淡黄褐色	10YR7/4 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F249
	283	4R2 W23 大径	土製器 高小	(89)					底12/12	△	△	ズナ	ナナナナ	ズナ	ハケナナ	2.5Y8/4 淡黄褐色	5Y4/1 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F210
	284	4R2 W23 大径	土製器 高小	(97)					底12/12	△	△	ズナ	ズナ	ズナ		10YR7/8 淡黄褐色	7.5YR6/6 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	T135
	285	4R2 W23 大径	土製器 高小	(84)					底12/12	△	△	ズナナナ	ズナナナ			10YR7/8 淡黄褐色	10YR7/8 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F218
23	286	4R2 W23 大径	土製器 高小	155	(62)				□12/12	○	○	ハケナナ	ハケナナ			10YR7/8 淡黄褐色	10YR7/8 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F225
	287	4R2 W23 大径	土製器 高小	246	(48)				□12/12	△	△	ズナ	ズナ			7.5Y3/4 淡黄褐色	7.5Y4/6 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	T200
	288	4R2 W23 大径	土製器 高小	153	(63)				□10/12	○	○	ナナナナ	ズナ			7.5YR7/8 淡黄褐色	7.5YR7/8 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F93
	289	4R2 W23 大径	土製器 高小	228	(62)				□12/12	○	○	ハケナナ	ズナ			7.5YR7/8 淡黄褐色	10YR4/1 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F238
	290	4R2 W23 大径	土製器 高小	171	(73)				□12/12	△	△	ズナ	ハケナナ			10YR7/8 淡黄褐色	10YR7/4 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F97
	291	4R2 W23 大径	土製器 高小	170	(67)				□12/12	△	△	ズナ	ズナ			2.5YR7/6 淡黄褐色	2.5YR6/6 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F96
	292	4R2 W23 大径	土製器 高小	160	(57)				□6/12	△	△	ハケナナ	ナナ			10YR6/6 淡黄褐色	10YR7/3 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F100
	293	4R2 W23 大径	土製器 高小	145	(55)				□10/12	△	△	ナナナナ	ハケナナ			2.5Y7/8 淡黄褐色	10YR6/3 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F92
	294	4R2 W23 大径	土製器 高小	(52)					底12/12	△	△	ズナ	ハケ			2.5Y7/8 淡黄褐色	2.5YR4/8 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	T195
	295	4R2 W23 大径	土製器 高小	(94)					底12/12			ズナ	ズナ	ズナ		5YR7/8 淡黄褐色	5YR7/8 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F247
	296	4R2 W23 大径	土製器 高小	(95)					底12/12	○	△	ハケナナ	ズナ			10YR7/8 淡黄褐色	10YR6/3 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F246
	297	4R2 W23 大径	土製器 高小	(75)					底12/12	△	△	ズナ	ハケナナ			10YR6/6 淡黄褐色	10YR8/3 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F226
	298	4R2 W23 大径	土製器 高小	162	(104)				□11/12	△	△	ナナ	ナナ	ズナ	ハケナナ	7.5YR8/4 淡黄褐色	7.5YR8/4 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F80
	299	4R2 W23 大径	土製器 高小	(132)					底12/12	△	△	ハケナナ	ハケナナ			10YR6/2 淡黄褐色	10YR6/2 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F220
	300	4R2 W23 大径	土製器 高小	(65)					底12/12	△	△	ズナ	ズナ	ズナ		5YR6/4 淡黄褐色	5YR7/6 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F219
	301	4R2 W23 大径	土製器 高小	134	(83)				□7/12	○	○	ナナ	ハケナナ	ナナ		10YR7/4 淡黄褐色	10YR7/4 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F94
	302	4R2 W23 大径	土製器 高小	137	118				□10/12 底12/12	○	○	ハケナナ	ハケナナ	ズナ		10YR7/8 淡黄褐色	10YR7/4 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F162
	303	4R2 W23 大径	土製器 高小	88	(63)				底12/12	○	△	ズナ	ハケナナ	ズナ	ケズリハナ	7.5YR7/8 淡黄褐色	10YR7/3 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F218
	304	4R2 W23 大径	土製器 高小	(63)					底12/12	○	△	ハケナナ	ナナ			2.5Y7/3 淡黄褐色	10YR6/3 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F168
	305	4R2 W23 大径	土製器 高小	(78)					底10/12	△	△	ハケナナ	ズナ			10YR4/4 淡黄褐色	10YR4/4 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F217
	306	4R2 W23 大径	土製器 高小	(89)					底12/12	△	△	ハケナナ	ズナ			2.5Y7/3 淡黄褐色	2.5Y7/3 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F245
24	307	4R2 W23 大径	土製器 高小	(81)					底12/12	○	△	ズナ	ナナ			10YR7/8 淡黄褐色	10YR7/8 淡黄褐色	内外面分付書 底面分付書 内外面図表あり	F167

第3表 土器・土製品観察表 (7)

国産	番号	通機	器機	通風 (mm)				通風係数	騒音	塵土	風量								備考	基準番号			
				口径	長さ	面積	容積				砂	塵	塵	口部外面	側部外面	口部内面	側部内面	底部内面			外面	内面	
26	352	4区 X20 大河津	土製器機	89	150	150	50	66	150	△	△	△	△	ハケ→ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	2.5Y7.3 深褐色	7.5Y7.6 深褐色	表面腐蝕	SH40	
	353	4区 X20 大河津	土製器機	(52)				100	100/12	△	△	△	△	ハケ	ハケ	ハケ	ハケ	ハケ	10Y9B.8 深褐色	5Y5-2 反白→フエ	腐蝕・結露・文 化劣化	PI72	
	354	4区 X20 大河津	土製器機	56	(21)			29	112/12	△	△	△	△	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	10Y9B.8 深褐色	2.5Y7.3 深褐色	腐蝕・結露・文 化劣化	IE201	
	355	4区 X20 大河津	土製器機	(40)				36	121/12	△	△	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y7.3 深褐色	2.5Y7.3 深褐色	腐蝕・結露・文 化劣化	IE200	
	356	4区 X20 大河津	土製器機	(23)				42	121/12	△	△	△	△	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	10Y9B.8 深褐色	2.5Y6.4 深褐色	腐蝕・結露・文 化劣化	IE202	
	357	4区 Y22 大河津	土製器機	136	35				12/12	△	△	△	△	口部ナデ	側部ナデ	口部ナデ	側部ナデ	側部ナデ	10Y4.1 灰色	5Y4.1 灰色	表面腐蝕	SH128	
	358	4区 Y22 大河津	土製器機	120	49			36	D6/12	△	△	△	△	口部ナデ	側部ナデ	口部ナデ	側部ナデ	側部ナデ	7.5Y8.4 深褐色	7.5Y8.3/2 深褐色	表面腐蝕	SH125	
	359	4区 X20 大河津	土製器機	178	132	57			D6/12 底7/12	△	△	△	△	ナデ	ハケ	ナデ	ハケ→ナデ	ハケ	10Y9B.8 深褐色	10Y9B.8 深褐色	内外腐蝕・付着 物付着	PI159	
	360	4区 Y22 大河津	土製器機	148	213	204	20	132	11/12 底2/12	△	△	△	△	ナデ	ハケ	ハケ	ナデ	ナデ	7.5Y8.6 深褐色	10Y9B.8 深褐色	表面腐蝕・付着 物付着	SH134	
	361	4区 Y22 大河津	土製器機	2/12	(97)				12/12	△	△	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	5Y4.1 灰色	7.5Y8.5-1 深褐色	表面腐蝕・付着 物付着	T204	
27	362	4区 北半 大河津	土製器機	166	(24)				11/12	△	△	△	△	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	2.5Y8.6 深褐色	2.5Y8.6 深褐色	内外腐蝕・付着 物付着	SH137	
	363	4区 北半 大河津	土製器機	176	(37)				11/12	△	△	△	△	ハケ→ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y8.4 深褐色	7.5Y8.4 深褐色	表面腐蝕・付着 物付着	T201	
	364	4区 北半 大河津	土製器機	(63)				140	11/12	△	△	△	△	ハケ	ハケ	ハケ	ハケ	ハケ	5Y8.4 深褐色	2.5Y7.2 深褐色	表面腐蝕・付着 物付着	T209	
	365	4区 北半 大河津	土製器機	(82)	(55)				11/12	△	△	△	△	ハケ	ハケ	ハケ	ハケ	ハケ	2.5Y6.4 深褐色	2.5Y6.3 深褐色	表面腐蝕・付着 物付着	T205	
	366	4区 北半 大河津	土製器機	200	(28)				12/12	△	△	△	△	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	10Y9B.8 深褐色	7.5Y8.8 深褐色	口部腐蝕・付着 物付着	T200	
	367	4区 北半 大河津	土製器機	(35)				91	11/12	△	△	△	△	ハケ→ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	7.5Y8.6 深褐色	7.5Y8.6 深褐色	表面腐蝕・付着 物付着	T203	
	368	4区 北半 大河津	土製器機	296	(24)				11/12	△	△	△	△	ハケ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	7.5Y8.8 深褐色	7.5Y8.8 深褐色	表面腐蝕・付着 物付着	T202	
	369	4区 北半 大河津	土製器機	79	75	75	46	55	D9/12 底12/12	△	△	△	△	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	10Y9B.8 深褐色	10Y9B.3 深褐色	表面腐蝕・付着 物付着	SH135	
	370	4区 北半 大河津	土製器機	78	70	71	22	60	150	△	△	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y8.4 深褐色	2.5Y8.1 深褐色	表面腐蝕・付着 物付着	SH133	
	371	4区 北半 大河津	土製器機	104	(64)	106		94	12/12	△	△	△	△	ナデ	ナデ→ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	10Y9B.1 深褐色	7.5Y8.7 深褐色	表面腐蝕・付着 物付着	SH136	
28	372	4区 北半 大河津	土製器機	57	76	116	40		D6/12 底12/12	△	△	△	△	ナデ	ミガキ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y7.3 深褐色	2.5Y7.2 深褐色	表面腐蝕・付着 物付着	SH135	
	373	4区 北半 大河津	土製器機	74	35	134	25		12/12 底7/12	△	△	△	△	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	2.5Y7.3 深褐色	2.5Y6.2 深褐色	表面腐蝕・付着 物付着	SH134	
	374	4区 北半 大河津	土製器機	(57)				132	12/12	△	△	△	△	ハケ→ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	5Y8.4 深褐色	10Y9B.4 深褐色	表面腐蝕・付着 物付着	T208	
	375	4区 北半 大河津	土製器機	支脚	(71)	(37)	(36)			△	△	△	△						2.5Y7.4 深褐色		支脚	T206	
	376	4区 北半 大河津	土製器機	144	107			123	44	12/12 底12/12	△	△	△	△	ナデ→ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	10Y9B.8 深褐色	5Y8.4 深褐色	内外腐蝕・付着 物付着	SH138
	377	4区 北半 大河津	土製器機	(70)				123	33	11/12	△	△	△	△	ハケ→ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	7.5Y8.7 深褐色	7.5Y8.7 深褐色	表面腐蝕・付着 物付着	T207	
	378	4区 中半 大河津	土製器機	162	(88)			131	12/12	△	△	△	△	ナデ	ハケ	ナデ	ナデ	ナデ	10Y9B.4 深褐色	10Y9B.4 深褐色	表面腐蝕・付着 物付着	E201	
	379	4区 中半 大河津	土製器機	164	(83)			128	12/12 底3/12	△	△	△	△	ナデ	ハケ	ハケ→ナデ	ナデ	ナデ	10Y9B.1 深褐色	10Y9B.4 深褐色	表面腐蝕・付着 物付着	E200	
	380	4区 中半 大河津	土製器機	(69)					11/12	△	△	△	△						5Y3.2 ポリ→フエ	5Y4.2 反白→フエ	表面腐蝕・付着 物付着	IE140	
	381	4区 中半 大河津	土製器機	(54)					11/12	△	△	△	△						10Y9B.4 深褐色	10Y9B.4 深褐色	表面腐蝕・付着 物付着	IE150	
29	382	4区 中半 大河津	土製器機	148	(62)			126	12/12	△	△	△	△	ハケ	ハケ	ハケ	ハケ	ハケ	10Y9B.3 深褐色	10Y9B.2 深褐色	表面腐蝕・付着 物付着	IE158	
	383	4区 中半 大河津	土製器機	(86)	130	18			12/12	△	△	△	△	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	10Y9B.8 深褐色	2.5Y6.2 深褐色	表面腐蝕・付着 物付着	IE151	
	384	4区 中半 大河津	土製器機	82	97	94	10	56	12/12 底12/12	△	△	△	△	ナデ	ハケ→ナデ	ハケ	ナデ	ナデ	2.5Y7.3 深褐色	2.5Y7.1 深褐色	表面腐蝕・付着 物付着	IE156	
	385	4区 中半 大河津	土製器機	(35)	61	12	48	12/12	△	△	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y7.4 深褐色	2.5Y7.4 深褐色	内外腐蝕・付着 物付着	IE154	
	386	4区 中半 大河津	土製器機	(46)	72	11	57		12/12	△	△	△	△	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	2.5Y8.4 深褐色	10Y9B.8 深褐色	表面腐蝕・付着 物付着	IE155	
	387	4区 中半 大河津	土製器機	108	79	109	10	106	11/12 底12/12	△	△	△	△	ナデ	ハケ	ナデ	ハケ	ハケ	10Y9B.8 深褐色	10Y9B.4 深褐色	表面腐蝕・付着 物付着	IE152	
	388	4区 中半 大河津	土製器機	(156)				260	11/12	△	△	△	△	ハケ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y7.3 深褐色	2.5Y7.1 深褐色	内外腐蝕・付着 物付着	IE157	
	389	4区 中半 大河津	土製器機	(34)				32	11/12	△	△	△	△	ハケ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y7.3 深褐色	2.5Y7.3 深褐色	表面腐蝕・付着 物付着	IE153	
	390	4区 中半 大河津	土製器機	174	(62)				12/12	△	△	△	△	ハケ→ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y7.3 深褐色	2.5Y7.2 深褐色	表面腐蝕・付着 物付着	IE151	
	391	4区 中半 大河津	土製器機	(102)	110	36		110	12/12	△	△	△	△	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	10Y9B.4 深褐色	5Y8.1 灰色	表面腐蝕・付着 物付着	IE158	
30	392	4区 中半 大河津	土製器機	(87)				136	36	11/12	△	△	△	ナデ	ハケ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y8.4 深褐色	10Y9B.4 深褐色	表面腐蝕・付着 物付着	IE160	
	393	4区 中半 大河津	土製器機	(48)					11/12	△	△	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	10Y9B.8 深褐色	10Y9B.8 深褐色	内外腐蝕・付着 物付着	SH170	
	394	4区 中半 大河津	土製器機	(14)				58	11/12	△	△	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	7.5Y8.1 深褐色	7.5Y7.1 深褐色	表面腐蝕・付着 物付着	SH171	
	395	4区 中半 大河津	土製器機	158	(37)				11/12	△	△	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y7.3 深褐色	2.5Y7.3 深褐色	内外腐蝕・付着 物付着	SH166	

第3表 土器・土製品観察表 (9)

[illegible]

※法量欄の（）は現存値を示している。

※胎土欄の「骨」は海綿骨針、「赤」は赤色粒を示す。

○・○・△は、確認できた量を相対的に示したものであり、確認されなかったものは空欄となっている。

第3表 土器・土製品觀察表 (10)

第4表 石製品・金属製品・骨製表

国産	番号	品名	品別	寸法(mm)			通存度	色別	備考	実測番号
				長	幅	厚				
29	400	4区 W24 大石群	打製石片	(133)	66	19	基礎文様	2.5Y5/3 緑褐色	緑褐色 重105.0g	H27
	401	4区 W24 大石群	石面丁	(126)	79	9	はら削製	10GY4/1 灰白色	緑褐色 重105.0g	E232
	402	4区 W24 大石群	磨製石片	(75)	52	24	刀版文様	2.5Y5/2 黄褐色	緑褐色 重185.0g	E123
	403	4区 W25 大石群	磨製石片	83	41	17	実形	10YR5/7 黄褐色	緑褐色 重95.7g	S418
	404	4区 W24 大石群	砥石	72	52	42	実形	5Y6/3 黄褐色	砂面 重230.0g オナ-2黄褐色	E235
	405	4区 W24 大石群	砥石	71	25	15	実形	2.5Y5/4 黄褐色	赤褐色 重33.7g 砥石面	E240
	406	4区 W24 大石群	磨片	22	22	10		10GY4/1 緑褐色	赤褐色 重4.4g 砥石面 磨片面	G1
	407	4区 W24 大石群	磨片	44	26	13		10Y5/2 黄褐色	赤褐色 重13.7g 砥石面 磨片面	C2
	408	4区 W24 大石群	打製石片	(144)	69	24	刀版文様	7.5Y2/1 灰白色	緑褐色 重430.0g	E241
	409	4区 W24 大石群	打製石片	(179)	110	31	基礎文様	2.5Y5/2 灰白色	緑褐色 重840.0g	E242
	410	4区 W24 大石群	打製石片	(197)	102	39	刀版文様	5Y6/4 オナ-2黄褐色	緑褐色 重922.0g	E243
	411	4区 W23 大石群	磨製石片	(118)	53	32	刀版文様	5YR5/4 灰白色	赤褐色 重4.4g 砥石面 磨片面	T304
	412	4区 W23 大石群	磨片	30	42	9		N8/ 灰白色	石葉 重11.3g	T300
	413	4区 W23 大石群	磨片	42	52	9		10GY4/1 緑褐色	赤褐色 重16.4g	T299
	414	4区 W23 大石群	石核	67	78	25		5GY6/1 黄褐色	赤褐色 重115.0g	T298
	415	4区 W23 大石群	石核	114	72	30		7.5Y2/1 黄褐色	緑褐色 重200.0g	T305
	416	4区 W23 大石群	砥石	(94)	69	17	砥石	7.5Y5/1 灰白色	磨片面に打製石片 緑褐色 重190.0g	T301
	417	4区 W23 大石群	磨製石片	(160)	83	54	1/2	5YR5/4 黄褐色	全体に磨片面 緑褐色 重170.0g	T302
	418	4区 W23 大石群	砥石	(69)	(93)	42	砥石	5YR5/4 黄褐色	内外面磨片面 灰白色 重330.0g	T303
	419	4区 W23 大石群	打製石片	164	80	30	実形	2.5Y5/6 黄褐色	内外面磨片面 灰白色 重440.0g	T306
30	420	4区 W-32 大石群	打製石片	(97)	60	27	基礎文様	2.5Y5/3 黄褐色	赤褐色 重255.0g 内外面磨片面	F207
	421	4区 W-32 大石群	石核	126	71	52	実形	2.5Y5/2 黄褐色	緑褐色 重115.0g	S413
	422	4区 W24 大石群	伊石	(324)	192	168	砥石	10YR5/2 黄褐色	山面 重17.0g 砥石面 磨片面	F187
	423	4区 W-32 大石群	磨片	87	53	21		10YR5/2 黄褐色	赤褐色 重30.0g 内外面磨片面	F206
	424	4区 W21 大石群	砥石	139	72	55	実形	7.5YR/6 黄褐色	砥石面 重550.0g	947
	425	4区 W-32 大石群	砥石	(76)	47	25	欠損	10YR4/6 黄褐色	赤褐色 重122.0g 内外面磨片面	E234
	426	4区 W-32 大石群	砥石	(56)	35	6	欠損	2.5Y7/6 黄褐色	赤褐色 重40.1g 中央部磨片面	E231
	427	4区 W-32 大石群	砥石	108	36	39	実形	10YR7/3 黄褐色	赤褐色 重215.0g 内外面磨片面	E222
	428	4区 W-32 大石群	石核	104	71	52		10YR7/6 黄褐色	伊石 重43.1g 内外面磨片面	E223
	429	4区 W-32 大石群	砥石	(94)	(92)	33	欠損	7.5YR4/4 黄褐色	赤褐色 重442.0g 内外面磨片面	E228
	430	4区 W-32 大石群	石核	(46)	25	5	欠損	10GY3/1 緑褐色	緑褐色 重4.4g	E225
	431	4区 W23 大石群	碧玉	26	6	6	実形	2.5GY7/1 黄褐色	赤褐色 重80.8g 表面磨片面	Y25
	432	4区 W25 大石群	碧玉	17	5	5	実形	7.5Y5/3 オナ-2黄褐色	赤褐色 重61.0g 表面磨片面	G20
	433	4区 W-32 大石群	碧玉	13	8	4	実形	N8/ 灰白色	赤褐色 重3.34g 表面磨片面	G21
	434	4区 W24 大石群	丁字型 定形勾玉	(43)	(23)	(13)	砥石	10GY4/1 緑褐色	赤褐色 重52g 表面磨片面	A53
	435	4区 W24 大石群	勾玉	42	24	12	実形	10GY2/1 黄褐色	赤褐色 重16.48g 表面磨片面	Y24
	436	4区 W23 大石群	勾玉	34	22	14	実形	7.5R1/1 赤褐色	赤褐色 重15.09g 表面磨片面	N17
	437	4区 W21 大石群	勾玉	28	17	7	実形	10GY3/1 黄褐色	赤褐色 重3.96g 表面磨片面	A48
	438	4区 W22 S2020	鉄製品 刀子	(198)	24	4.5		7.5YR3/2 黄褐色	刃長7.65mm 重49.4g	T414
	439	4区 W22 S2020	鉄製品 刀子	282	25	5.5		7.5YR4/4 黄褐色	刃長7.07mm 重107.4g 柄孔径3.5mm	T416
	440	4区 W22 S2020	鉄製品 不明	(97)	(43)	6		7.5YR4/3 黄褐色	刃部磨片面 鉄製品	T412
	441	4区 W23 大石群	鉄製品 鏝	(104)	17	5		7.5YR3/2 黄褐色	刃部磨片面 重7.1g	T411

※ 括弧の () は 現存値を示している。

第4表 石製品・金属製品・骨製表

第5表 木製品觀察表

品別	番号	通称	品種	寸法(mm)			通存度	備考	実測番号	品別	番号	通称	品種	寸法(mm)			通存度	備考	実測番号
				直径	厚さ	長さ								直径	厚さ	長さ			
31	449	4段 W23 大円筒	木製品	930	35	23	実形	針葉樹 芯材材 中央部直径31.0mm	M15	33	493	4段 W24 大円筒	木製品 樹皮	298	(72)	7	断片	針葉樹 椀目 半径R149.0mm	F11
	450	4段 W23 大円筒	木製品 樹皮	112	97	80	実形		S17		494	4段 W24 大円筒	木製品 P-2芯材 平断?	(263)	126	10	断片	針葉樹 椀目 半径R149.0mm	E17
	451	4段 W22 SD210	木製品	(257)	14	12	欠損	針葉樹 辺材	S34		495	4段 W24 大円筒	木製品 P-2芯材 平断?	(91)	112	10	断片	針葉樹 椀目 半径R149.0mm	E18
	452	4段 W22 SD210	木製品	(274)	19	14	欠損	針葉樹 辺材 丸端部材	S28		496	4段 W24 大円筒	木製品	243	62	7	実形	針葉樹 椀目	E20
	453	4段 W22 SD210	木製品	(275)	42	7	欠損	針葉樹 椀目	S33		497	4段 W24 大円筒	不明 木製品	156	58	6	実形	針葉樹 椀目 半径R149.0mm	N17
	454	4段 W22 SD210	木製品	136	28	9	実形	針葉樹 椀目 構造部材	S31		498	4段 W24 大円筒	木製品	(334)	24	17	断片	針葉樹 辺材 (R149)	T38
	455	4段 W22 SD210	木製品	(131)	25	7	欠損	針葉樹 椀目 構造部材	S32		499	4段 W24 大円筒	不明 木製品	43	37	28	実形?	針葉樹 上層部	S11
	456	4段 W21 SD210	木製品	151	41	8	実形	針葉樹 椀目 構造部材	S25		500	4段 W24 大円筒	木製品	(66)	21	4	断片	椀目	F14
	457	4段 W22 SD210	木製品 樹皮?	159	43	(20)	1/2	広葉樹 芯材材 中央部安全加工	S36		501	4段 W24 大円筒	木製品	896	45	43	実形	針葉樹 芯材材 丸端加工	M13
	458	4段 W21 SD210	不明 木製品	(181)	44	15	断片	針葉樹 椀目 穿孔1 径12.0×11.0mm	E10		502	4段 W24 大円筒	木製品	(180)	70	70	断片	針葉樹 芯材材	S10
32	459	4段 W21 SD210	木製品	(220)	53	4	欠損	針葉樹 椀目	S24	503	4段 W24 大円筒	木製品	(214)	40	40	欠損	広葉樹 芯材材	S5	
	460	4段 W21 SD210	木製品	(138)	79	5	欠損	針葉樹 椀目 中央部安全加工	S23	504	4段 W24 大円筒	木製品	(196)	38	35	断片	針葉樹 芯材材 上層部	F10	
	461	4段 W22 SD210	木製品 内和部	261	(164)	5	2/3	針葉樹 椀目 紐留部安全加工	S27	505	4段 W24 大円筒	木製品	193	44	27	実形	針葉樹 辺材 上層部	F12	
	462	4段 W22 SD210	木製品 内和部	320	(145)	5	1/2	針葉樹 椀目 紐留部安全加工	S26	506	4段 W23 大円筒	木製品	(226)	18	9	断片	針葉樹 椀目	T23	
	463	4段 W22 SD210	木製品 貫通?	(161)	16	3	欠損	針葉樹 椀目	S29	507	4段 W23 大円筒	木製品	(237)	26	16	断片	針葉樹 椀目	E24	
	464	4段 W22 SD210	不明 木製品	(222)	27	16	両端欠損	針葉樹 椀目 紐留部(丸)	T4	508	4段 W23 大円筒	木製品	349	33	16	実形	針葉樹 辺材 穿孔?	N10	
	465	4段 W25 大円筒	樹皮式 樹皮	(27)	28	4	樹皮欠損	樹皮	T401	509	4段 W23 大円筒	木製品 穿孔?	113	27	15	一部欠損		G9	
	466	4段 W25 大円筒	木製品	371	89	14	実形	針葉樹 椀目 中央部安全加工	T34	510	4段 W23 大円筒	木製品	(50)	(93)	12	断片	針葉樹 椀目 紐留部	N14	
	467	4段 W25 大円筒	不明 木製品	(333)	(107)	16	欠損	針葉樹 椀目 中央部安全加工	S3	511	4段 W23 大円筒	木製品	107	37	12	実形	針葉樹 辺材 樹皮	Q11	
	468	4段 W25 大円筒	木製品	164	41	5	実形	針葉樹 椀目 穿孔2 径13.0mm	N28	512	4段 X23 大円筒	木製品	(87)	74	19	断片	針葉樹 椀目	M9	
33	469	4段 W25 大円筒	木製品	105	111	20	実形?	針葉樹 椀目	N29	513	4段 W23 大円筒	木製品	345	60	52	実形	針葉樹 芯材材	N11	
	470	4段 W25 大円筒	木製品	(234)	39	25	断片	針葉樹 辺材 丸端部安全加工 穿孔1 径13.0mm	T35	514	4段 W23 大円筒	木製品	215	9	8	実形	針葉樹 辺材 樹皮	F24	
	471	4段 W25 大円筒	木製品	(253)	34	15	断片	針葉樹 椀目 穿孔1 径14.0mm	T11	515	4段 W23 大円筒	木製品	(567)	32	24	欠損	針葉樹 辺材 丸端部安全加工	F21	
	472	4段 W25 大円筒	木製品	541	19	16	実形	針葉樹 辺材 丸端部安全加工	T33	516	4段 W23 大円筒	木製品	(262)	34	16	断片	針葉樹 辺材	M11	
	473	4段 W25 大円筒	木製品	531	18	15	実形	針葉樹 辺材 丸端部安全加工	T36	517	4段 W23 大円筒	木製品	(292)	28	15	断片	針葉樹 辺材	M10	
	474	4段 W24 大円筒	木製品	510	27	18	実形	針葉樹 辺材 丸端部安全加工	T37	518	4段 W23 大円筒	木製品	(349)	34	26	欠損	針葉樹 辺材	F23	
	475	4段 W25 大円筒	不明 木製品	105	66	19	実形	針葉樹 椀目 構造部材	T1	519	4段 W23 大円筒	木製品	(234)	13	5	断片	針葉樹 椀目	E26	
	476	4段 W25 大円筒	木製品	(167)	32	6	断片	針葉樹 椀目 穿孔2 径13.0mm	T2	520	4段 W23 大円筒	木製品	352	37	34	実形	広葉樹 芯材材	G10	
	477	4段 W25 大円筒	木製品	(200)	32	10	1/2	針葉樹 椀目 構造部材	T7	521	4段 W23 大円筒	木製品	(265)	21	19	断片	針葉樹 辺材	E25	
	478	4段 W25 大円筒	木製品	(130)	72	17	断片	針葉樹 椀目 構造部材	T9	522	4段 W23 大円筒	木製品	(504)	67	38	断片	針葉樹 芯材材 樹皮	M12	
34	479	4段 W25 大円筒	木製品	215	(71)	7	断片	針葉樹 椀目 穿孔2 径11.0mm=5.0mm	T10	523	4段 W23 大円筒	木製品	(407)	(74)	34	断片	針葉樹 椀目	S14	
	480	4段 W25 大円筒	木製品	(573)	20	15	片端欠損		F6	524	4段 W23 大円筒	木製品	135	92	16	実形	針葉樹 椀目	M8	
	481	4段 W25 大円筒	木製品	(550)	20	21	両端欠損	針葉樹 芯材材	F8	525	4段 X23 大円筒	木製品 樹皮部?	144	(67)	10	断片	針葉樹 芯材材 穿孔1 径10.0mm	N15	
	482	4段 W25 大円筒	木製品	(413)	18	15	片端欠損	針葉樹 芯材材 丸端加工	F7	526	4段 W23 大円筒	透明 樹脂	(20)			直径12	内外両端部	N12	
	483	4段 W24 大円筒	木製品	(301)	68	10	断片	針葉樹 椀目	E22	34	527	4段 Y21 大円筒	木製品 樹皮部材	(160)	50	40	両端欠損	針葉樹 芯材材 樹皮加工 重層 針葉樹 椀目 半径R149.0mm P-2芯材 半径R149.0mm	M7
	484	4段 W24 大円筒	木製品	(174)	53	13	断片	広葉樹 椀目	N23		528	4段 W23 大円筒	不明 木製品	306	(133)	8	欠損	針葉樹 椀目 半径R149.0mm P-2芯材 半径R149.0mm	F9
	485	4段 W24 大円筒	木製品	(199)	(33)	(5)	断片	針葉樹 椀目	F15		529	4段 W23 大円筒	不明 木製品	325	(125)	14	断片	針葉樹 椀目 半径R149.0mm	S9
	486	4段 W24 大円筒	木製品	(441)	42	12	(山形)	針葉樹 椀目	Q4		530	4段 W23 大円筒	不明 木製品	468	(235)	48	欠損	針葉樹 椀目 紐留部安全加工 半径R149.0mm	T25
	487	4段 W24 大円筒	木製品	(125)	24	7	欠損	針葉樹 椀目	S7		531	4段 W23 大円筒	木製品 材柄	130	43	49	山形実形	樹皮加工 重層 針葉樹 椀目 半径R149.0mm	NA1
	488	4段 W24 大円筒	木製品	(121)	20	4	欠損	針葉樹 椀目	S8		532	4段 W23 大円筒	木製品 木部	146	86	75	実形	針葉樹 木部不明	G1
	489	4段 W24 大円筒	不明 木製品	191	94	11	断片	広葉樹 椀目	Q5		533	4段 W24 大円筒	木製品	(527)	25	25	欠損	針葉樹 芯材材 丸端加工 樹皮	G3
	490	4段 W24 大円筒	木製品	(300)	(163)	22	断片?	針葉樹 椀目 中央部安全加工	N27		534	4段 W23 大円筒	不明 木製品	245	(58)	15	断片	針葉樹 椀目 紐留部安全加工 半径R149.0mm	T21
	491	4段 W24 大円筒	木製品	416	(133)	25	欠損	針葉樹 椀目 紐留部安全加工 穿孔1 径20.0×19.0mm	S24		535	4段 W X22 大円筒	木製品	(250)	29	15	欠損	針葉樹 椀目 紐留部安全加工	S2
	492	4段 W24 大円筒	木製品	(327)	(101)	12	断片	針葉樹 椀目	N26		536	4段 W X22 大円筒	木製品	(616)	56	8	欠損	針葉樹 椀目 紐留部安全加工	F25

第5表 木製品観察表 (1)

品番	番号	通称	部材	寸法(mm)			備考	品番	番号	通称	部材	寸法(mm)			備考	品番		
				長さ	高さ	厚さ						長さ	高さ	厚さ				
34	537	48 W-122 大内扉	特殊 木製品	485	29	15	完成 針葉樹 辺材 乾燥加工	E14	567	28 S0220	特殊 木製品	(318)	21	15	完成	針葉樹 芯材材 厚さ1 孔径3.0mm	7117	
	538	48 W-122 大内扉	特殊 木製品	(481)	34	23	断片? 針葉樹 辺材 乾燥加工	E15	568	28 S0244	特殊 木製品	(174)	109	70	欠損	広葉樹 芯材材	0401	
	539	48 W-122 大内扉	特殊 木製品	(177)	30	26	断片 針葉樹 辺材 乾燥加工	E19	592	不明	特殊 木製品	230	26	10	完成	針葉樹 板目材 厚さ1 孔径7.0mm	1433	
	540	48 W-122 大内扉	特殊 木製品	194	46	13	完成 針葉樹 板目	S30	600	標準分 区西河	特殊 木製品	(126)	38	18	断片	針葉樹 芯材材	F5	
	541	48 W-122 大内扉	特殊 木製品	(168)	(95)	12	断片 針葉樹 板目 乾燥加工	T13	601	標準分 区西河	特殊 木製品	(98)	45	44	断片	針葉樹 芯材材	F3	
	542	48 W-122 大内扉	特殊 木製品	(220)	(68)	12	断片 広葉樹 板目	T12	602	標準分 区西河	特殊 木製品	(176)	(60)	(48)	断片	針葉樹 芯材材	Q2	
	543	48 W-122 大内扉	特殊 木製品	(415)	121	8	基部欠損 広葉樹 板目	S13	603	標準分 区西河	特殊 木製品	(378)	87	28	完成	針葉樹 板目材	F4	
	544	48 W-122 大内扉	特殊 木製品	(288)	(44)	断片17 厚さ40	欠損 広葉樹 板目 乾燥加工	M5	639	28 A85 S0303	特殊 木製品	(500)	48	36	完成	針葉樹 板目材 結核 欠損部出 厚さ1 孔径0.8mm	0405	
	545	48 W-122 大内扉	特殊 木製品	543	51	51	完成 針葉樹 芯材材 乾燥加工	M6	640	28 S0222	特殊 木製品	(250)	15	8	完成	針葉樹 板目材 乾燥加工	E300	
	546	48 W-121 大内扉	特殊 木製品	307	(109)	75	1/2 広葉樹 板目 中心孔 孔径18.0mm以上	E30	641	28 S0222	特殊 木製品	(138)	6	6	完成	針葉樹 板目材 乾燥加工	E308	
	35	547	48 W-124 大内扉	特殊 木製品	(730)	46	46	断片 針葉樹 芯材材	S16	642	28 S0222	特殊 木製品	(151)	21	4	完成	針葉樹 板目材 乾燥加工	E310
		548	48 W-124 大内扉	特殊 木製品	(630)	47	47	断片 針葉樹 芯材材 乾燥加工	S15	643	28 S0222	特殊 木製品	(109)	33	5	完成	針葉樹 板目材 乾燥加工	E311
		549	48 W-125 大内扉	特殊 木製品	(433)	19	15	断片 針葉樹 辺材 乾燥加工	0418	644	28 S0222	特殊 木製品	(126)	(20)	3	完成	針葉樹 板目材 乾燥加工	S183
		550	48 W-125 大内扉	特殊 木製品	(377)	18	15	断片 針葉樹 辺材	0419	645	28 S0222	特殊 木製品	(180)	21	21	完成	針葉樹 芯材材 乾燥加工	S182
		551	48 W-125 大内扉	特殊 木製品	(336)	18	16	断片 針葉樹 辺材	0419	646	28 S0222	特殊 木製品	254	(116)	12	完成?	針葉樹 板目材	S181
		552	48 W-125 大内扉	特殊 木製品	(301)	24	22	断片 針葉樹 辺材	0419	647	28 S0222	特殊 木製品	82	(117)	24	一箇欠損	針葉樹 木部不明	S180
553		48 W-125 大内扉	特殊 木製品	267	24	11	完成 針葉樹 板目 乾燥加工	0419	648	28 S0222	特殊 木製品	327	(231)	6	完成	針葉樹 板目材 乾燥加工	E279	
554		48 W-125 大内扉	特殊 木製品	(348)	53	35	断片 針葉樹 辺材	0419	649	28 A86 S0222	特殊 木製品	281	(95)	16	完成	広葉樹 板目材	E273	
555		48 W-125 大内扉	特殊 木製品	(190)	15	9	断片 針葉樹 基部欠損	0419	650	28 Y14 S0251	特殊 木製品	(174)	6	3	完成	針葉樹 辺材 乾燥加工	7601	
556		48 W-125 大内扉	特殊 木製品	(167)	30	8	断片 針葉樹 板目	0419	651	28 Y14 S0251	特殊 木製品	(190)	6	4	完成	針葉樹 辺材 乾燥加工	7605	
557		48 W-125 大内扉	特殊 木製品	(226)	16	12	断片 針葉樹 辺材	0419	652	28 Y14 S0251	特殊 木製品	(147)	6	4	完成	針葉樹 板目材 乾燥加工	7606	
558		48 W-125 大内扉	特殊 木製品	(166)	8	8	断片 針葉樹 板目	0419	653	28 Y14 S0251	特殊 木製品	(82)	5	4	完成	針葉樹 板目材 乾燥加工	7607	
559		48 W-124 大内扉	特殊 木製品	(440)	131	48	欠損 広葉樹? 板目材 乾燥加工	E33	654	28 Y14 S0251	特殊 木製品	(284)	(19)	2	完成	針葉樹 板目材	7603	
560		48 W-123 大内扉	特殊 木製品	(149)	33	14	断片 針葉樹 板目 乾燥加工	N1	655	28 S0240	特殊 木製品	296	22	13	完成	針葉樹 板目材 乾燥加工	Q1	
561		48 W-122 大内扉	特殊 木製品	153	8	8	完成 針葉樹 板目	0417	656	28 S0240	特殊 木製品	(247)	13	7	完成	針葉樹 板目材 乾燥加工	E287	
562		48 W-122 大内扉	特殊 木製品	153	10	7	完成 針葉樹 板目	0418	657	28 S0240	特殊 木製品	348	24	21	完成?	針葉樹 板目材	E284	
36	563	48 W-121 大内扉	特殊 木製品	146	9	8	完成 針葉樹 板目	S15	658	28 S0240	特殊 木製品	(192)	10	8	断片	針葉樹 板目材 乾燥加工	E285	
	564	48 W-122 大内扉	特殊 木製品	(375)	大100 小45	厚30 厚42	1/2 広葉樹 芯材材	N20	659	28 S0240	特殊 木製品	(136)	16	13	完成	針葉樹 板目材 乾燥加工	E289	
	565	48 W-122 大内扉	特殊 木製品	(146)	33	8	欠損 針葉樹 板目材 乾燥加工	F29	660	28 S0240	特殊 木製品	(142)	10	6	完成	針葉樹 板目材 乾燥加工	E295	
	566	48 W-122 大内扉	特殊 木製品	(246)	26	12	欠損 針葉樹 板目材 乾燥加工	F26	661	28 S0240	特殊 木製品	(131)	5	4	断片	針葉樹 板目材 乾燥加工	E296	
	567	48 W-122 大内扉	特殊 木製品	(320)	33	14	断片 針葉樹 板目材 乾燥加工	T5	662	28 S0240	特殊 木製品	(158)	7	5	断片	針葉樹 板目材 乾燥加工	E292	
	568	48 W-122 大内扉	特殊 木製品	(266)	51	43	断片 針葉樹 芯材材	T6	663	28 S0240	特殊 木製品	(417)	20	14	断片	針葉樹 板目材 乾燥加工	E297	
	569	48 W-121 大内扉	不明 木製品	88	40	43	完成? 中芯材A材	S1	664	28 S0240	特殊 木製品	(219)	12	8	断片	針葉樹 板目材 乾燥加工	E298	
	570	48 W-122 大内扉	特殊 木製品	(122)	(62)	56	断片 材不明 乾燥加工	N19	665	28 S0240	特殊 木製品	167	10	10	完成?	針葉樹 板目材 乾燥加工	E283	
	571	48 W-120 大内扉	特殊 木製品	228	(228)	42	1/2 材不明 乾燥加工	F15	666	28 S0240	特殊 木製品	(238)	17	12	完成	針葉樹 板目材 乾燥加工	E282	
	572	48 W-122 大内扉	特殊 木製品	(158)	23	11	断片 針葉樹 板目材 乾燥加工	F30	667	28 S0240	特殊 木製品	(161)	13	5	完成	針葉樹 板目材 乾燥加工	E286	
	573	48 W-122 大内扉	特殊 木製品	(85)	105	13	断片 広葉樹 板目 乾燥加工	E16	668	28 S0240	特殊 木製品	(197)	18	12	完成	針葉樹 板目材 乾燥加工	E280	
	574	48 W-122 大内扉	特殊 木製品	267	107	15	完成 針葉樹 板目 乾燥加工	F29	669	28 S0240	特殊 木製品	(98)	12	10	完成	針葉樹 板目材 乾燥加工	E291	
	575	48 W-122 大内扉	特殊 木製品	(146)	75	23	断片 針葉樹 板目	E32	670	28 S0240	特殊 木製品	(75)	24	35	断片	針葉樹 板目材 乾燥加工	7119	
	576	48 W-122 大内扉	特殊 木製品	(152)	31	6	断片 針葉樹 板目 乾燥加工	E31	671	28 S0240	不明 木製品	(415)	142	12	欠損	針葉樹 板目材 乾燥加工	9054	
	577	48 W-122 大内扉	不明 木製品	(265)	115	18	完成 針葉樹 板目材 乾燥加工	M14	672	28 S0240	特殊 木製品	171	44	7	完成	針葉樹 板目材 乾燥加工	E288	
	578	48 W-122 大内扉	特殊 木製品	416	23	14	断片 針葉樹 板目材 乾燥加工	F31	673	28 A89 S0240	特殊 木製品	(389)	60	60	完成	針葉樹 板目材 乾燥加工	5197	
579	48 W-122 大内扉	特殊 木製品	162	(100)	8	断片 針葉樹 板目材 乾燥加工	T39	674	28 Y12 S0240	特殊 木製品	(340)	51	13	完成	針葉樹 板目材 乾燥加工	E285		
36	580	38 S0220	特殊 木製品	179	(100)	8	断片 針葉樹 板目材 乾燥加工	M10	675	28 Y12 S0240	特殊 木製品	(371)	32	8	完成	針葉樹 板目材 乾燥加工	7609	
	581	38 S0220	特殊 木製品	179	29	29	断片 針葉樹 板目材 乾燥加工	N10	676	28 Y12 S0240	特殊 木製品	120	(25)	4	欠損	針葉樹 板目材 乾燥加工	E294	
	582	38 S0220	特殊 木製品	179	29	29	断片 針葉樹 板目材 乾燥加工	N10	677	28 Y12 S0240	特殊 木製品	120	(25)	4	欠損	針葉樹 板目材 乾燥加工	E294	

第5表 木製品観察表 (2)

品番	番号	通称	部種	寸法 (mm)			通存度	備考	数量 単位
				高	底	厚			
39	677	2R S0240	樹脂製 木製品	(184)	24	6	断片	針葉樹 板目	5281
	678	2R S0240	木製品 木骨	325	(181)	46	1/2	広葉樹 板目	F024
	679	2R S0240	木製 木製品	(102)	(26)	9	断片	針葉樹 板目	5290
	680	2R S0240	造形用 木製品	121	(108)	12	欠損	裏面に裏面材付	F022
	681	2R S0240	木製品 板材	(205)	99	48	欠損	広葉樹か 芯材材 加工用使用済	E300
	682	2R S0240	木製品 板材	(155)	130	10	欠損	針葉樹 板目	F123
	683	2R S0244	樹脂製 木製品	(770)	30	24	欠損	針葉樹 辺材 丸端部加工 済み	0413
	684	2R S0244	樹脂製 木製品	(814)	43	22	欠損	針葉樹 辺材 1/2厚 丸端部加工	0419
	685	2R S0244	樹脂製 木製品	627	(32)	18	欠損	針葉樹 辺材	0410
	686	2R S0244	樹脂製 木製品	(531)	30	32	欠損	針葉樹 辺材 丸端部加工	1481
40	687	2R S0244	樹脂製 木製品	(249)	23	12	欠損	針葉樹 辺材 丸端部加工	S175
	688	2R S0244	樹脂製 木製品	(248)	19	16	欠損	針葉樹 辺材 丸端部加工	0414
	689	2R S0244	樹脂製 木製品	(216)	20	11	欠損	針葉樹 辺材 丸端部加工、不明瞭	1488
	690	2R S0244	樹脂製 木製品	(232)	20	18	欠損	針葉樹 辺材 丸端部加工	1485
	691	2R S0244	樹脂製 木製品	(291)	23	24	断片	針葉樹 芯材材 丸端部加工	0418
	692	2R S0244	樹脂製 木製品	(168)	12	6	欠損	針葉樹 辺材 丸端部加工	1483
	693	2R S0244	樹脂製 木製品	(357)	24	22	欠損	針葉樹 辺材 丸端部加工	S177
	694	2R S0244	樹脂製 木製品	(250)	18	10	欠損	針葉樹 辺材 丸端部加工	1487
	695	2R S0244	樹脂製 木製品	195	17	17	欠損	針葉樹 芯材材 丸端部加工、不明瞭	S173
	696	2R S0244	樹脂製 木製品	(176)	(16)	(16)	断片	針葉樹 芯材材 丸端部加工	S178
41	697	2R S0244	樹脂製 木製品	(291)	8	8	欠損	針葉樹 辺材	0413
	698	2R S0244	樹脂製 木製品	(147)	19	7	欠損	針葉樹 辺材 丸端部加工	0415
	699	2R S0244	樹脂製 木製品	(179)	11	12	断片	針葉樹 芯材材 丸端部加工	0410
	700	2R S0244	樹脂製 木製品	(269)	13	10	欠損	針葉樹 芯材材 丸端部加工	0419
	701	2R S0244	樹脂製 木製品	(230)	(32)	15	断片	針葉樹 辺材 丸端部加工、不明瞭	S169
	702	2R S0244	樹脂製 木製品	(507)	44	39	欠損	針葉樹 辺材 丸端部加工	1482
	703	2R S0244	樹脂製 木製品	(122)	(80)	(59)	断片	針葉樹 板目取 部厚15.0mm	S176
	704	2R S0244	樹脂製 木製品	(300)	(64)	10	断片	針葉樹 板目 丸端部加工	F127
	705	2R S0244	樹脂製 木製品	(201)	(25)	(25)	断片	針葉樹 芯材材 丸端部加工	S179
	706	2R S0244	樹脂製 木製品	384	(210)	65	欠損	広葉樹 板目取 部厚15.0mm	0408
41	707	2R S0244	樹脂製 木製品	(306)	78	68	断片	針葉樹 辺材 丸端部加工	F026
	708	2R S0244	樹脂製 木製品	(235)	25	25	欠損	針葉樹 芯材材 丸端部加工	0416
	709	2R S0244	樹脂製 木製品	396	269	22	欠損	広葉樹 板目取 部厚15.0mm	F132
	710	2R S0244	樹脂製 木製品	(308)	26	25	断片	針葉樹 板目取 部厚15.0mm	1480
	711	2R S0244	樹脂製 木製品	(466)	45	18	欠損	針葉樹 辺材 丸端部加工	1489
	712	2R S0244	樹脂製 木製品	(468)	16	7	欠損	針葉樹 板目	0413
	713	2R S0244	樹脂製 木製品	(413)	55	10	欠損	針葉樹 板目	1486
	714	2R S0244	樹脂製 木製品	(335)	28	19	欠損	針葉樹 辺材 丸端部加工	1484
	715	2R S0244	樹脂製 木製品	(195)	(48)	12	断片	針葉樹 板目	0418
	716	2R S0244	樹脂製 木製品	(214)	44	18	欠損	針葉樹 板目取 部厚15.0mm	S171
41	717	2R S0244	樹脂製 木製品	(208)	31	15	欠損	針葉樹 辺材 丸端部加工	S170
	718	2R S0244	樹脂製 木製品	(273)	22	8	欠損	針葉樹 辺材 丸端部加工	S172
	719	2R S0244	樹脂製 木製品	227	90	9	はばり	針葉樹 板目 丸端部加工	S174
	720	2R S0244	樹脂製 木製品	129	36	18	欠損	針葉樹 板目 丸端部加工	0403
	721	2R S0244	樹脂製 木製品	174	52	17	欠損	針葉樹 板目 丸端部加工	0402
	722	2R S0244	樹脂製 木製品	(440)	33	17	欠損	針葉樹 板目 丸端部加工	0419
	723	2R S0244	樹脂製 木製品	(332)	15	12	断片	針葉樹 板目	E18
	724	2R S0244	樹脂製 木製品	(363)	24	11	はばり	針葉樹 板目	E16
	725	2R S0244	樹脂製 木製品	(162)	34	33	欠損	針葉樹 芯材材	1421
	726	2R S0244	樹脂製 木製品	(127)	31	27	欠損	針葉樹 芯材材	E2
41	727	2R S0244	樹脂製 木製品	532	18	15	欠損	針葉樹 板目 丸端部加工	E7
	728	2R S0244	樹脂製 木製品	(261)	15	12	欠損	針葉樹 板目 丸端部加工	0412
	729	2R S0244	樹脂製 木製品	(200)	17	11	欠損	針葉樹 板目 丸端部加工	0410
	730	2R S0244	樹脂製 木製品	(206)	15	12	欠損	針葉樹 板目 丸端部加工	E9
	731	2R S0244	樹脂製 木製品	(177)	71	36	断片	針葉樹 芯材材	E3
	732	2R S0244	樹脂製 木製品	122	32	15	はばり	針葉樹 板目 丸端部加工	0401
	733	2R S0244	樹脂製 木製品	(236)	26	6	欠損	針葉樹 板目 丸端部加工	1434
	734	2R S0244	樹脂製 木製品	(163)	23	9	欠損	針葉樹 板目	E4
	735	2R S0244	樹脂製 木製品	176	10	9	欠損	針葉樹 板目 丸端部加工	1423
	736	2R S0244	樹脂製 木製品	178	15	8	欠損	針葉樹 板目 丸端部加工	1422
41	737	2R S0244	樹脂製 木製品	(262)	97	(47)	断片	針葉樹 板目	0411
	738	2R S0244	樹脂製 木製品	358	25	6	欠損	針葉樹 板目	M3
	739	2R S0244	樹脂製 木製品	(260)	23	21	欠損	針葉樹 板目 丸端部加工	E5
	740	2R S0244	樹脂製 木製品	183	82	8	欠損	針葉樹 板目 丸端部加工	M1
	741	2R S0244	樹脂製 木製品	178	103	7	はばり	針葉樹 板目 丸端部加工	E1
	742	2R S0244	樹脂製 木製品	162	165	10	欠損	針葉樹 板目 丸端部加工	F2
	743	2R S0244	樹脂製 木製品	172	176	26	欠損	針葉樹 板目 丸端部加工	F1
	744	2R S0244	樹脂製 木製品	310	263	10	欠損	針葉樹 板目 丸端部加工	S190
	745	2R S0244	樹脂製 木製品	(311)	34	29	欠損	針葉樹 板目	M2
	746	2R S0244	樹脂製 木製品	(324)	50	21	欠損	針葉樹 板目 丸端部加工	1435
41	747	2R S0244	樹脂製 木製品	(432)	208	50	欠損	針葉樹 板目 丸端部加工	1436
	748	2R S0244	樹脂製 木製品	(819)	183	32	欠損	針葉樹 板目 丸端部加工	1484
	749	2R S0244	樹脂製 木製品	(819)	183	32	欠損	針葉樹 板目 丸端部加工	1484

※ 注量欄の () は現存値を示している。

第 5 表 木製品観察表 (3)

第5章 樹種同定記録

今回報告となった柄付刀子(591:第6表記載遺物番号3)と木製品の多叉鋏(709:第6表記載遺物番号4)について、(株)東都文化財保存研究所に樹種同定を依頼した。結果は以下のとおりである。

樹種同定結果:

1. 試料

試料は井戸杵、刀子、柄振(多叉鋏)の3点(試料番号1-3)である。柄振は、身に着脱式の柄が付着しているが、木目を観察した限りでは同じ樹種と考えられたため、身についてのみ樹種同定を実施する。なお、試料番号1はPEG処理が終了した状態であった。

2. 分析方法

各木製品のうち、試料番号2の刀子は、ほぼ完形品であるが、柄の側面に柾目と板目が確認できたことから、直接切片を採取したが、木口面は加工面で切片が採取できなかった。その他の2点は、試料番号1は破損部、試料番号3は接合面を利用して木片を採取した。このうち、試料番号1は、樹種同定を行う上でPEGを除去する必要があるため、温水に浸してPEGを溶解させた。これらの木片は、剃刀の刃を用いて3断面(木口、柾目、板目)の徒手切片を作成した。

切片は、ガム・クロラール(抱水クロラール、アラビアゴム粉末、グリセリン、蒸留水の混合液)で封入し、プレバートを作製した。作製したプレバートは、生物顕微鏡で木材組織を観察し、その特徴から種類を同定した。

なお、同定の根拠となる顕微鏡下での木材組織の特徴等については、島地・伊藤(1992)およびwheeler他(1998)を参考にした。また、各樹種の木材組織の配列の特徴については、林(1991)、伊東(1995,1996,1997,1998,1999)や独立行政法人森林総合研究所の日本産木材識別データベースを参考にした。

3. 結果

樹種同定結果を第6表に示す。木製品は、針葉樹1種類(スギ)、広葉樹1種類(コナラ属コナラ亜属クスギ節)に同定された。各種類の解剖学的特徴等を記す。

第6表 木製遺跡群の樹種同定結果

番号	遺物番号	遺物名	樹 種
1	1	井戸杵	スギ
2	3	刀子(柄)	スギ
3	4	柄振	コナラ属コナラ亜属クスギ節

・スギ(*Cryptomeria japonica* (L.f.) D.Don) スギ科スギ属

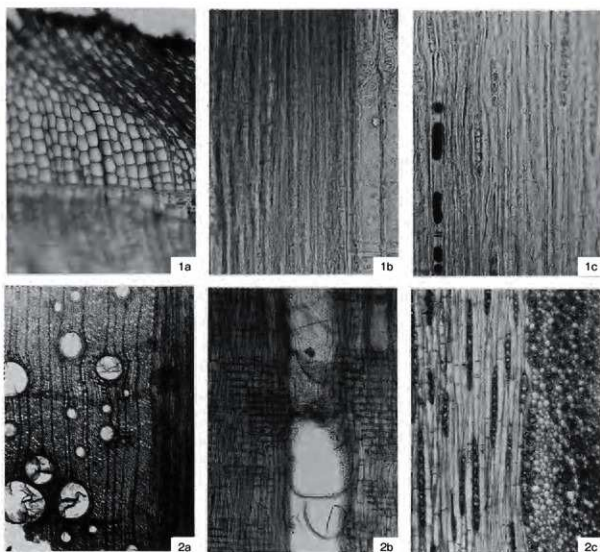
軸方向組織は仮道管と樹脂細胞で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行はやや急で、晩材部の幅は比較的広い。樹脂細胞はほぼ晩材部に認められる。放射組織は柔細胞のみで構成される。分野壁孔はスギ型で、1分野に2-4個。放射組織は単列、1-10細胞高。

・コナラ属コナラ亜属クスギ節(*Quercus* subgen. *Lepidobalanus* sect. *Cerris*) ブナ科

環孔材で、孔圈部は1-2列、孔圈外でやや急激に管径を減じたのち、漸減しながら単独で縦方向に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1-20細胞高のものと複合放射組織とがある。

【引用文献】

- 林 昭三 1991 『日本産木材 顕微鏡写真集』京都大学木質科学研究所
 伊東隆夫 1995 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ」『木材研究・資料31』京都大学木質科学研究所
 伊東隆夫 1996 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ」『木材研究・資料32』京都大学木質科学研究所
 伊東隆夫 1997 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ」『木材研究・資料33』京都大学木質科学研究所
 伊東隆夫 1998 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ」『木材研究・資料34』京都大学木質科学研究所
 伊東隆夫 1999 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅴ」『木材研究・資料35』京都大学木質科学研究所
 島地 謙・伊東隆夫 1982 『図説木材組織』地球社
 Wheeler E.A., Bass P. and Gasson P.E. (編) 伊東隆夫・藤井智之・佐伯浩(日本語版監修) 1998
 『広葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト』海青社
 [Wheeler E.A., Bass P. and Gasson P.E. 1989 *IAWA List of Microscopic Features for Hardwood Identification*]



1. スギ (試料番号 1)
 2. コナラ属コナラ亜属クヌギ節 (試料番号 3)
 a: 木口, b: 柾目, c: 板目

200μm: 2a
 200μm: 1a・2b, c
 200μm: 1b, c

第 42 図 敵田・寺中遺跡の木材

第6章 総括

本遺跡は金沢市の西部臨海地区に所在する縄文時代以降の複合遺跡で、石川県埋蔵文化財センターと本市埋蔵文化財センターによって広い面積が調査されており、多くの成果が上がっている。既刊書によると、本遺跡は弥生時代・古墳時代と中核的な様相を呈している。ここでは、本報告で扱った4区の遺物出土傾向について、若干の検討を試みたい。

第43図は本書に掲載した大河跡出土遺物をグリッド毎に整理し、出土量の多寡をアミで示したものである。アミの色が濃い箇所ほど遺物出土量が多いことを示す。本来、該当範囲の土量によって出土量の補正を行うべきであるが、困難であったため面積での補正に留めていることをご了承願いたい。

対象としたものは土器・土製品・石製品・骨・木製品で、出土地点が不明なもの、グリッド記載に誤記があると判断したものは除外した。総点数は514点となる。出土地点が「北半」「中央畦」「南半」となっているものについては、「中央畦」はW23・X23に跨る地点に設けたため案分し当該グリッドに含め、「北半」は中央畦を含む北のグリッドに案分し、「南半」は同様に南のグリッドに案分した。「W・X22」についてはW22・X22にそれぞれ案分している。出土した全遺物を対象にしているわけではなく、10mグリッドという精度からも正確な傾向を示すものではないが、概ねの傾向は把握できると考えた。

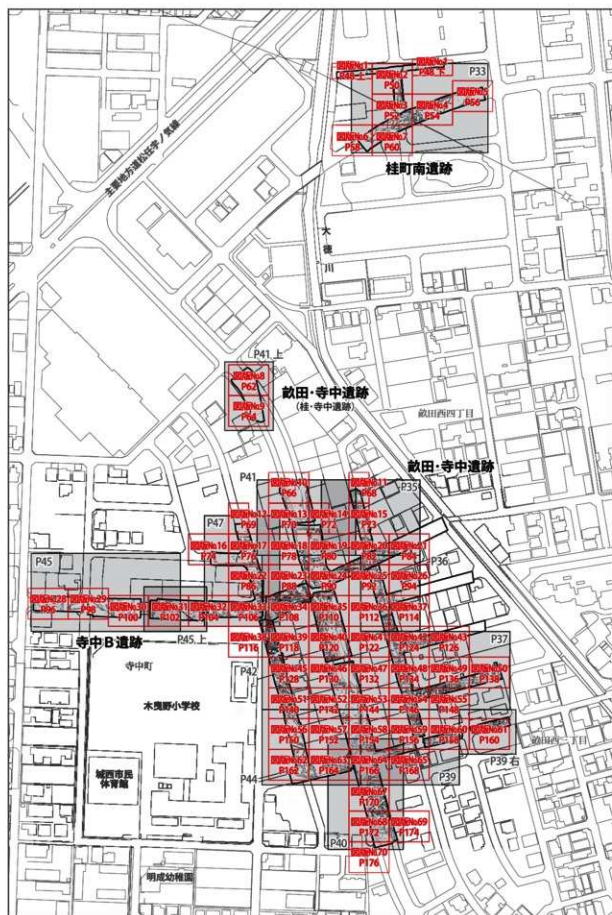
遺物の集中がみられるのはW25～W23の範囲で、W23が最も多い。次いでW24・W25の順となるが、大河跡の西岸となるV25・V24からの出土は少ない。また、W22とX22の比較では、やはり西岸からの出土は少ない傾向にある。これは発掘調査担当者の当時の見解とも一致するようである。大河跡出土遺物の大半は古墳時代前期の範疇に収まっており、調査区周辺でこの時期の遺構が確認されているのは大河跡の南西わずか15mに位置する寺中B遺跡5区(木曳野遺跡群Ⅱ既報)であるが、大河跡の出土傾向と併せみると関連性が薄いように感じられる。4区大河跡出土遺物の中心を占める古墳時代前期に該当する集落は、未調査となっている4区東側に所在する可能性が考えられよう。

SD210からは11世紀～12世紀代の土師器・陶磁器が出土している。これは既報の主幹線2区SD240、主幹線3区SD222と同一の溝で、前時代の主幹線4区大河跡、既報の主幹線2区SD303・SD240・SD244、主幹線3区SD201と重複して北上する。第7図の大河跡断面図が示すように、大河跡が機能を失った後の再整備が明確である。調査前の主幹線の位置には灌漑用の主要用水が存在しており(木曳野遺跡群Ⅰ第3図参照)、時代を変えても同地に流路を配置する、当該地の土地利用の一端を示す遺構といえよう。

※次ページに「木曳野遺跡群Ⅰ」に掲載した1/100および1/250・1/300の航空測量図版図案を示した。当該書では座標が混乱しているため、「木曳野遺跡群Ⅱ」から本書に至るまで、報告対象とする遺構が遺跡の中でどこに位置するかが判別しづらいと思われるため、本書第2図と併せてご活用いただければと思う。



第43図 遺物の出土傾向



第 44 図 「木曳野遺跡群Ⅰ」図案割



調査区全景(北から撮影：手前から4区・3区・2区)



大河跡土層断面(北東から)



SD210土層断面(北から)



SD200



SK201土層断面(西から)



P200 土器出土状況(西から)



SK200 土器出土状況(北西から)



大河跡 トレンチ掘削状況



大河跡 土器出土状況



大河跡 木鏝出土状況



大河跡 勾玉出土状況



SD210 鉄製刀子出土状況



作業風景



SD210出土遺物(11・13・15～17・19・20・26～29・31)



39



41



44



45・46



土鏝(67～77・335)



82



85



101



102



128



129



132



137



138



143



144 · 146



155



157 · 156



縄文土器 (173 ~ 175)



181



183



209



193



231



232



233



239



255



手捏土器 (244・245・247～252・273)



237



298



小壺 (263～272・274・275)



302



303



310



336



341



326



344



346



352



349



359



372



351



376



387



357 · 358



369



370



388



瓦塔 (399)



結歯式豎櫛 (465)



元豐通寶・皇宋通寶 (636・637)



石器類 (417・419・411・424)



玉類 (431～437・586・594～597)



鞍 (570・571)



骨 (445～448)



鉄製刀子・銅鐵・鉄鐵 (438・439・441・634)



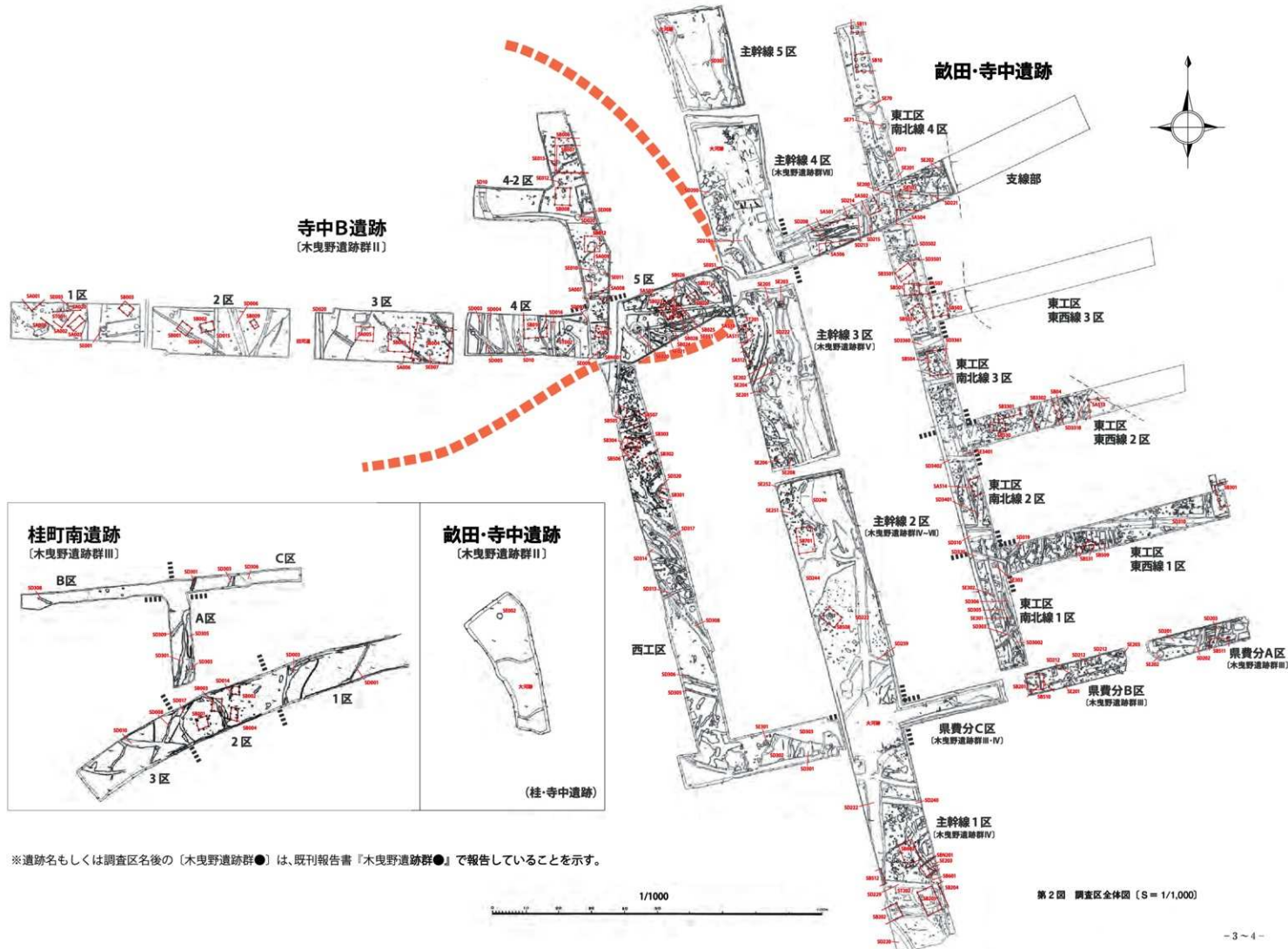
柄付刀子 (591)



多叉鋸 (709)

【引用・参考文献】

- 上原真人編 1993 『木器集成図録 近畿原始編』 奈良国立文化財研究所
- 内堀信雄 1989 「須恵器甕にみられる叩き目文について」『北陸の古代土器研究の現状と課題(報告編)』
北陸古代土器研究会
- 小野正敏 1982 「15～16世紀の染付碗、皿の分類と年代」『貿易陶磁研究No.2』 日本貿易陶磁研究会
- 田嶋明人 1986 「漆町遺跡出土土器の編年の考察」『漆町遺跡Ⅰ』 石川県立埋蔵文化財センター
- 田嶋明人 1988 「古代土器編年軸の設定」『北陸の古代土器研究の現状と課題』 北陸古代土器研究会
- 田辺昭三 1981 『須恵器大成』 平凡社
- 向井裕知 2005 「消費遺跡での土器・陶器の組合せおよび貿易陶磁の編年 北陸」『中世窯業の諸相 資料集』
『中世窯業の諸相～生産技術の展開と編年～』実行委員会
- 吉岡康暢 1994 『中世須恵器の研究』 吉川弘文館
- 石川考古学研究会 1996 『石川県考古資料調査・集成事業報告書 武器・武具・馬具Ⅰ』
- 石川考古学研究会 1999 『石川県考古資料調査・集成事業報告書 農具』
- 石川県立埋蔵文化財センター 1986 『漆町遺跡Ⅰ』
- 石川県教育委員会 2005 『金沢市畝田西遺跡群Ⅱ』
- 石川県教育委員会 2006 『金沢市畝田西遺跡群Ⅲ』
- 石川県教育委員会 2006 『金沢市畝田西遺跡群Ⅳ』
- 石川県教育委員会 2006 『金沢市畝田東遺跡群Ⅲ』
- 石川県教育委員会 2012 『小松市千代・能美遺跡』
- (財)鳥取研教育文化財団 2001 『青谷上寺地遺跡Ⅲ』
- 金沢市教育委員会 1993 『上荒屋遺跡(二)』
- 金沢市 2003 『大桑ジョウデン遺跡Ⅰ』
- 金沢市 2004 『大桑ジョウデン遺跡Ⅱ』
- 金沢市 2006 『寺中B遺跡Ⅵ 桂町南遺跡Ⅰ 畝田・寺中遺跡Ⅲ -木曳野遺跡群Ⅰ-』
- 金沢市 2007 『寺中B遺跡Ⅶ・畝田・寺中遺跡Ⅳ -木曳野遺跡群Ⅱ-』
- 金沢市 2008 『桂町南遺跡Ⅱ 畝田・寺中遺跡Ⅴ -木曳野遺跡群Ⅲ-』
- 金沢市 2010 『畝田・寺中遺跡Ⅵ -木曳野遺跡群Ⅳ-』
- 金沢市 2010 『中屋サワ遺跡Ⅴ -縄文時代編-』
- 金沢市 2012 『畝田・寺中遺跡Ⅶ -木曳野遺跡群Ⅴ-』
- 金沢市 2013 『畝田・寺中遺跡Ⅷ -木曳野遺跡群Ⅵ-』
- 太宰府市教育委員会 2000 『太宰府条坊跡XV-陶磁器分類編-』



※遺跡名もしくは調査区名後の〔木曳野遺跡群●〕は、既刊報告書『木曳野遺跡群●』で報告していることを示す。

報告書抄録

ふりがな	いしかわけんかなざわし うねだ・じちゅういせき9								
書名	石川県金沢市 畝田・寺中遺跡Ⅸ								
副書名	－木曳野遺跡群－								
巻次	Ⅶ								
シリーズ名	金沢市文化財紀要								
シリーズ番号	293								
編著者名	景山 和也								
編集機関	金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)								
所在地	〒920-0374 石川県金沢市上安原町南60番地 TEL (076) 269-2451								
発行年月日	西暦2014年3月28日								
所収遺跡名	ふりがな	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
			市町村	遺跡番号	° ′ ″	° ′ ″			
畝田・寺中遺跡	いしかわけん 石川県 かなざわし 金沢市 じちゅう 寺中町、 うねだ 4丁目 畝田4丁目	172014	県01499 市029	36° 36′ 33″	136° 42′ 33″	20020715 ～ 20020920 20030602 ～ 20031128 20040502 ～ 20041029	約13,760㎡	区画整理	
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項	
畝田・寺中遺跡	集落跡	縄文・弥生・古墳・ 奈良・平安・鎌倉・ 室町		建物、井戸、 土坑、溝、川		土師器・須恵器、 陶磁器、石製品、 木製品、金属製品		川跡から古墳時代の 土器・木器が多数 出土	
要約	木曳野遺跡群Ⅳで報告した古墳時代、奈良・平安時代の河川跡の続きやその他の遺構の報告を行った。主幹線4区は古墳時代前期～中期の河川跡が中心で、その他平安時代末から鎌倉時代の溝がみついている。								

石川県 金沢市
畝田・寺中遺跡Ⅸ
 －木曳野遺跡群Ⅶ－
 (『金沢市文化財紀要』293)

発行日 平成26(2014)年3月28日
 発行者 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)
 〒920-0374 石川県金沢市上安原町南60
 TEL (076) 269-2451
 印刷 株式会社 栄光プリント